

Panasonic®

取扱説明書 (基本編)

PTS-RPN0015
PTS-RPV0015
PTS-RPD0015



Ver.15

対応

Windows®8
Windows®7
Windows Vista®
Windows®XP Home Edition
Windows®XP Professional



はじめに

このたびは、日本語・英語活字カラー OCR ソフト「読取革命 Ver.15」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

「読取革命 Ver.15」は、活字書体で印刷された原稿をスキャナー、デジタルカメラ、カメラ付き携帯電話などから読み取り、編集可能な文字データに変換するソフトウェアです。

個人的または家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用する以外で、著作権の対象となっている著作物を読み取るには著作権者の承諾が必要となります。
このソフトウェアおよび本書は、本製品の使用許諾書のもとでのみ使用することができます。
このソフトウェアおよび本書を運用した結果の影響については、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorer、Excel、PowerPoint は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
 - Powered by ABBYY FineReader.
ABBYY and FineReader are trademarks of ABBYY
ABBYY® FineReader® 1993-2012 by ABBYY. All rights reserved.
 - Foxit PDF SDK Copyright (c)2012, Foxit Corporation www.foxitsoftware.com, All rights reserved
 - Pentium は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
 - Adobe、Acrobat、Reader は、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標または登録商標です。
 - QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
 - Evernote® は、Evernote Corporation の商標または登録商標です。
 - その他、本書に記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
-
- 本ソフトウェアを無断複製することを禁止します。
 - 本書の一部または全部を無断転載することを禁止します。
 - 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更する場合があります。

読取革命 Ver.15 取扱説明書について

「読取革命 Ver.15」の取扱説明書は、基本編と応用編の2部に分かれています。

- ※ PDF ファイル形式の取扱説明書は、以下の場所から参照できます。
[スタート]-[すべてのプログラム]-[読取革命 Ver.15]-[ドキュメント]

本書の使い方

タイトルと内容

タイトルの下の欄には、この機能についての簡単な説明やどのような場面で使うと有効であるかを記載しています。

操作モード

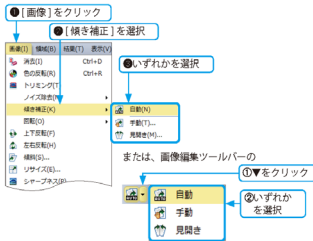
[標準モード]には、5つの操作モードがあります。操作モードが指定されている場合は、指定された操作モードで操作してください。

傾き補正

画像ウィンドウに表示された画像に対して、自動的に傾斜角度を検出し傾きを補正します。また、傾き補正は手動でも行えます。
画像が見開きページの場合は、左右のページごとに自動・手動で傾きを補正できます。

傾き設定モード

1 メニューを選択する



基本操作

章のタグ

タグの位置は章ごとに違います。

章のタイトル

自動傾き補正

2 実行結果

食材 (4人分)		材料 (4人分)	
スパゲティ	300g	スパゲティ	300g
オリーブオイル	5ml	オリーブオイル	5ml
ニンニク	2片	ニンニク	2片
イタリアンパセリ	少々	イタリアンパセリ	少々
オリーブオイル	大さじ4	オリーブオイル	大さじ4
塩	小さじ2	塩	小さじ2

傾きが自動で補正されます。

参照先

関連する機能や、詳しい説明が記載されている項目を「☞」のあとに紹介します。

※操作を取り消すには
(☞「元に戻す」基本編 P.119)

補足説明

補足説明や別の操作手順を記載しています。また、本タイトルの操作に関連する応用機能などの説明も記載しています。

本文

タイトルの操作を行う基本的な手順を記載しています。

読取革命について	9
読取革命の概要	10
標準モード	10
かんたんモード	13
その他の主な機能紹介	16
クリップボード OCR	17
フォルダーウォッチャー	17
簡単！ PDF for Office	17
簡単！ PDF 変換	18
画面モードの切り替え	19
ウィンドウとバーの表示と変更	20
操作モード	23
操作手順	24
セットアップ	27
インストール	28
アンインストール	31
自動アップデート	34
スキャナーの設定	37
メーカーダイアログを利用する場合	37
専用ダイアログを利用する場合	38
ScanSnap の設定	40
読取革命を起動する	41
起動する	42
終了する	43
かんたんモード	45
かんたんモードを使ってみよう	46
[標準モード] から [かんたんモード] に切り替える	46
画像を入力する	46
ページを表示・選択する	48
画像を編集する	49
表示倍率を変更する	50
領域枠を編集する	51
文字認識を行う	52
認識結果ウィンドウの表示を切り替える	52
認識結果をすべて削除する	53
元に戻す	53
認識結果を編集する	54
保存する	56
ページを閉じる	58

基本操作	59
かんたんナビで対話しながら処理を行う.....	60
かんたんナビを表示する.....	60
入門ウィザードで自動認識処理を行う.....	63
画像を入力する.....	67
デジタルカメラ入力.....	67
スキャナー入力.....	69
画像ファイルを開く.....	70
クリップボード画像の入力.....	72
画面キャプチャー入力.....	73
PDF ファイルを解析して入力する.....	74
ページを表示・選択する.....	76
クリックで直接選択する.....	76
前ページ・次ページで表示する.....	76
ページ呼出で表示する.....	77
すべてのページを選択する.....	78
ページを移動する.....	79
前へ・次へで移動する.....	79
ドラッグで移動する.....	80
画像の表示倍率を変更する.....	81
指定倍率に変更する.....	81
一定倍率で拡大・縮小する.....	81
領域の範囲指定.....	82
領域枠の設定.....	83
領域枠の作成.....	83
領域枠の選択.....	84
領域枠のサイズ変更.....	85
領域枠の統合.....	86
領域枠の削除.....	86
領域枠の属性変更.....	87
ノイズ除去.....	90
傾き補正.....	91
自動傾き補正.....	91
手動傾き補正.....	92
見開き補正.....	93
回転.....	95
認識結果と文字画像の連動.....	96
認識結果から文字画像を表示する.....	96
文字画像から認識結果を表示する.....	96
操作モードの切り替え.....	97
ドラッグモード.....	97
領域設定モード.....	98
消しゴムモード.....	98
作図モード.....	98
表編集モード.....	98

画像の表示位置を変える	99
レイアウト認識を行う	100
選択したページ	100
現在のページ	101
選択した領域	101
文字認識を行う	103
画像 / 認識結果ウィンドウを表示する	104
認識結果ウィンドウの表示を切り替える	106
テキスト表示	106
領域表示	107
カラーリアル表示	107
ハイパーチェッカー	107
切り取り・コピー・貼り付けをする	108
画像の切り取り・コピー・貼り付け	108
文字列の切り取り・コピー・貼り付け	109
削除する	110
領域枠と認識結果をすべて削除する	110
領域枠を削除する	111
文字列を削除する	112
半角・全角を変換する	113
修正機能で認識結果を編集する	114
一括修正で複数の文字を一度に修正する	114
候補文字修正で1文字ずつ修正する	115
検索する	117
置換する	118
元に戻す	119
保存する	120
画像の保存	120
認識結果の保存	121
コンパクトファイルの保存	122
転送する	124
PDF ファイルにパスワードを設定する	125
常に固定のパスワードを使用する	125
変換時にパスワードを指定する	125
印刷する	126
画像の印刷	126
認識結果の印刷	127
ページを閉じる	128
かんたん認識	129
かんたん認識で自動認識する	130
認識方法の追加	131
認識方法の複製	132
認識方法の変更	133
認識方法の削除	134

認識方法の整理.....	135
処理内容を設定する.....	138
[画像の入力] の設定.....	138
[画像編集] の設定.....	139
[レイアウト認識] の設定.....	140
[認識結果] の設定.....	142
レイアウトを編集する.....	144
トラブルシューティング・FAQ.....	153
トラブルシューティング.....	154
インストール.....	154
起動・画像入力.....	154
アドインの設定と解除.....	154
画像.....	155
認識.....	155
認識結果編集.....	156
転送・終了.....	156
その他.....	157
FAQ.....	158
画像の入力.....	158
画像修正.....	158
表領域の編集.....	158
領域枠の設定.....	158
その他.....	158
付録.....	159
エラー・メッセージ.....	160
仕様.....	169
出力形式の詳細.....	171
動作環境.....	172
動作確認済み機器.....	172
認識対象文字一覧.....	173
用語解説.....	176
アフターサービス.....	179
索引.....	181
製品について.....	183

読取革命について

読取革命の概要	10
標準モード	10
かんたんモード	13
その他の主な機能紹介	16
クリップボード OCR	17
フォルダーウォッチャー	17
簡単！ PDF for Office	17
簡単！ PDF 変換	18
画面モードの切り替え	19
ウィンドウとバーの表示と変更	20
操作モード	23
操作手順	24

読取革命の概要

「読取革命」は、活字書体で印刷された原稿をスキャナー、デジタルカメラ、カメラ付き携帯電話などから読み取り、編集可能な文字データに変換するソフトウェアです。

操作方法には、標準的な操作の「標準モード」とシンプルな操作の「かんたんモード」があります。用途に応じて画面モードを切り替えて操作できます。画面モードの切り替えについては、「画面モードの切り替え」基本編 P.19 を参照してください。

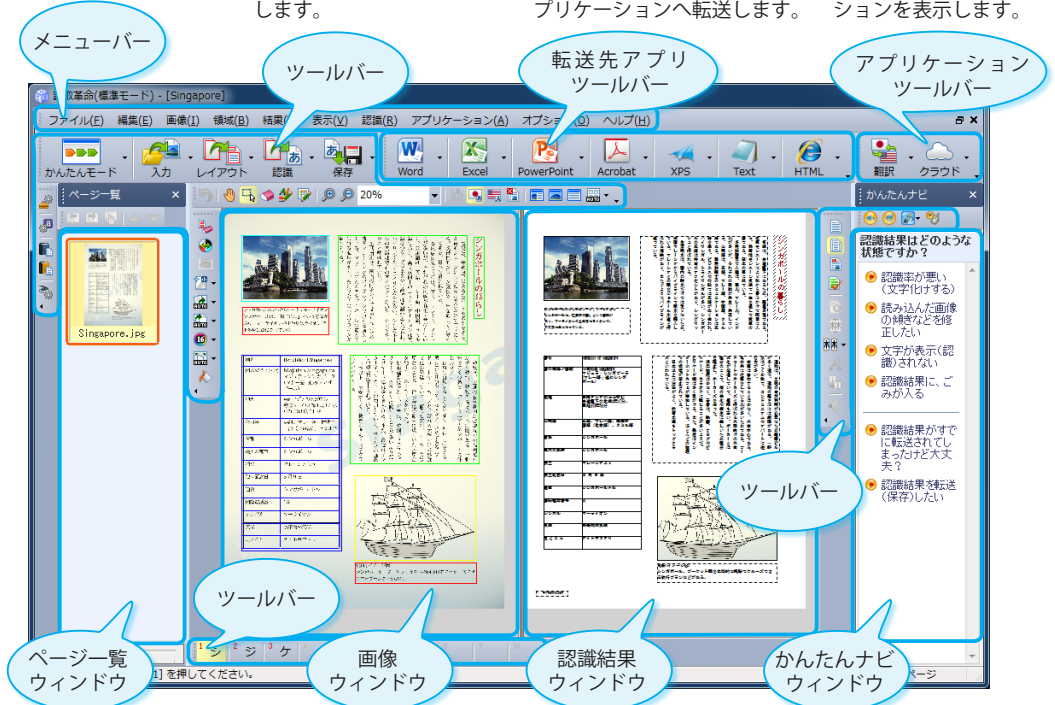
標準モード

「読取革命」のすべての機能が使用できます。詳細な設定を行う場合に使用します。[標準モード]の操作方法は、下記のページを参照してください。

- 「基本操作」基本編 P.59
- 「画像編集」応用編 P.43
- 「応用操作」応用編 P.7
- 「ユーザー辞書」応用編 P.71
- 「かんたん認識」基本編 P.129
- 「環境設定」応用編 P.83

● 画面構成

- メニューを表示します。
- 使用頻度の高い機能を表示します。
- 認識結果を指定した形式でアプリケーションへ転送します。
- 連携できるアプリケーションを表示します。



- 読み込んだ画像を表示します。下部のスライダーを動かすと、表示倍率が変わります。
- ページ一覧ウィンドウで選択された画像を表示します。領域枠や画像の編集を行います。
- 認識結果を表示します。認識結果の編集を行います。
- 対話形式で操作をご案内します。

※ツールバーの詳細については、「ツールバーのカスタマイズ」応用編 P.37 を参照してください。

● 基本操作の流れ

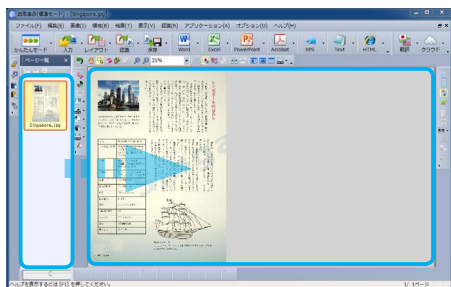
「読取革命」を起動する

「読取革命」は、Windowsの[スタート]メニューから選択して起動できるほか、デスクトップ上のショートカットアイコンからも起動できます。また、アドイン設定を行ったアプリケーションからも起動できます。

画像を読み込む

画像ファイル、スキャナー、デジタルカメラ、クリップボードなどから画像を読み込みます。

(☞「画像を入力する」基本編 P.67)



特長

・自動画像補正を設定すると、文字認識に最適な画像へ自動変換して読み込みます。

※「自動画像補正」は[オプション]-[環境設定]-[自動画像補正]タブで変更できます。

(☞「[自動画像補正]タブの設定」応用編 P.87)

レイアウト認識をする

入力された画像の属性(日本語・英語・表・画像・図形・手書きなど)を判定し、領域枠を設定します。領域枠の設定は、自動・手動いずれも可能です。

また、選択した領域をレイアウト認識すると、指定範囲内だけを認識できます。

特長

・レイアウト認識には、ページ(画像)全体を認識する[選択したページ][現在のページ]のほかに、指定した領域内だけを認識する[選択した領域]があります。

・[自動罫線追加]機能で、色分けだけで構成された表も罫線として認識可能です。

・領域枠を設定すると、文字認識を行う順番が自動的に決められますが、任意に変更することもできます。(☞「読取順序の変更」応用編 P.31)

・一度設定した領域枠は、サイズ変更・統合・削除・属性変更ができます。(☞「領域枠の設定」基本編 P.83)

・領域設定をテンプレートとして保存し、ほかの同じレイアウトのページを認識するときに利用できます。

(☞「テンプレートで同じ形式のページを認識する」応用編 P.22)

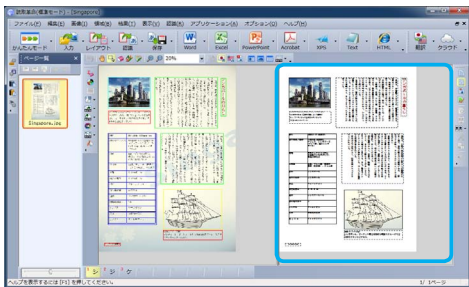
国名	Republic of Singapore
別の言語/四字	Majulah Singapura マジュラ・シンガポラ (マレー語:進めシンガ ポール)
国号	東南アジアに位置する 赤道下の島嶼国(電リテ、 標準時区差1.5)
公用語	英語、マレー語、標準中 国語(七肢語)、タミル語
首都	シンガポール
最大の都市	シンガポール
独立	マレーシアより
独立記念日	8月9日
通貨	シンガポールドル
国際電話番号	65
シンボル	マーライオン
気候	熱帯雨林気候
見どころ	ナイトサファリ

● 認識させる範囲を、マウスのドラッグ操作で選択して領域に設定します。この操作で作成される枠を領域枠といいます。

● 文字や画像など、領域ごとの設定を属性といいます。(☞「領域枠の属性変更」基本編 P.87)

文字認識をする

設定された領域枠の属性に合わせて文字認識を行います。レイアウト認識を行ってなくても、文字認識を実行すると、同時にレイアウト認識を実行します。



特長

- 文字認識には、ページ (画像) 全体を認識する [選択したページ] / [現在のページ] と、指定した領域枠内だけを文字認識する [選択した領域] があります。
- 英文書を認識する場合、英語認識モードにすると高い認識率でスピーディーに認識できます。
(☞ 「認識モードを変更する」 応用編 P.8)

- 背景が網掛けされた見出しなどの文字も認識できます。
この機能を見出し認識といいます。
(☞ 「見出し認識」 応用編 P.15)
- 認識結果が未確定の文字は、テキスト表示では赤色、領域表示・カラーリアル表示・ハイパーチェッカーでは背景が灰色で表示されます。
※未確定文字は、非表示にすることもできます。
(☞ 「[一般] タブの設定」 応用編 P.85)

保存・転送・印刷する

特長

- 認識結果をほかのアプリケーションに転送できます。
(☞ 「転送する」 基本編 P.124)
Microsoft Word・Microsoft Excel・Microsoft PowerPoint・一太郎・ブラウザ・Adobe Reader/Adobe Acrobat・メモ帳などのテキストエディター・クリップボードに転送できます。
編集可能なアプリケーションであれば、転送した認識結果を編集できます。
- 原稿のレイアウト・表・罫線・地図や写真などの画像を、そのまま文書に活かすことができます。
原稿のレイアウトを再現させるには、Microsoft Word(*.doc,*.docx)・書式付きファイル(*.rtf)・一太郎(*.jtd)・Microsoft Excel(*.xls)・Microsoft PowerPoint(*.ppt,*.pptx)・Adobe Reader/Adobe Acrobat(*.pdf)・ブラウザ(*.htm,*.xml)・XPS(*.xps)の形式で保存します。
※TXT、CSV形式で保存した場合はテキストだけが転送されます。
- 入力した画像や、認識結果が印刷できます。
認識結果の未確定文字を印刷すると、テキスト表示では下線付きで印字され、領域表示・カラーリアル表示では背景が灰色で印刷されます。なお、ハイパーチェッカーでは印刷できないため、別の表示に変更して印刷してください。
※未確定文字は、非表示にすることもできます。
(☞ 「[一般] タブの設定」 応用編 P.85)

「読取革命」を終了する

かんたんモード

「読取革命」の基本的な機能を、シンプルな画面で操作できます。[かんたんモード]の操作方法は、「かんたんモード」基本編 P.45 を参照してください。

● 画面構成

■使用頻度の高い機能を表示します。

ツールバー

標準モード 入力 認識 保存 ヘルプ

拡大 縮小 戻す 全削除 向き 回転 1/1 領域表示

ページ一覧ウィンドウ

■読み込んだ画像を表示します。

領域属性
● 文字(M)
● 表(T)
● 画像(I)
● 図形(R)
● 手書き(O)
文字方向
● 横書き(G)
● 縦書き(P)
認識モード
● 日本語(J)
● 英語(D)

ツールバー

属性変更ウィンドウ

■選択している領域枠の領域属性を表示・変更します。

画像ウィンドウ

■ページ一覧ウィンドウで選択された画像を表示します。領域枠や画像の編集を行います。

認識結果ウィンドウ

■認識結果を表示します。認識結果の編集を行います。

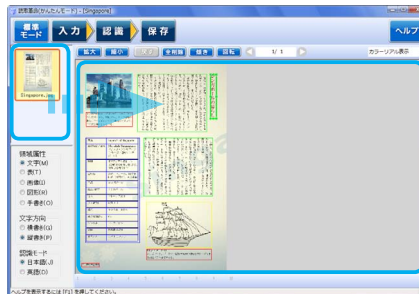
● 基本操作の流れ

「読取革命」を起動する

「読取革命」は、Windowsの[スタート]メニューから選択して起動できるほか、デスクトップ上のショートカットアイコンからも起動できます。また、アドイン設定を行ったアプリケーションからも起動できます。

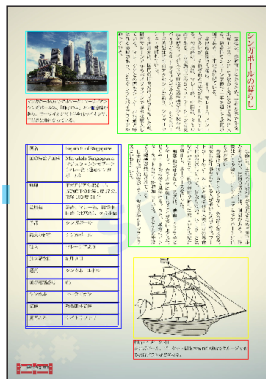
画像を読み込む

画像ファイル、スキャナーから画像を読み込みます。ページ一覧ウィンドウと画像ウィンドウに画像を表示し、自動的にレイアウト認識します。



領域枠を編集する

レイアウト認識で作成された領域枠を、必要に応じて編集します。領域枠の属性変更や、認識範囲を変更します。

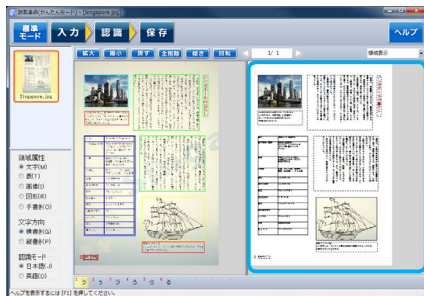


選択した領域枠の属性が表示されます。

- 認識させる範囲を、マウスのドラッグ操作で選択して領域に設定します。この操作で作成される枠を領域枠といいます。
- 文字や画像など、領域ごとの設定を属性といいます。(☞「領域枠の属性変更」基本編P.87)

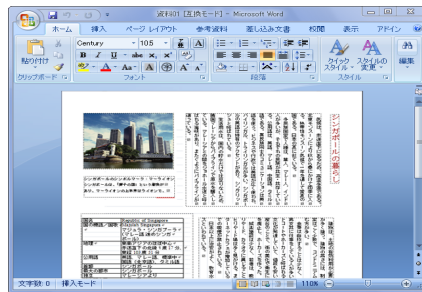
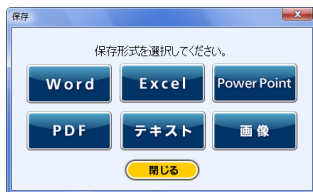
文字認識をする

設定された領域枠の属性に合わせて文字認識を行います。すべてのページを文字認識し、認識結果ウィンドウに認識結果を表示します。



保存する

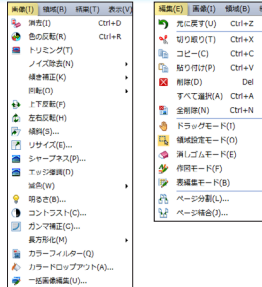
認識結果と画像ファイルを保存します。認識結果を保存すると、すべてのページの認識結果を保存し、保存したファイルが開きます。



「読取革命」を終了する

その他の主な機能紹介

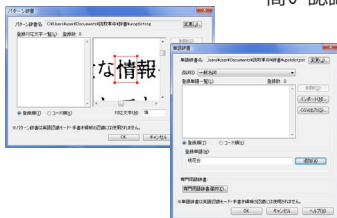
画像編集機能



「読取革命」では、入力した画像を文字認識に最適な画像に修正するためにさまざまな機能を用意しています。モードを変更することで、[消しゴム]や[作図]機能が利用できます。また、[画像]メニューからは、画像の状態に応じて下記の機能を選択できます。

- | | | | |
|-------------|--------|---------|-----------|
| ・消去 | ・色の反転 | ・トリミング | ・ノイズ除去 |
| ・コピー | ・切り取り | ・傾き補正 | ・回転 |
| ・上下反転 | ・左右反転 | ・傾斜 | ・リサイズ |
| ・シャープネス | ・エッジ強調 | ・減色 | ・明るさ |
| ・コントラスト | ・ガンマ補正 | ・長方形化 | ・カラーフィルター |
| ・カラードロップアウト | ・貼り付け | ・一括画像編集 | ・作図 |
| ・消しゴム | | | |

ユーザー辞書



頻繁に使用する単語や、誤認識しやすい文字画像を辞書に登録することで、より高い認識結果を得ることができます。

特長

パターン辞書：

誤認識しやすい文字画像を登録します。

単語辞書：

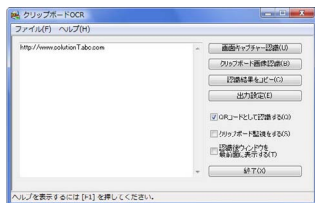
認識で頻繁に使用する単語を、辞書種別を指定して辞書ファイルに登録します。

その他の機能・特長

- ・「かんたんナビ」は、対話形式で操作を行い、操作画面、操作案内や質問に対するヘルプが表示されます。期待した認識結果が得られず、操作にお困りの方のお手伝いをします。
(☞「かんたんナビで対話しながら処理を行う」基本編 P.60)
- ・「入門ウィザード」は、初めてご利用いただく方でも基本操作の流れを簡単に学ぶことができます。
(☞「入門ウィザードで自動認識処理を行う」基本編 P.63)
- ・「かんたん認識」は、画像読み込みから保存・転送までを一度に設定し、自動的に処理できます。大量の原稿をスピーディーに処理します。
(☞「かんたん認識で自動認識する」基本編 P.130)
- ・「認識結果の翻訳」は、翻訳ソフトウェア「ATLAS」、「ATLAS 翻訳パーソナル」、「コリヤ英和！一発翻訳」と連携し、認識結果を翻訳します。
(☞「認識結果の翻訳」応用編 P.17)
- ・作業状態を保存できます。保存を実行したときの状態を再現しますので、中断した作業の続きがすぐに再開できます。
(☞「作業ファイルを保存して作業を中断する」応用編 P.20)
(☞「作業ファイルを開いて作業を再開する」応用編 P.21)
- ・「自動アップデート」は、インターネットに接続し、自動でアップデート情報を取得します。(☞「自動アップデート」基本編 P.34)
※「自動アップデート」は、インターネットに接続可能な環境に限りご利用いただけます。

クリップボード OCR

機能概要



「クリップボード OCR」は、「読取革命」インストール時にインストールされる独立したアプリケーションです。「読取革命」を起動することなく使用できます。

「クリップボード OCR」は、指定した画像を文字認識し、編集可能な文字データに変換します。また、QRコードを読み取り、情報を取得できます。

画像入力は、下記の2とおりが用意されています。

画面キャプチャー入力：

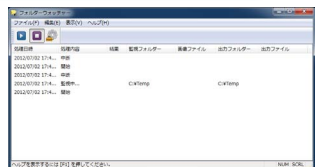
画面上の指定した範囲を文字認識します。

クリップボード画像：

クリップボードに保存された画像を文字認識します。

フォルダーウォッチャー

機能概要



「フォルダーウォッチャー」は、「読取革命」インストール時にインストールされる独立したアプリケーションです。「読取革命」を起動することなく使用できます。

「フォルダーウォッチャー」は、指定したフォルダーを常に監視し、そこに保存された画像ファイルを自動的に文字認識して、指定ファイル形式で出力先フォルダーに保存します。

簡単！PDF for Office

機能概要



「簡単！PDF for Office」は、「読取革命」インストール時にインストールされる独立したアプリケーションです。「読取革命」を起動することなく使用できます。

「簡単！PDF for Office」は、メイン画面にドラッグ＆ドロップされたPDFファイルを Word・Excel・テキスト・JPEG・BMP 形式のファイルに変換、および「読取革命」に読み込みます。

※作成ファイルから「読取革命」を選択した場合は、「読取革命」が起動し、ファイルが画像変換され「読取革命」に読み込まれます。

機能概要

「簡単！PDF 変換」は、「読取革命」インストール時にインストールされる独立したアプリケーションです。「読取革命」を起動することなく使用できます。

画像ファイルを右クリックすると表示されるコンテキストメニューから「簡単！PDF 変換」を選択して、ダイレクトに PDF ファイルに変換します。

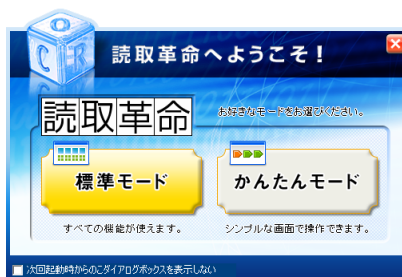
複数の画像ファイルを一度に PDF ファイルに変換できるほか、作成する PDF ファイルの各種設定が行えます。

画面モードの切り替え

「標準モード」と「かんたんモード」を切り替えます。現在の画面モードは、ウィンドウタイトルに表示されます。

「読取革命へようこそ！」から表示する

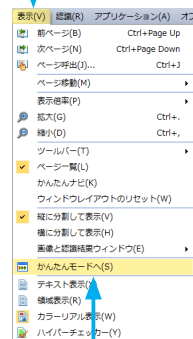
- 「読取革命へようこそ！」
起動時に表示される、「読取革命へようこそ！」ダイアログボックスから、「標準モード」、「かんたんモード」を選択して起動できます。
- ※「読取革命へようこそ！」ダイアログボックスの「表示/非表示」は、「読取革命へようこそ！」ダイアログボックスの「次回起動時からこのダイアログボックスを表示しない」チェックボックスの「オン/オフ」で設定できます。また、「環境設定」の「一般」タブの「起動時に「読取革命へようこそ！」を表示する」チェックボックスの「オン/オフ」でも設定できます。
(☞「一般」タブの設定」応用編 P.85)
- ※「読取革命へようこそ！」ダイアログボックスを非表示に設定した場合は、前回終了時の画面モードで起動されます。



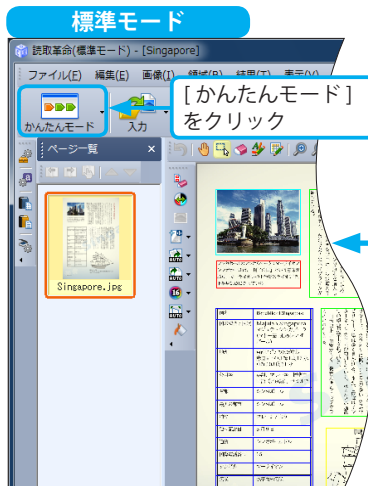
切り替えて表示する

- [標準モード] → [かんたんモード]

[表示] をクリック



[かんたんモードへ] をクリック



- [かんたんモード] → [標準モード]

かんたんモード



ウィンドウとバーの表示と変更

[標準モード]では、画像ウィンドウ・認識結果ウィンドウ・ページ一覧ウィンドウ・転送先アプリツールバー・ツールバーは、表示のオン/オフと形態の変更が行えます。

また、ステータスバーは、操作中に実行している処理の進行状況を表すプログレスバーを表示することがあります。

画像ウィンドウと認識結果ウィンドウ

●形態の変更

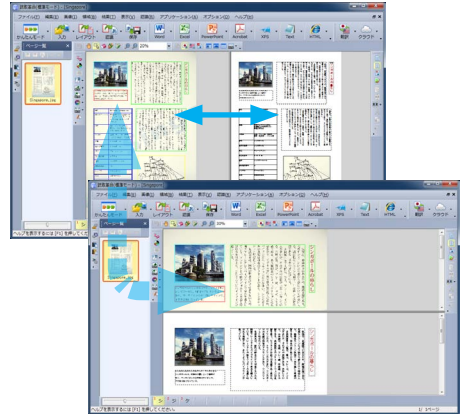
画像ウィンドウと認識結果ウィンドウの境目でマウスの左ボタンを押したまま動かすと、ウィンドウの割合を変更できます。

認識結果ウィンドウは、文字認識を実行すると表示されます。右図のようにウィンドウの並びを上下に変更することもできます。

(☞「画像・認識結果ウィンドウを上下に並べるには」応用編 P.36)

画像ウィンドウだけや認識結果ウィンドウだけを表示させることもできます。

(☞「画像/認識結果ウィンドウを表示する」基本編 P.104)

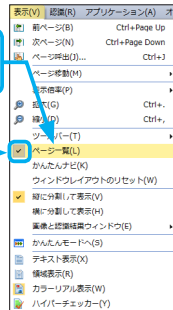


ページ一覧ウィンドウ

●表示のオン/オフ

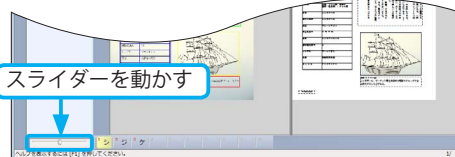
[ページ一覧]をクリックしてオン/オフ

表示されているときは、チェックマークが付いています。



●表示サイズの変更

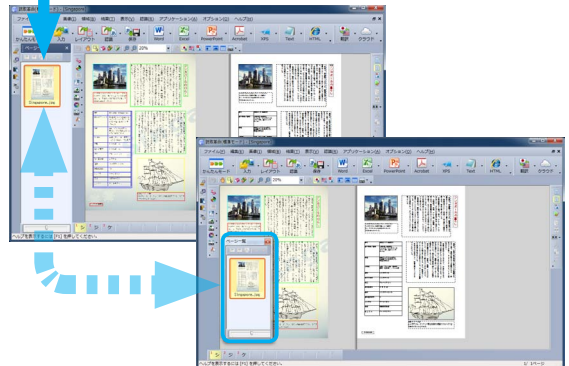
ページ一覧ウィンドウのスライダーを動かして一覧の表示サイズを変更できます。



●形態の変更

ページ一覧ウィンドウのタイトルバーでマウスの左ボタンを押したまま動かすと、表示位置を自由に変更できます。また、ページ一覧ウィンドウは、画面の上下部、左右端に固定できます。

ページ一覧ウィンドウ



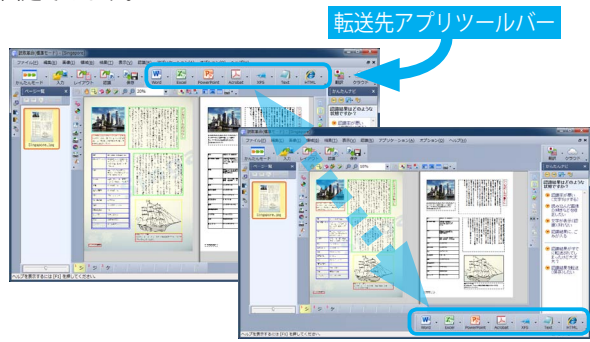
※ページ一覧ウィンドウを画面内に戻すには、ページ一覧ウィンドウのタイトルバーをダブルクリックします。

転送先アプリツールバー

認識結果をほかのアプリケーションへ転送するツールバーです。
 (☞「転送する」基本編 P.124)
 (☞「転送先アプリの設定」応用編 P.32)

●形態の変更

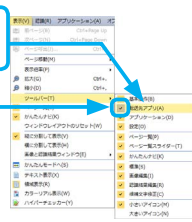
転送先アプリツールバーの上(ボタン以外の場所)でマウスの左ボタンを押したまま動かすと、表示場所を自由に変更できます。また、画像ウィンドウ、認識結果ウィンドウ上下部、左右端に固定できます。



●表示のオン/オフ

[転送先アプリ]をクリックしてオン/オフ

表示されているときは、チェックマークが付いています。

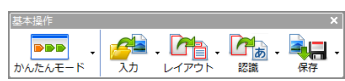


ツールバー

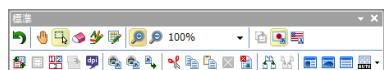
使用頻度の高い機能を、あらかじめツールバーに表示しています。
 なお、ツールバーは、表示/非表示を選択して切り替えることができます。

●種類

基本操作



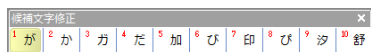
標準



設定



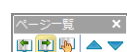
候補文字修正



アプリケーション



ページ一覧



画像編集



認識結果編集

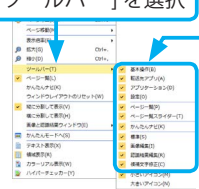


かんたんナビ



●表示のオン/オフ

[ツールバー]を選択



それぞれをクリックしてオン/オフ

表示されているときは、チェックマークが付いています。

各ツールバーに表示されるボタンは表示/非表示を変更できます。

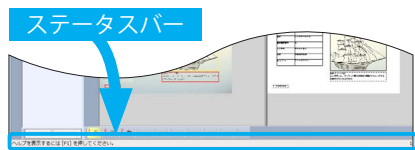
(☞「ツールバーのカスタマイズ」応用編 P.37)

※デフォルトでは表示されていないボタンがあります。
 ※▼があるボタンは、前回選択した機能を示すアイコンが前面に表示されます。次回同じ操作を行う場合は、ボタン部分をクリックするだけで前回と同じ操作を実行できます。

ステータスバー

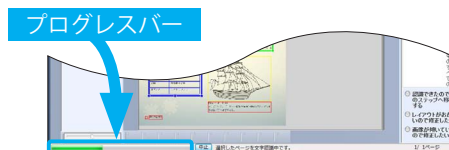
ステータスバー

カーソルがメニューやツールバーのボタン上にあるとき、メニューやボタンの説明、あるいは表示中のページ番号 / 総ページ数をステータスバーに表示します。



プログレスバー

処理の進行状況はプログレスバーで表示し、[中止]をクリックして中断できます。



操作モード

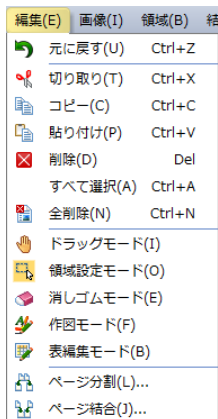
[標準モード]には、[ドラッグモード]・[領域設定モード]・[消しゴムモード]・[作図モード]・[表編集モード]の5つの操作モードがあります。

ドラッグモード など、指定されている場合は、指定された操作モードで操作してください。

現在の操作モードは何？

次の方法で現在の操作モードを確認できます。

●メニューを表示させて確認



[編集]メニューを開くと現在の操作モードを確認できます。現在の操作モードは、アイコンの背景色で区別されます。

●ツールバーで確認



現在の操作モードは、アイコンの背景色で区別されます。

●画像ウィンドウ上のマウスポインターの状態を確認

ドラッグモード

領域設定モード

消しゴムモード

作図モード

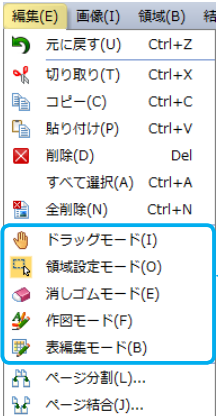
表編集モード

マウスポインターの形状は、モードごとに変わります。

操作モードを変更するには？

目的の操作に合わせて、操作モードを変更できます。

●メニューを表示させて変更



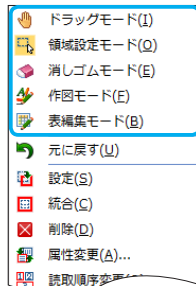
●ツールバーで変更



変更するモードをクリック

変更するモードをクリック

●右クリックで変更



変更するモードをクリック

操作手順

□ は、基本的な操作、□ は、必要に応じて行う応用的な操作です。

[標準モード]の手順

1 起動する

☞ 基本編 P.42

2 [標準モード]に切り替える

☞ 基本編 P.19

3 画像を入力する

☞ 基本編 P.67～P.73

画像を編集する

☞ 基本編 P.90～P.95

☞ 応用編 P.43

4 レイアウト認識する

☞ 基本編 P.100～P.102

領域枠の手動設定・変更

☞ 基本編 P.83～P.89

見出しを認識する

☞ 応用編 P.15

5 文字認識する

☞ 基本編 P.103

認識結果を編集する

☞ 基本編 P.109～P.119

☞ 応用編 P.10～P.12

☞ 応用編 P.30～P.31

6 保存・転送する

☞ 基本編 P.120～P.124

7 印刷する

☞ 基本編 P.126～P.127

8 終了する

☞ 基本編 P.43

[かんたんモード]の手順

☞ 基本編 P.45

1 起動する

☞ 基本編 P.42

2 [かんたんモード]に切り替える

☞ 基本編 P.19

3 画像を入力する

☞ 基本編 P.46～P.47

画像を編集する

☞ 基本編 P.49～P.50

領域枠の手動設定・変更

☞ 基本編 P.51

4 文字認識する

☞ 基本編 P.52

認識結果を編集する

☞ 基本編 P.53～P.55

5 保存する

☞ 基本編 P.56～P.57

6 終了する

☞ 基本編 P.43

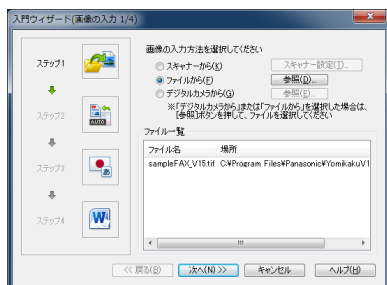
入門ウィザードの手順

☞ 基本編 P.63

- 1 起動する
☞ 基本編 P.42
- 2 [標準モード]に切り替える
☞ 基本編 P.19
- 3 入門ウィザードを選択する
☞ 基本編 P.63
- 4 画像を入力する
☞ 基本編 P.64
- 5 画像の編集を行う
☞ 基本編 P.65
- 6 認識の種類を選択する
☞ 基本編 P.65
- 7 認識結果の出力を選択する
☞ 基本編 P.66

■ [入門ウィザード]

入門ウィザードのステップに沿って設定をするだけで、画像の読み込みから認識結果の出力までを自動で行う機能です。初めて「読取革命」を使用される方は、基本操作の流れを学ぶことができます。



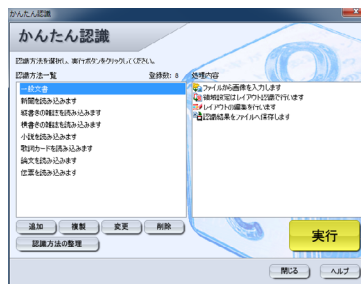
かんたん認識の手順

☞ 基本編 P.129

- 1 起動する
☞ 基本編 P.42
- 2 [標準モード]に切り替える
☞ 基本編 P.19
- 3 かんたん認識を選択する
☞ 基本編 P.130
- 4 画像を入力する
☞ 基本編 P.138
- 5 画像の編集を行う
☞ 基本編 P.139 ~ 140
- 6 レイアウトを指定する
☞ 基本編 P.140 ~ 141
- 7 認識結果の出力を選択する
☞ 基本編 P.142 ~ 143

■ [かんたん認識]

簡単な設定をするだけで、画像の読み込み、画像編集、レイアウト認識、文字認識、保存 (転送) を自動で行う機能です。



このページは空白ページです。

セットアップ

インストール.....	28
アンインストール.....	31
自動アップデート.....	34
スキャナーの設定.....	37
メーカーダイアログを利用する場合.....	37
専用ダイアログを利用する場合.....	38
ScanSnap の設定.....	40

インストール

「読取革命」をパソコンにインストールします。

「読取革命」を再インストールする場合は、再インストール前にアンインストールを行ってください。アンインストールについては、「アンインストール」基本編 P.31 を参照してください。

※インストールは、「読取革命」をパソコンでご利用いただくために必要な作業です。

- ※「読取革命」をインストールする前に、必ずすべてのアプリケーションを終了してください。
- ※インストールは、コンピューターの管理者権限をもつユーザーで行ってください。
- ※ Windows 8 / 7 または Windows Vista をご使用の場合は、「ユーザー アカウント制御」画面が表示されます。プログラムを続行するには許可を行ってください。

セットアップ画面が表示されない場合

■パッケージ版

- ① Windows の [スタート] メニューをクリック。
- ② [すべてのプログラム] - [アクセサリ] の [ファイル名を指定して実行] をクリック。
※お使いの OS によっては、[スタート] メニューの [ファイル名を指定して実行] をクリックします。
- ③ [D:¥setup] と入力。
([D:] は CD-ROM ドライブ名で、お使いの環境によって異なります)
- ④ [OK] をクリック。

■ダウンロード版

「YomiV15.exe」を解凍し、「読取革命 Ver.15」-「セットアップ」フォルダーを開き、「setup.exe」ファイルをダブルクリックしてください。

1 インストールプログラムを選択する

付属のセットアップ CD-ROM をドライブにセットしてください。自動的にセットアップ画面が表示されます。

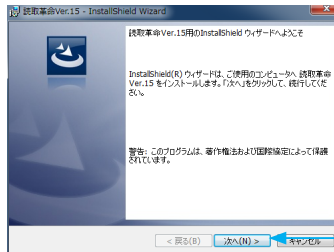
ダウンロード版の場合

インストールプログラムを実行する

ダウンロードした「YomiV15.exe」は、自己解凍ファイルです。

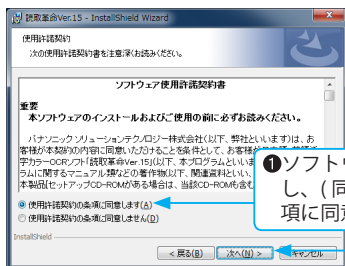
「YomiV15.exe」をダブルクリックして実行すると、指定した場所に「読取革命 Ver.15」フォルダーが解凍され、ファイルが展開します。展開が完了すると、自動的にセットアップ画面が表示されます。

2 インストールプログラムを開始する



[次へ] をクリック

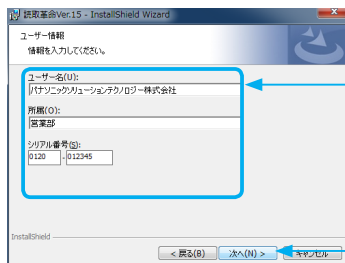
3 [ソフトウェア使用許諾契約書]を確認する



①ソフトウェア使用許諾契約書の内容を確認し、(同意される場合は)[使用許諾契約の条項に同意します]をクリック

②[次へ]をクリック

4 [ユーザ情報]を入力する



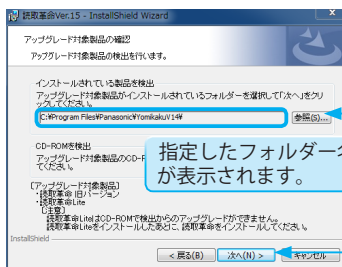
①ユーザ名、所属、シリアル番号を入力

②[次へ]をクリック



※シリアル番号を誤って入力した場合は、警告メッセージが表示されます。シリアル番号を確認し、再度入力してください。

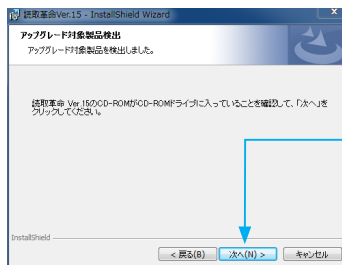
バージョンアップ版の場合



①[参照]をクリックして、バージョンアップ対象製品のインストール先を選択

指定したフォルダー名が表示されます。

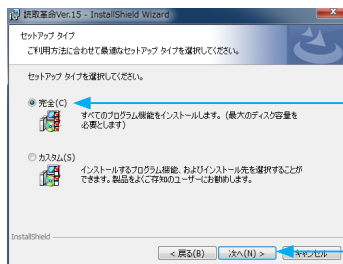
②[次へ]をクリック



③読取革命 Ver.15のCD-ROMがCD-ROMドライブに入っていることを確認して[次へ]をクリック

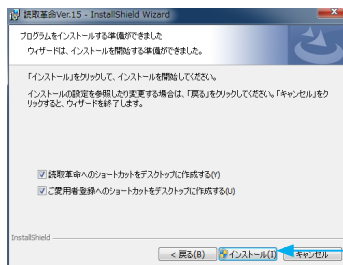
5 [セットアップタイプ]を選択する

※ [カスタム] を選択すると、インストール先フォルダーの変更や追加機能を指定できます。



① [完全] をクリック

② [次へ] をクリック

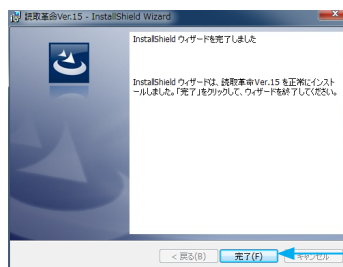


③ [インストール] をクリックするとインストールを開始します

- ・「読取革命」のショートカットをデスクトップに作成しない場合は、[読取革命へのショートカットをデスクトップに作成する]チェックボックスをクリックしてオフにしてください。
- ・「ご愛用者登録」のショートカットをデスクトップに作成しない場合は、[ご愛用者登録へのショートカットをデスクトップに作成する]チェックボックスをクリックしてオフにしてください。

6 インストール完了

※インストールが完了すると、再起動を促すメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。その場合は、[はい] をクリックして、Windows の再起動を行ってください。



[完了] をクリック

アンインストール

インストールされている「読取革命」をアンインストール（パソコンから削除）します。

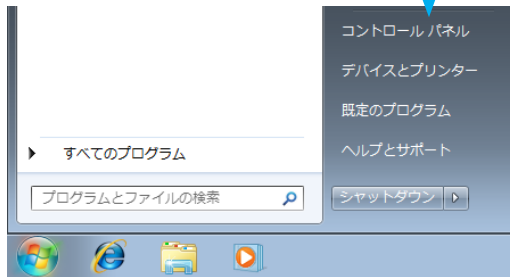
※アドインの設定を行っているアプリケーションがある場合は、アドインの解除後にアンインストールを行ってください。アドインの解除については、「アドインの解除」応用編 P.97 を参照してください。

※アンインストールは、コンピュータの管理者権限をもつユーザーで行ってください。

※アンインストールを実行する前に、「読取革命」とすべてのアプリケーションを終了してください。

1 コントロールパネルを選択する

② [コントロールパネル] をクリック



① [スタート] をクリック

2 [プログラムのアンインストール] を開く

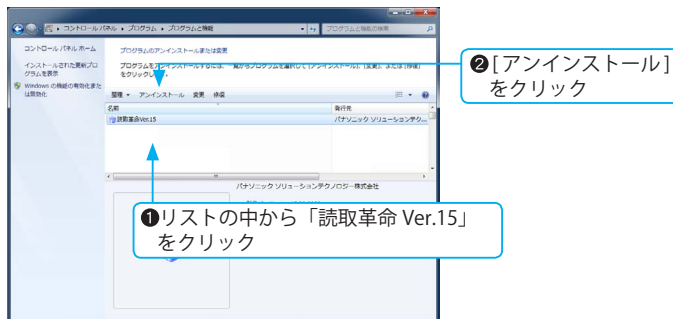
※「プログラムのアンインストール」は、お使いの OS によって異なります。
Windows XP をご利用の場合：
[プログラムの追加と削除]



[プログラムのアンインストール] をクリック

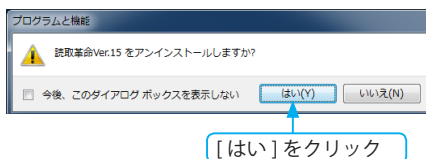
3 「読取革命」を選択する

※「プログラムのアンインストールまたは変更」画面の表示は、お使いのOSによって異なります。



4 「読取革命」を削除する

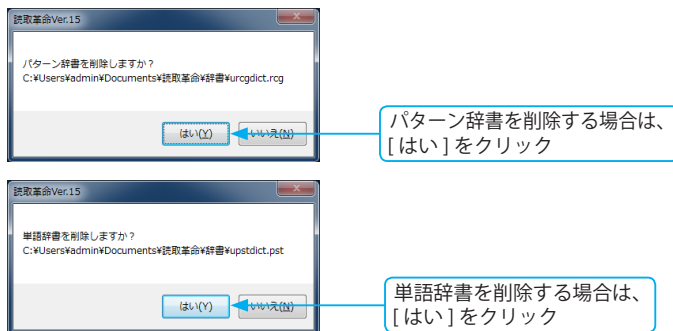
※ Windows 8 / 7 または Windows Vista をご使用の場合は、「ユーザー アカウント制御」画面が表示されます。プログラムを続行するには許可を行ってください。



5 辞書の削除を確認する

前回使用したパターン辞書と単語辞書の削除について、それぞれメッセージダイアログボックスが表示されます。

※再度インストールを行って、パターン辞書 / 単語辞書を再利用する場合は、[いいえ]を選択してください。



6 アンインストール完了

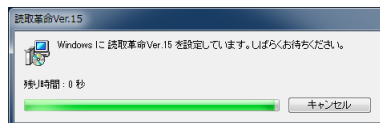
インストール先のフォルダーが

削除されない場合

インストール先のフォルダー内にお客様が作成されたファイルがある場合は、この操作ではフォルダーを削除できません。手動でフォルダーの削除を行ってください。

※デフォルトのインストール先フォルダーのパス

(C:¥Program Files¥Panasonic¥YomikakuV15)



自動アップデート

インターネットに接続し、自動で「読取革命」のアップデート情報を取得します。
アップデートが必要な場合、メッセージが表示され、アップデートファイルをダウンロードできます。
※ 自動アップデートを行うには、あらかじめインターネットをご利用いただける環境が必要です。

※ 自動アップデートを行うには、コンピューターの管理者権限をもつユーザーでログインする必要があります。

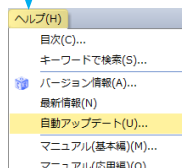
※ 「環境設定」の[一般]タブで[起動時に読取革命の最新版を確認する]チェックボックスがオンの場合、「読取革命」起動時にアップデートの確認を開始します。

※ [スタート]-[すべてのプログラム]の表示は、お使いの OS によって異なります。

1 自動アップデートを選択する

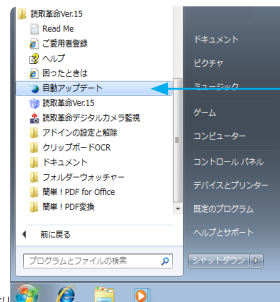
メニューから

① [ヘルプ]をクリック

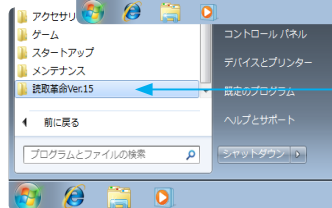


② [自動アップデート]をクリック

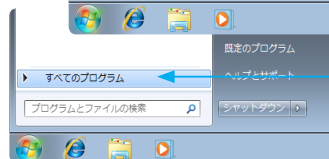
[スタート]メニューから



④ [自動アップデート]をクリック



③ [読取革命 Ver.15]を選択



② [すべてのプログラム]を選択

① [スタート]をクリック

2 アップデート確認を開始する

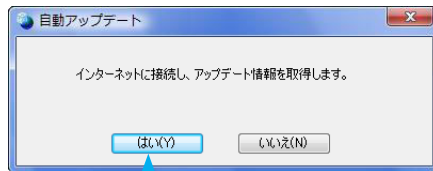
エラーメッセージが表示され、

自動アップデートが行えない場合

インターネット接続 (Internet Explorer) の設定、または接続するサーバーに問題があると、自動アップデートが正常に行えない場合があります。インターネットが正常に接続されていることを確認し、再度「自動アップデート」をお試しください。

なお、正常にインターネット接続されているにもかかわらず、問題が解決されない場合は、サポートセンターまでご連絡ください。お問い合わせの際は、表示されるエラーメッセージの番号をあわせてお知らせください。

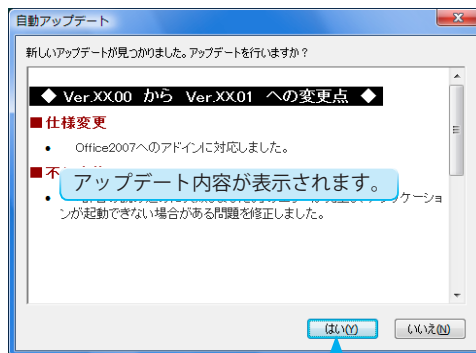
(☞ 「アフターサービス」基本編 P.179)



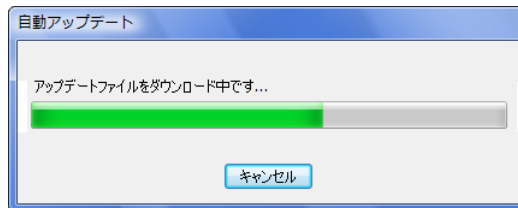
① [はい] をクリック

アップデート確認が開始されます。

アップデートが必要な場合

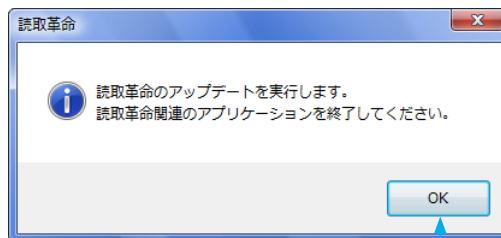


② [はい] をクリック



※アップデートを実行する前に、すべてのアプリケーションを終了してください。

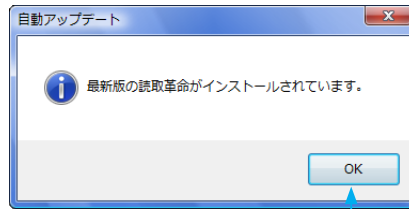
※ Windows 8/7または Windows Vista をご使用の場合は、「ユーザー アカウント制御」画面が表示されます。プログラムを続行するには許可を行ってください。



③ [OK] をクリック

アップデートファイルのインストーラーが起動します。表示される手順に従って、インストールしてください。

アップデートが不要な場合



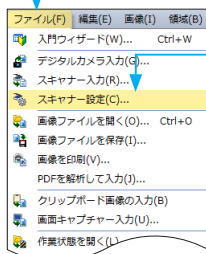
[OK] をクリック

スキャナーの設定

「読取革命」は、スキャナーを使用して画像を読み込むことができます。
スキャナー付属の取扱説明書を確認し、ドライバーのインストールを行ってください。
スキャナーのドライバーがインストールされた環境で、「読取革命」をご利用いただくための設定方法を説明します。

1 [スキャナー設定] を選択する

① [ファイル] をクリック



② [スキャナー設定] をクリック

または、ツールバーの
ボタンをクリック



■ ドライバー

パソコンの画面からスキャナーを動作させるためのソフトウェアです。
既に、スキャナーを使用されている場合は、「読取革命」用に改めてインストールする必要はありません。
また、一度ドライバーを設定すると、次回起動時からの設定は不要です。

※ エプソン GT-F500/520/550/570 をご利用の場合、メーカーダイアログからマルチフォトフィーダを利用しての連続読み込みは行えません。

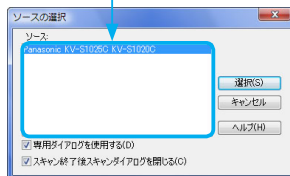
■ [スキャン終了後スキャンダイアログを閉じる]

チェックボックスをオンにすると、読み込み終了後にスキャナー入力のダイアログボックスを閉じます。チェックボックスをオフにすると、スキャナー入力のダイアログボックスは閉じません。連続読み込みを行う場合などに便利です。メーカーダイアログに同様の設定項目がある場合は、メーカーダイアログの設定に依存します。

※ WIA ドライバーを選択した場合は、[スキャン終了後スキャンダイアログを閉じる]は選択できません。

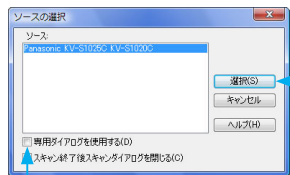
2 ドライバーを選択する

リストの中から、スキャナーの
ドライバー名をクリック



3 入力用ダイアログを選択する

メーカーダイアログを利用する場合

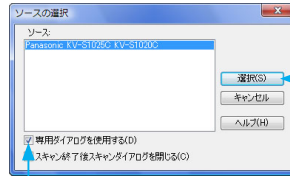


② [選択] をクリック

① [専用ダイアログを使用する] を
クリックしてオフ

専用ダイアログを利用する場合

「読取革命」には、専用ダイアログが用意されています。
「読取革命」に登録されているスキャナーであれば、専用ダイアログを利用して、最適な濃度でのスキャンや設定した読み込み間隔での連続スキャンが可能です。

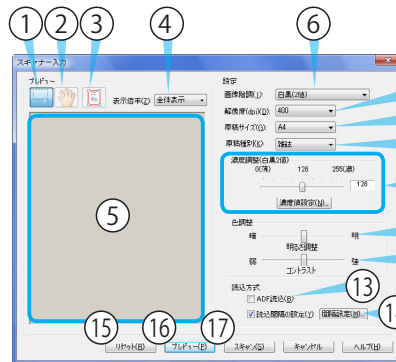


① [専用ダイアログを使用する] をクリックしてオン

② [選択] をクリック

※選択したドライバー名によっては、チェックボックスが無効となる場合があります。

■スキャナー入力 ダイアログボックスの詳細



① [領域選択]

プレビュー画像を範囲選択し、読み込む領域を設定します。

② [スクロール]

マウスポインターで直接画像をつかみ、上下左右にスクロールします。

③ [全選択]

プレビュー画像を全選択します。

④ [表示倍率]

プレビュー画像の表示倍率を設定します。

⑤ [プレビューウィンドウ]

設定した内容で読み込む原稿をプレビューします。

⑥ [画像階調]

画像の階調を設定します。設定できる画像階調は、[白黒(2値)]、[グレースケール 16 階調]、[グレースケール 256 階調]、[カラー 256 階調]、[フルカラー]です。

※ 選択したスキャナーの機種によっては、表示される項目は異なります。

⑦ [解像度]

解像度を設定します。設定できる解像度は [100]、[200]、[300]、[400]、[600]dpi です。

※ 選択したスキャナーの機種によっては、表示される項目は異なります。

⑧ [原稿サイズ]

原稿サイズを設定します。設定できる原稿サイズは [A3]、[A4]、[A5]、[A6]、[B4]、[B5]、[B6] のサイズです。

※ 選択したスキャナーの機種によっては、表示される項目は異なります。

- ⑨ [原稿種別]
画像階調が白黒(2値)の場合に、原稿の種類を選択できます。原稿種別には、[雑誌]、[新聞]、[ワープロ原稿]、[論文]、[マニュアル]、[カタログ]、[その他]があります。
- ⑩ [濃度調整(白黒2値)]/[濃度値設定]
画像階調が白黒(2値)の場合に、濃度値を調整できます。スライダーを動かして、画像の濃度 [0(薄)～255(濃)] を設定できます。
また、[濃度値設定] をクリックすると、「濃度設定」ダイアログボックスが表示され、各原稿種別に対する濃度値の調整が行えます。
※ 選択したスキャナーの機種によっては、濃度変更ができない場合があります。濃度変更ができない場合は、メーカーダイアログを利用して濃度値の変更を行ってください。
- ⑪ [明るさ調整]
画像階調が白黒(2値)以外の場合に、スライダーを動かして、画像の明るさを調整できます。
- ⑫ [コントラスト]
画像階調が白黒(2値)以外の場合に、スライダーを動かして、画像のコントラストを調整できます。
- ⑬ [ADF 読込]
ADFから原稿を読み込む場合に [ADF 読込] チェックボックスをクリックしてオンにします。
※ 選択したスキャナーの機種によっては、使用できない場合があります。
- ⑭ [読込間隔の設定]/[間隔設定]
チェックボックスをクリックしてオンにすると、[間隔設定] が有効になります。2枚目以降から指定枚数まで、自動的にスキャンが開始されます。複数枚の原稿を読み込む場合に便利な機能です。
[間隔設定] をクリックすると、「間隔設定」ダイアログボックスが表示され、開始(秒)、間隔(秒)、枚数を設定できます。
- ⑮ [リセット]
設定を初期値に戻すことができます。
プレビュー画面に、A4以外の原稿サイズが表示されている場合は、原稿サイズが変更されるので、プレビュー画像が消去されます。
- ⑯ [プレビュー]
スキャナーで読み込んだ画像をプレビュー表示します。
- ⑰ [スキャン]
設定した値で、画像を読み込みます。

ScanSnap の設定

カラーイメージスキャナー「ScanSnap」をご使用の場合は、[スキャン]を押すだけで「読取革命」に読み込むことができます。連携を行うためには、次の設定が必要となります。

【設定を行う前に】

- ScanSnap の設定は、コンピューターの管理者権限をもつユーザーで行ってください。
- ScanSnap と連携するためには、ScanSnap Manager V3.1L10 以上が必要です。

■ ScanSnap Manager の設定 (初回だけの設定です)

- ① ScanSnap のドライバーをインストールし、ScanSnap をコンピューターに接続します。
 - 操作の詳細については、ScanSnap のマニュアルを参照してください。
- ② 「読取革命」を起動します。
 - 「読取革命」を「ScanSnap Manager」に登録するかしないかの確認メッセージダイアログボックスが表示されます。



- [はい]: 「読取革命」を「ScanSnap Manager」に登録します。
- [いいえ]: 「読取革命」を「ScanSnap Manager」に登録しません。
- [次回確認]: 次回「読取革命」起動時に確認メッセージダイアログボックスを表示します。

- ③ 確認メッセージダイアログボックスの [はい] をクリックします。

Windows 8 / 7 または Windows Vista の場合

Windows 8 / 7 または Windows Vista をご使用の場合は、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。プログラムを続行するには許可を行ってください。

- ④ 「ScanSnap Manager」を起動します。
 1. Windows の [スタート] メニューをクリックし、[すべてのプログラム] にマウスポインターを合わせます。
 - インストールされているアプリケーション一覧が表示されます。
 2. [ScanSnap Manager] にマウスポインターを合わせます。
 3. [ScanSnap Manager] をクリックします。
 - タスクバーに「ScanSnap Manager」の常駐アイコンが表示されます。
- ⑤ 「ScanSnap Manager」の設定を行います。
 - 「ScanSnap Manager」の常駐アイコンを右クリックし、リストの中から [設定] を選択します。
 - 「ScanSnap Manager」ダイアログボックスが表示されます。
- ⑥ [アプリ選択] タブの [アプリケーションの選択] の ▼ をクリックし、リストの中から「読取革命 Ver.1」を選択します。
- ⑦ [OK] をクリックします。

■ ScanSnap からの読み込み

ScanSnap の [スキャン] を押します。

- 「読取革命」が自動的に起動し、読み込みが完了すると、読み取り結果が画像ウィンドウに表示されます。
- 「読取革命」が起動している場合は、既に読み込まれている画像に追加して画像を読み込みます。

※ [いいえ] ボタンをクリックしたあとに、「読取革命」を「ScanSnap Manager」に登録する場合は、「読取革命」を再度インストールし、登録を行ってください。

※ ScanSnap を使用する場合は、「読取革命」からスキャナー入力することはありません。

※ [スタート]-[すべてのプログラム] の表示は、お使いの OS によって異なります。

読取革命を起動する

起動する	42
終了する	43

起動する

「読取革命」は、Windows の [スタート] メニューから選択して起動できるほか、デスクトップ上のショートカットアイコンからも起動できます。
また、アドイン設定を行ったアプリケーションからも起動できます。

※「環境設定」で [起動時に読取革命の最新版を確認する] を設定している場合は、アップデートの確認が開始されます。アップデートが必要な場合は、「自動アップデート」ダイアログボックスが表示されます。表示された場合は、「アップデートが必要な場合」を参照してアップデートを行ってください。
(☞「アップデートが必要な場合」基本編 P.35)

※ ScanSnap Manager V3.1L10 以上がインストールされている場合は、「読取革命」起動時に、「読取革命」を「ScanSnap Manager」に登録するかしないかの確認メッセージダイアログボックスが表示されます。「ScanSnap の設定」を参照して、設定を行ってください。
(☞「ScanSnap の設定」基本編 P.40)

※ [スタート]-[すべてのプログラム] の表示は、お使いの OS によって異なります。

※デスクトップ上のショートカットアイコンは、インストール時に、[読取革命] へのショートカットをデスクトップに作成する]チェックボックスをオンにした場合に表示されます。

アドイン対象アプリケーション

- Microsoft Word 2010/2007/2003
- Microsoft Excel 2010/2007/2003
- Microsoft PowerPoint 2010/2007/2003
- Adobe Acrobat 10/9/8

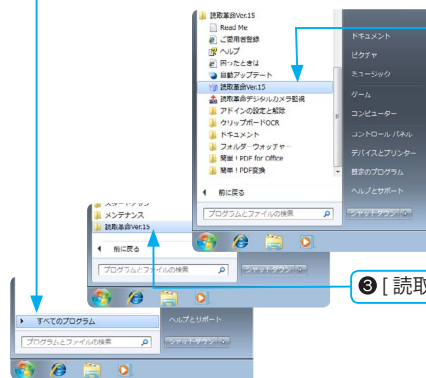
※ [アドイン]-[読取革命]-[読取革命の起動] の表示は、お使いの環境によって異なります。

1 「読取革命」を起動する

[スタート] メニューから

② [すべてのプログラム] を選択

④ [読取革命 Ver.15] をクリック



① [スタート] をクリック

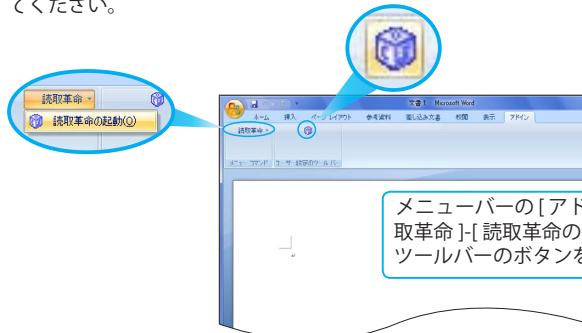
デスクトップ上のショートカットアイコンから



デスクトップ上の「読取革命 Ver.15」のショートカットアイコンをダブルクリック

アドイン設定ボタンから

「読取革命」では、アドインの設定と解除を行うことができます。アドインの設定については、「アドインの設定と解除」応用編 P.97 を参照してください。

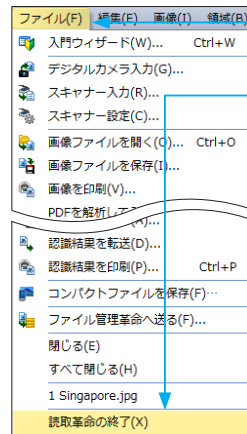


終了する

「読取革命」を終了します。


1 「読取革命」を終了する

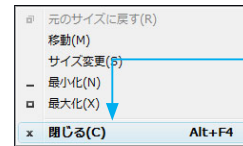
[標準モード]



① [ファイル] をクリック


② [読取革命の終了] をクリック

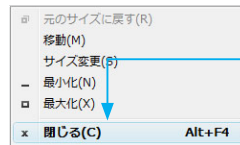
画面右上の  ボタンをクリック、またはウィンドウのコントロールメニューの



[閉じる] をクリック

[かんたんモード]

画面右上の  ボタンをクリック、またはウィンドウのコントロールメニューの



[閉じる] をクリック

2

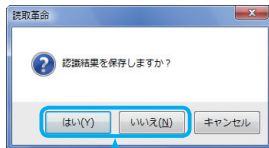
画像・認識結果の保存を確認する

保存確認ダイアログボックスの表示

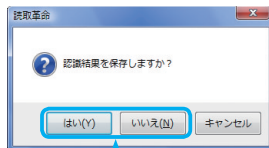
- ・「認識結果を保存しますか？」メッセージダイアログボックスの表示は、「環境設定」の[認識結果・画像の保存]タブで設定できます。

(☞ 「[認識結果・画像の保存]タブの設定」応用編 P.91)

- ・文字認識を行っていない場合は、「認識結果を保存しますか？」メッセージダイアログボックスは表示されません。
- ・画像を読み込んでいない場合は、「画像を保存しますか？」メッセージダイアログボックスは表示されません。



保存する場合は[はい]をクリック
保存しない場合は[いいえ]をクリック



保存する場合は[はい]をクリック
保存しない場合は[いいえ]をクリック

かんたんモード

かんたんモードを使ってみよう	46
[標準モード]から[かんたんモード]に切り替える.....	46
画像を入力する	46
ページを表示・選択する.....	48
画像を編集する	49
表示倍率を変更する.....	50
領域枠を編集する.....	51
文字認識を行う	52
認識結果ウィンドウの表示を切り替える	52
認識結果をすべて削除する.....	53
元に戻す	53
認識結果を編集する.....	54
保存する	56
ページを閉じる	58

かんたんモードを使ってみよう

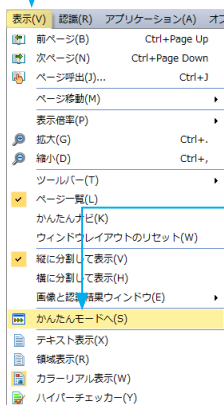
[かんたんモード]の操作方法を説明します。

「読取革命」の基本的な操作を、シンプルな画面で操作できます。[かんたんモード]では、[標準モード]の各設定が反映されます。

[標準モード]から[かんたんモード]に切り替える

[かんたんモード]に切り替えます。

① [表示] をクリック

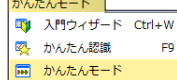


② [かんたんモードへ] をクリック

または、ツールバーの



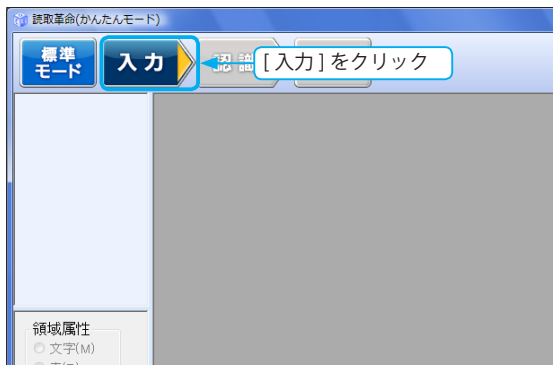
① ▼ をクリック



② [かんたんモード] をクリック

画像を入力する

文字認識を行う画像を入力します。



※画像入力後にヒントを表示しない場合は、[画像入力後、ヒントを表示する] チェックボックスをオフにします。

複数ファイルを指定する場合

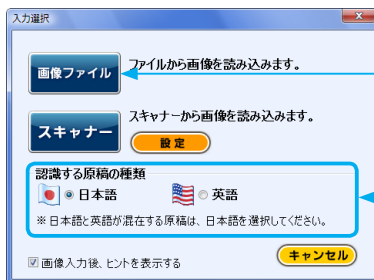
- 離れたファイルを指定する
[Ctrl] キーを押したまま、ファイルを1つつクリックして選択します。
- 連続したファイルを指定する
選択するファイルが連続して並んでいる場合、選択する範囲の先頭と末尾のファイルを [Shift] キーを押したままクリックすると、間に挟まれたファイルがすべて選択できます。

※既に読み込んでいる画像を残したまま次のページに画像を追加するには、[画像ファイルを追加して読み込む] チェックボックスをクリックしてオンにします。

※ (*.xdw,*.xbd,*.pdf) ファイル入力の詳細については、「画像ファイルを開く」基本編 P.70 を参照してください。

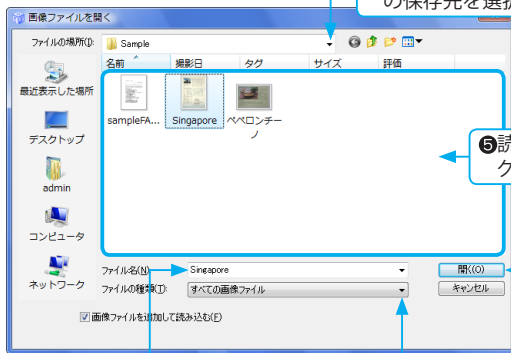
※使用するスキャナーを選択していない場合は、[設定] をクリックし、使用するスキャナーを選択してください。
(☞「スキャナーの設定」基本編 P.37)

画像ファイルを入力する



② [画像ファイル] をクリック

① [認識する原稿の種類] を選択



③ ▼をクリックして、画像ファイルの保存先を選択

⑤ 読み込むファイルをクリック

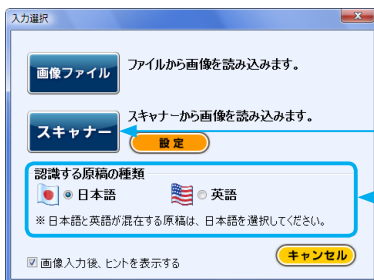
⑦ [開く] をクリック

⑥ 表示されているファイル名を確認

④ ▼をクリックして、画像ファイルの種類を選択

自動的にレイアウト認識され、ページ一覧ウィンドウと画像ウィンドウに画像が表示されます。

スキャナーから画像を入力する



② [スキャナー] をクリック

① [認識する原稿の種類] を選択

③ 表示されたスキャナー入力画面の設定を行い、入力を行う

スキャナー入力画面の操作方法については、お手持ちのスキャナーの取扱説明書を参照してください。

解像度は 400dpi に設定することをお勧めします。

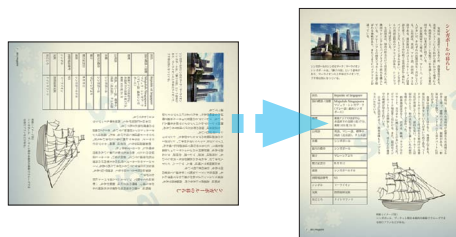
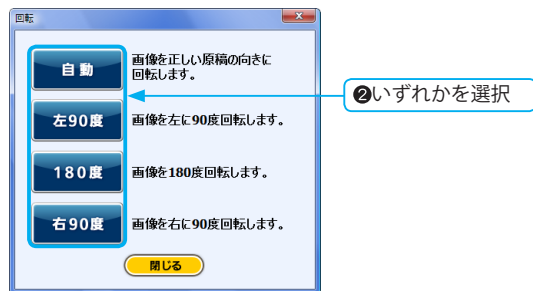
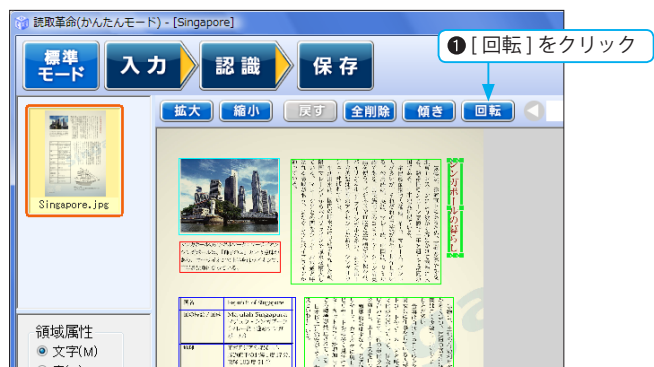
※パソコンやスキャナーの性能、または設定した解像度によって、読み込みに多少時間がかかる場合があります。

自動的にレイアウト認識され、ページ一覧ウィンドウと画像ウィンドウに画像が表示されます。

画像を編集する

正しく文字認識を行うには、読み込んだ画像を正しい向きにする必要があります。正しい向きになっていない場合は、画像編集を行ってください。

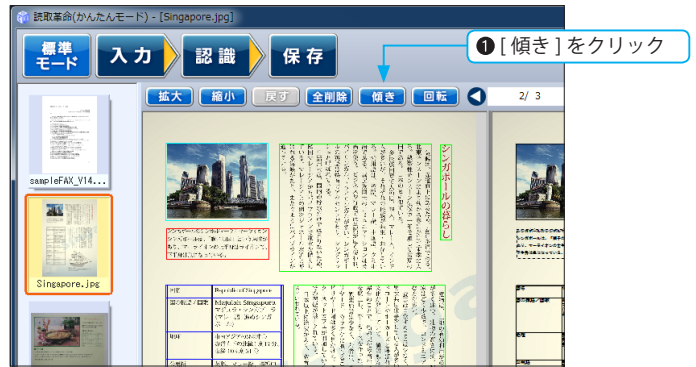
回転を行う



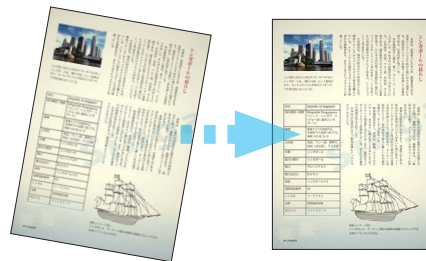
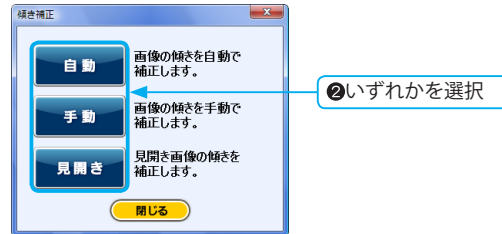
[自動]を選択した場合は、原稿の向きが自動で回転されます。自動的にレイアウト認識されます。

傾き補正を行う

※ 45度以上傾いている画像は、傾き補正できません。画像を[回転]させたあとで、傾き補正を実行してください。
(☞「回転を行う」基本編 P.49)



※ [手動]の操作方法については、「手動傾き補正」基本編 P.92を参照してください。
※ [見開き]の操作方法については、「見開き補正」基本編 P.93を参照してください。



[自動]を選択した場合は、原稿の傾きが自動で補正されます。自動的にレイアウト認識されます。

表示倍率を変更する

画像ウィンドウと認識結果ウィンドウの表示倍率を変更します。

※ [拡大・縮小]の表示倍率増減幅は、[標準モード]の「環境設定」で変更できます。
(☞「[表示]タブの設定」応用編 P.86)

※ ページ一覧ウィンドウの表示倍率は、[標準モード]で変更できます。ページ一覧ウィンドウ下部のページ一覧スライダーを動かして、表示倍率を変更してください。



領域枠を編集する

必要に応じて領域枠を編集します。

領域枠を設定する

- ☞ 「領域枠の作成」基本編 P.83
- ☞ 「領域枠の選択」基本編 P.84
- ☞ 「領域枠のサイズ変更」基本編 P.85
- ☞ 「領域枠の削除」基本編 P.86

領域属性を変更する

領域属性

領域枠内の認識対象の属性を設定します。

〔文字〕：文字領域として、文字認識を行います。

〔表〕：表領域として、文字認識を行います。

〔画像〕：画像領域になります。文字認識の対象とはなりません。

〔図形〕：直線や点、円などで構成されている領域として、認識を行います。

〔手書き〕：1行の手書き文字範囲を選択して、文字認識を行います。読み込んだ画像に手書き文字が含まれている場合に使用できます。

※ただし、認識可能な文字種は、アルファベット・数字・記号となります。

文字方向

認識する文字方向（横書き / 縦書き）を指定します。

〔横書き〕：横書きとして、文字認識を行います。

〔縦書き〕：縦書きとして、文字認識を行います。

認識モード

認識するモードを設定します。

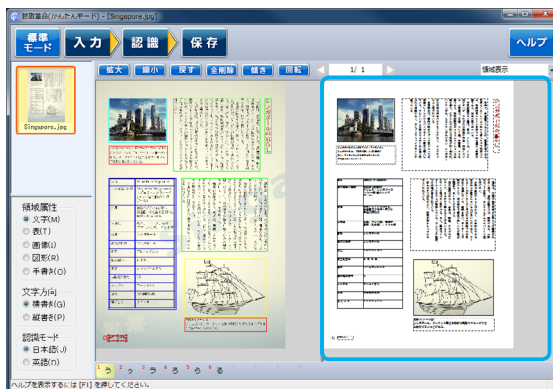
〔日本語〕：日本語領域として、文字認識を行います。

〔英語〕：英語領域として、文字認識を行います。



文字認識を行う

領域枠が確定したら、文字認識を行います。

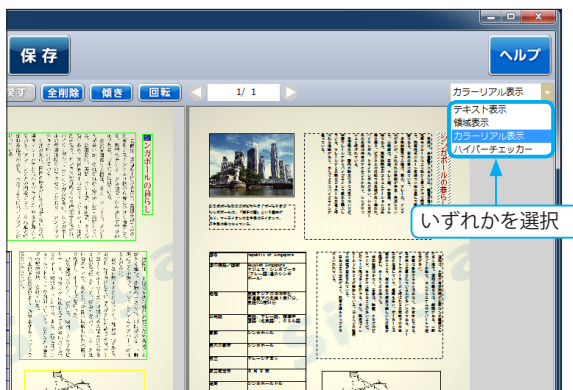


すべての画像が文字認識され、認識結果ウィンドウに認識結果が表示されます。

認識結果ウィンドウの表示を切り替える

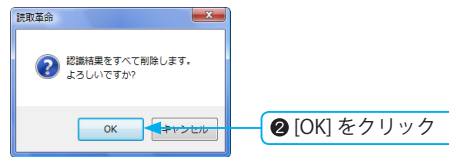
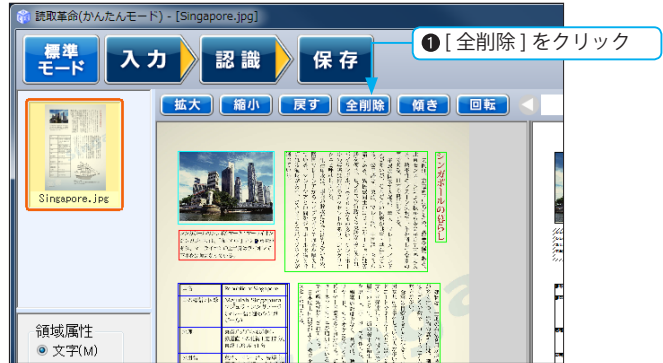
※各表示の詳細については、「認識結果ウィンドウの表示を切り替える」基本編 P.106 を参照してください。

認識結果の表示方法は、4 とおりあります。用途に応じて切り替えることができます。



認識結果をすべて削除する

領域枠と認識結果をすべて削除します。



領域枠と認識結果がすべて削除されます。

元に戻す

直前に行った操作を取り消し、1つ前の状態に戻します。

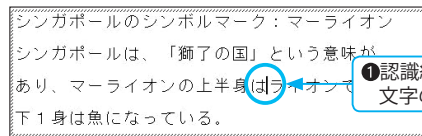


認識結果を編集する

認識結果ウィンドウで認識結果を編集します。

一括修正で複数の文字を一度に修正する

形状の似た文字を検索し、一括して修正する機能です。修正作業を効率的に行うことができます。一括修正の対象は、表示しているページだけです。



① 認識結果ウィンドウで、修正する文字の前にカーソルをおく

※ 候補文字のフォントサイズは、「環境設定」で変更できます。
(☞ 「[表示] タブの設定」 応用編 P.86)

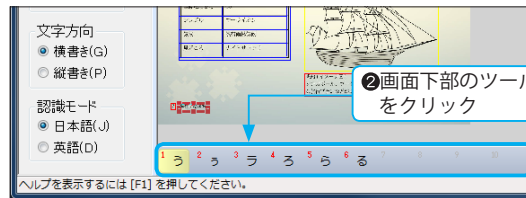
※ 「候補文字修正」ダイアログボックスの [一括修正を行う] チェックボックスがオフの場合は、「一括修正」ダイアログボックスは表示されずに、1文字だけ修正されます。

修正対象からはずすには

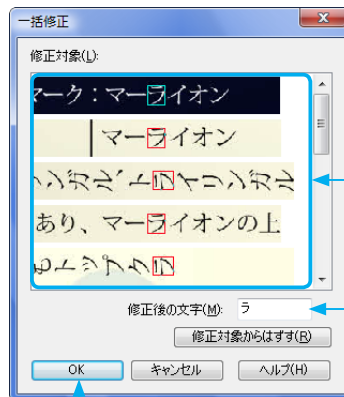
- ① 修正しない文字画像をクリック。
- ② [修正対象からはずす] をクリック、または①を行わずに修正しない文字画像をダブルクリック。
 - ・ 選択した文字画像がリストから削除されます。

複数の文字画像を選択する場合

- ・ 離れた文字画像を指定する
[Ctrl] キーを押したまま文字画像を1つずつクリックして選択します。
- ・ 連続した文字画像を指定する
最初の文字画像をクリックし、[Shift] キーを押したまま最後の文字画像をクリックすると、間に挟まれた文字画像がすべて選択できます。



② 画面下部のツールバーの候補文字をクリック



修正対象の文字画像が表示されます。
□で囲まれているのが修正対象文字です。

選択した文字が [修正後の文字] テキストボックスに表示されます。

[修正後の文字] テキストボックスの文字は、変更できます。

③ [OK] をクリック

[修正対象] の画像の認識結果が、
[修正後の文字] テキストボックスに入力した文字に修正されます。

■【パターン辞書登録を行う】
 チェックボックスがオンの場合、候補文字修正を行った文字画像と修正文字とを関連づけて、パターン辞書へ登録します。
 (☞「パターン辞書」応用編 P.72)

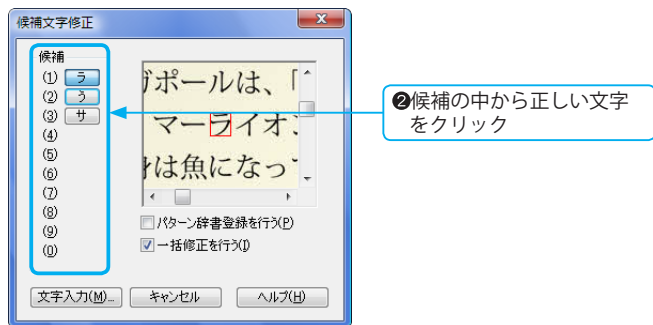
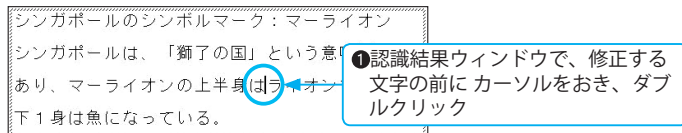
■【一括修正を行う】
 チェックボックスがオンの場合、候補文字修正が行われるときに、「一括修正」ダイアログボックスが開き、修正対象の文字画像と似た文字画像の認識結果も一度に修正します。
 (☞「一括修正で複数の文字を一度に修正する」基本編 P.54)

※表示中の「候補文字修正」ダイアログボックスは、ダイアログボックス以外の場所をクリックしても閉じます。

※英語認識モードで認識すると、候補文字は表示されません。

候補文字修正で1文字ずつ修正する

1つの文字画像に対して複数の候補文字を選び出し、その中でもっとも近いと思われる文字を認識結果として表示します。認識結果が正しくないときは、候補文字の一覧を表示させ、その中から正しい文字を選択して修正できます。

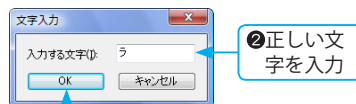


選択した文字に修正されます。

候補文字一覧に正しい文字がない場合

候補文字に正しい文字がない場合は、手で文字を入力できます。

①【文字入力】をクリック



③【OK】をクリック

入力した文字に修正されます。

認識結果ウィンドウで編集する

認識結果ウィンドウで認識結果を編集できます。直接文字を入力して編集できるほか、認識結果ウィンドウで右クリックし、メニューを選択するか、ショートカットキーでも編集が行えます。

- 【元に戻す】 : [Ctrl]+[Z] キーを押す。
- 【切り取り】 : [Ctrl]+[X] キーを押す。
- 【コピー】 : [Ctrl]+[C] キーを押す。
- 【貼り付け】 : [Ctrl]+[V] キーを押す。
- 【削除】 : [Delete] キー、または [BackSpace] キーを押す。
- 【すべて選択】 : [Ctrl]+[A] キーを押す。

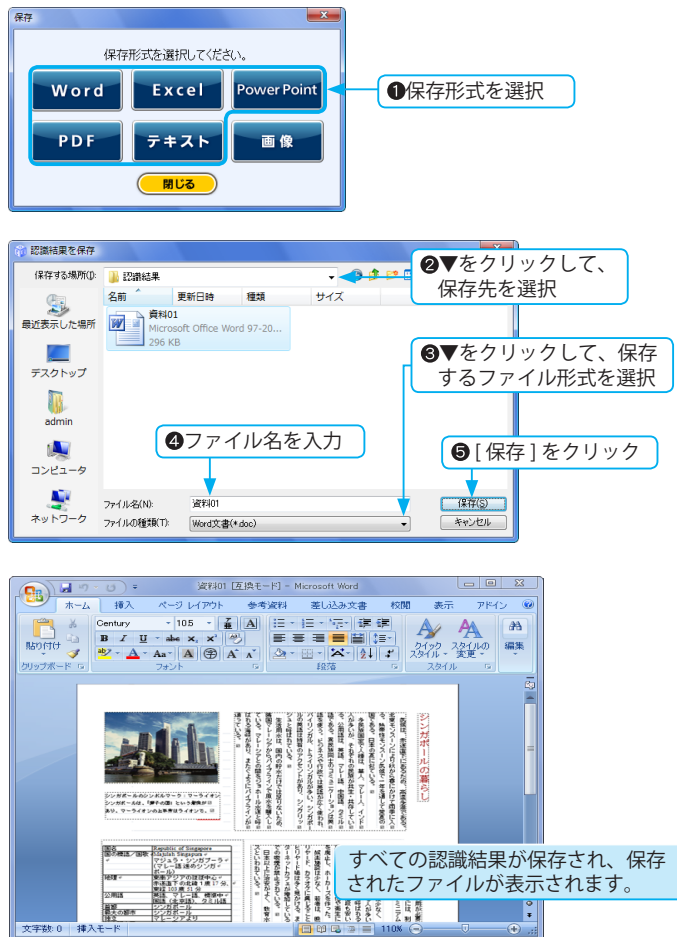
保存する

認識結果と画像ファイルを保存します。



※選べる保存ファイル形式については「出力形式の詳細」基本編 P.171 を参照してください。

認識結果を保存する



画像を保存する

選択できる保存ファイル形式

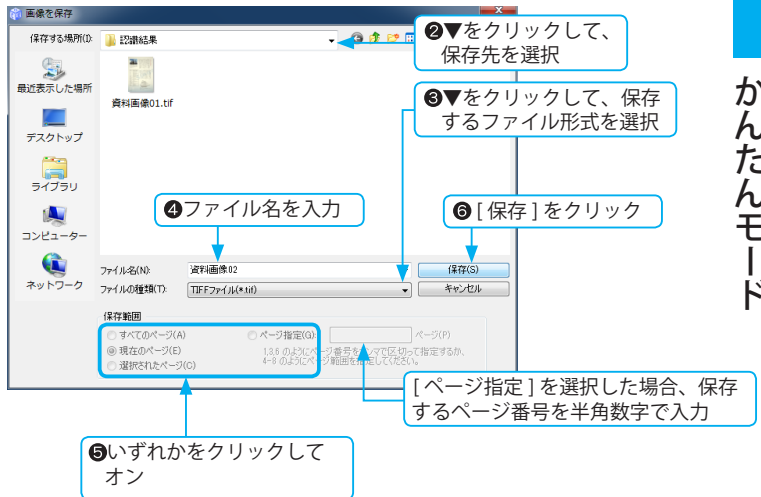
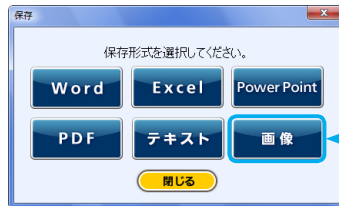
- TIFF ファイル (*.tif,*.tiff) (注)
 - TIFF[非圧縮] ファイル (*.tif,*.tiff)
 - BMP ファイル (*.bmp)
 - DCX ファイル (*.dcx)
 - PCX ファイル (*.pcx)
 - JPEG ファイル (*.jpg,*.jpeg)
- ファイル形式についての説明は、「用語解説」基本編 P.176 に記載しています。
(注) カラー画像の場合は、TIFF[JPEG 圧縮] で保存されます。白黒画像(2値画像)の場合は、TIFF[G4 圧縮] で保存されます。

ファイル形式が異なる画像を、 1つのファイルに保存する場合

TIFF、または DCX 形式で保存してください。

現在表示されているページの 画像だけを保存する場合

BMP/PCX/JPEG 形式で保存します。
複数ページを保存する場合は、ページごと
に保存してください。



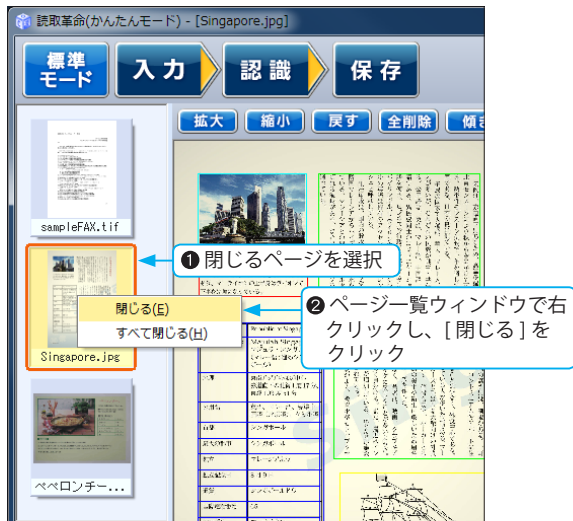
■保存範囲

- [すべてのページ]: ページ一覧ウィンドウに表示されたすべての画像
- [現在のページ]: 画像ウィンドウに表示された画像
- [選択されたページ]: ページ一覧ウィンドウで選択されたページの画像
- [ページ指定]: 指定されたページに該当する画像

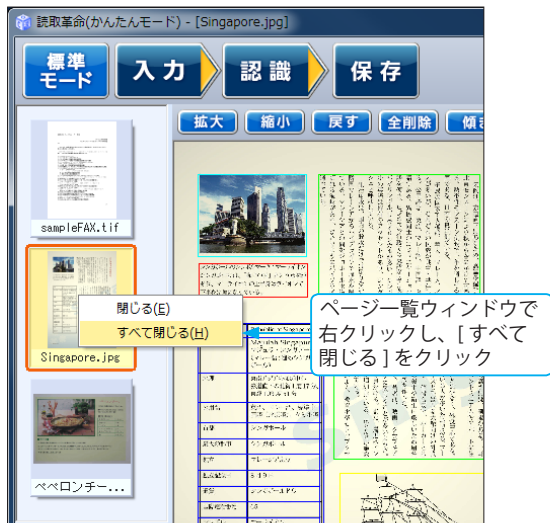
ページを閉じる

ページ一覧ウィンドウに表示されているページを閉じる方法は、次の2とおりです。

選択したページを閉じる



すべてのページを閉じる



基本操作

かんたんナビで対話しながら処理を行う	60	画像の表示位置を変える	99
かんたんナビを表示する	60	レイアウト認識を行う	100
入門ウィザードで自動認識処理を行う	63	選択したページ	100
画像を入力する	67	現在のページ	101
デジタルカメラ入力	67	選択した領域	101
スキャナー入力	69	文字認識を行う	103
画像ファイルを開く	70	画像 / 認識結果ウィンドウを表示する	104
クリップボード画像の入力	72	認識結果ウィンドウの表示を切り替える	106
画面キャプチャー入力	73	テキスト表示	106
PDF ファイルを解析して入力する	74	領域表示	107
ページを表示・選択する	76	カラーリアル表示	107
クリックで直接選択する	76	ハイパーチェッカー	107
前ページ・次ページで表示する	76	切り取り・コピー・貼り付けをする	108
ページ呼出で表示する	77	画像の切り取り・コピー・貼り付け	108
すべてのページを選択する	78	文字列の切り取り・コピー・貼り付け	109
ページを移動する	79	削除する	110
前へ・次へで移動する	79	領域枠と認識結果をすべて削除する	110
ドラッグで移動する	80	領域枠を削除する	111
画像の表示倍率を変更する	81	文字列を削除する	112
指定倍率に変更する	81	半角・全角を変換する	113
一定倍率で拡大・縮小する	81	修正機能で認識結果を編集する	114
領域の範囲指定	82	一括修正で複数の文字を一度に修正する	114
領域枠の設定	83	候補文字修正で1文字ずつ修正する	115
領域枠の作成	83	検索する	117
領域枠の選択	84	置換する	118
領域枠のサイズ変更	85	元に戻す	119
領域枠の統合	86	保存する	120
領域枠の削除	86	画像の保存	120
領域枠の属性変更	87	認識結果の保存	121
ノイズ除去	90	コンパクトファイルの保存	122
傾き補正	91	転送する	124
自動傾き補正	91	PDF ファイルにパスワードを設定する	125
手動傾き補正	92	常に固定のパスワードを使用する	125
見開き補正	93	変換時にパスワードを指定する	125
回転	95	印刷する	126
認識結果と文字画像の連動	96	画像の印刷	126
認識結果から文字画像を表示する	96	認識結果の印刷	127
文字画像から認識結果を表示する	96	ページを閉じる	128
操作モードの切り替え	97		
ドラッグモード	97		
領域設定モード	98		
消しゴムモード	98		
作図モード	98		
表編集モード	98		

かんたんナビで対話しながら処理を行う

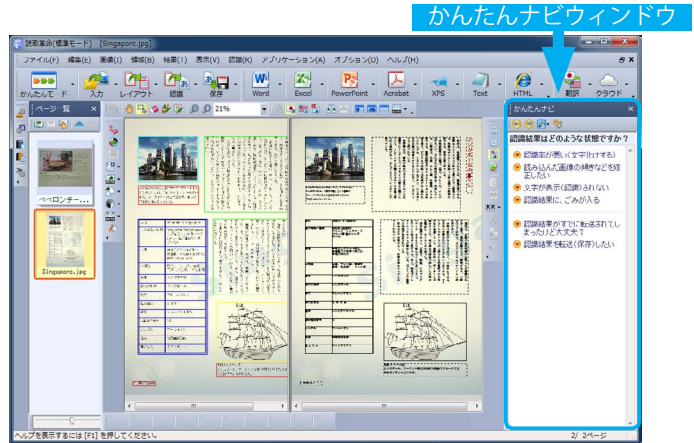
対話形式で操作を案内する「かんたんナビ」をご用意しています。

各質問に答えていけば、「かんたんナビ」が問題解決のための操作をすばやくご案内し、「かんたんナビ」ウィンドウ内から機能を直接実行できます。また、ウィンドウ内の関連ヘルプをクリックすると、該当ヘルプが起動します。

期待した結果が得られずお困りのときは、是非お試しください。

かんたんナビを表示する

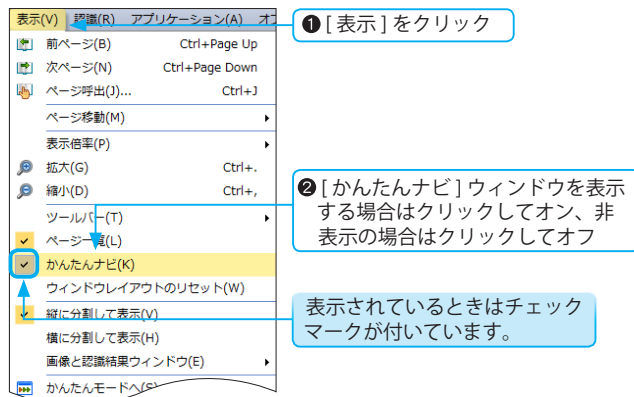
初回起動時は、かんたんナビウィンドウが画面右端に表示されています。



1 メニューを選択する

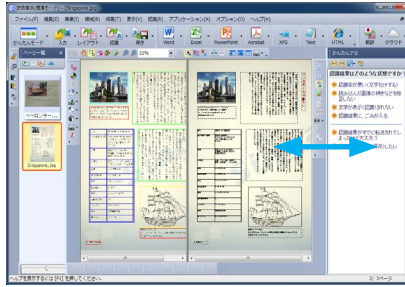
●表示のオン / オフ

かんたんナビは、メニューから表示 / 非表示を切り替えることができます。

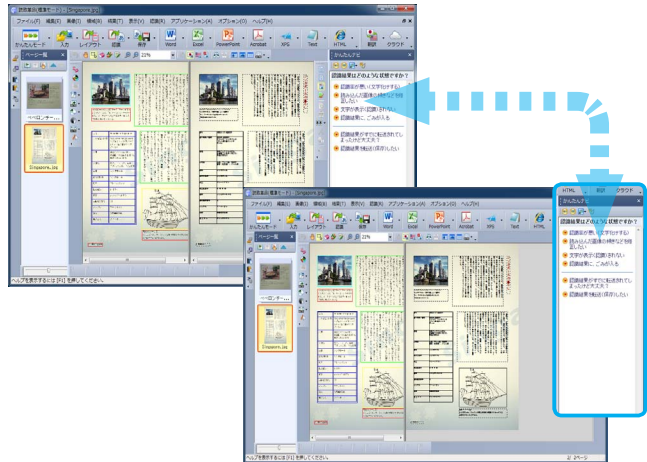


●形態の変更

かんたんナビウィンドウと認識結果ウィンドウの境目でマウスの左ボタンを押したまま動かすと、ウィンドウの割合を変えることができます。

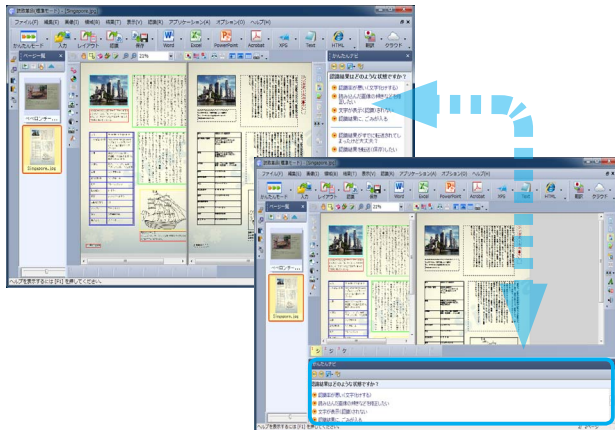


かんたんナビウィンドウのタイトルバーをマウスの左ボタンを押したまま動かすと、「読取革命」のメイン画面から切り離して移動させることができます。



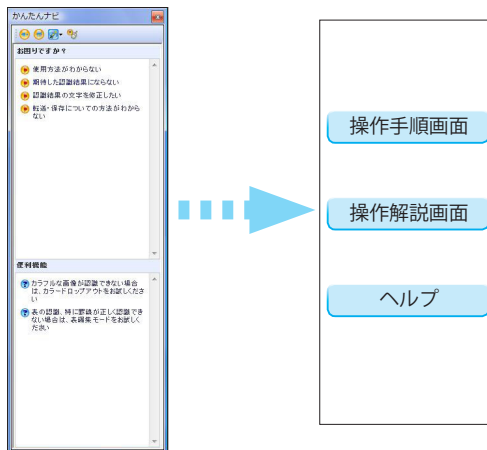
※かんたんナビウィンドウを画面内に戻すには、かんたんナビウィンドウのタイトルバーをダブルクリックします。

かんたんナビウィンドウの並びを上下左右に変更して固定することもできます。



2 項目を選択する

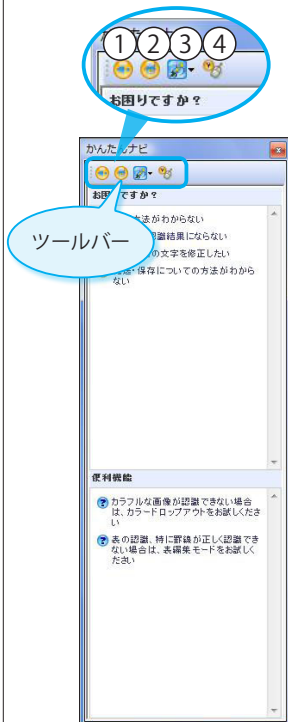
※「かんたんナビ」は、画像入力、レイアウト認識、文字認識後に操作に沿った画面に自動的に切り替わります。(入門ウィザード、またはかんたん認識処理中は除く)



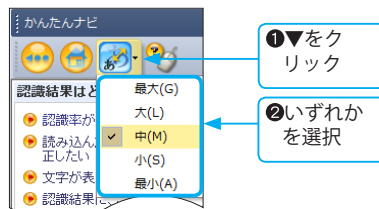
「かんたんナビ」ウィンドウに表示される項目をクリックしていくと、操作手順画面や操作解説画面、またはヘルプが起動して、確認したい項目の内容が表示されます。

■ 「かんたんナビ」ウィンドウの詳細

※ツールバーの表示/非表示については、「ツールバーのカスタマイズ」応用編 P.37 を参照してください。



- ① [戻る] 直前に表示したページに戻ります。
- ② [HOME] 最初のページに戻ります。かんたんナビで迷った場合に、最初のページからやりなおせませす。
- ③ [文字サイズ] 表示される文字サイズを指定します。デフォルトの文字サイズは、「中」です。



選択できる文字サイズ

- ・最大
- ・大
- ・中
- ・小
- ・最小

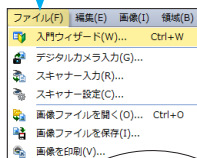
- ④ [操作方法] かんたんナビの操作方法を表示します。

入門ウィザードで自動認識処理を行う

初めて「読取革命」を使用される方は、「入門ウィザード」で基本操作の流れを学ぶことができます。入門ウィザードは、ステップ1からステップ4までを設定するだけで簡単に文字認識を実行できます。

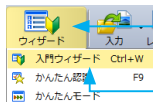
1 入門ウィザードを表示する

① [ファイル] をクリック



② [入門ウィザード] をクリック

または、ツールバーの

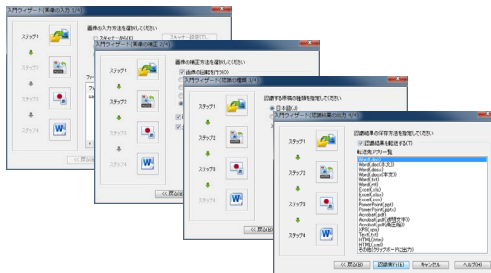


① ▼ をクリック

② [入門ウィザード] をクリック

2 文字認識の条件設定を行う

文字認識のための条件を [入門ウィザード] のステップに沿って設定します。



ステップ1・・・画像の入力

画像の読み込み方法を選択します。

次のいずれか1つのラジオボタンを選択してください。

■スキャナーから読み込む

[スキャナーから]を選択すると、ステップ4で認識を実行したあとに「スキャナー入力」ダイアログボックスが表示されます。

(☞「スキャナー入力」基本編 P.69)

また、[スキャナー設定]をクリックすると、「ソースの選択」ダイアログボックスが表示され、スキャナーを選択できます。

(☞「スキャナーの設定」基本編 P.37)

■ファイルを読み込む

[ファイルから]を選択し、[参照]をクリックすると「画像ファイルを開く」ダイアログボックスが表示されます。

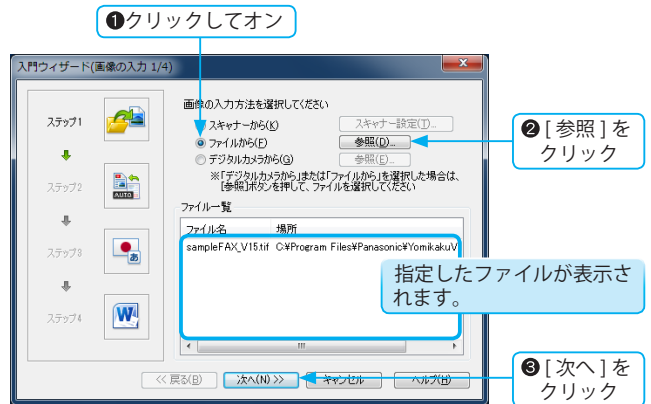
(☞「画像ファイルを開く」基本編 P.70)

複数ファイルを指定する場合

- ・離れたファイルを指定する
[Ctrl]キーを押したまま、ファイルを1つつクリックして選択します。
- ・連続したファイルを指定する
選択するファイルが連続して並んでいる場合、選択する範囲の先頭と末尾のファイルを[Shift]キーを押したままクリックすると、間に挟まれたファイルがすべて選択できます。

※同じフォルダーの中でだけ複数のファイルを指定できます。

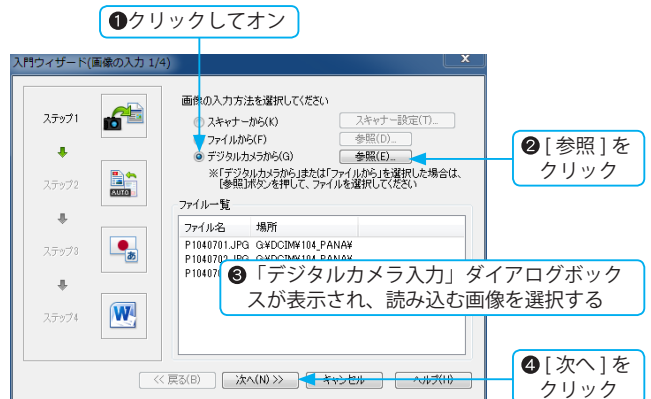
※各ファイルの合計999ページまで読み込むことができます。



■デジタルカメラから読み込む

[デジタルカメラから]を選択し、[参照]をクリックすると、「デジタルカメラ入力」ダイアログボックスが表示されます。

(☞「デジタルカメラ入力」基本編 P.67)



※画像ウィンドウに表示された画像の向きが正しく表示されていない場合は文字認識できません。画像の向きが正常となるように回転させてください。

ステップ2・・・画像の修正

■画像の回転を行う

画像の回転を設定します。画像の回転を行う場合は、[画像の回転を行う]チェックボックスをクリックしてオンにし、次のいずれか1つのラジオボタンを選択してください。

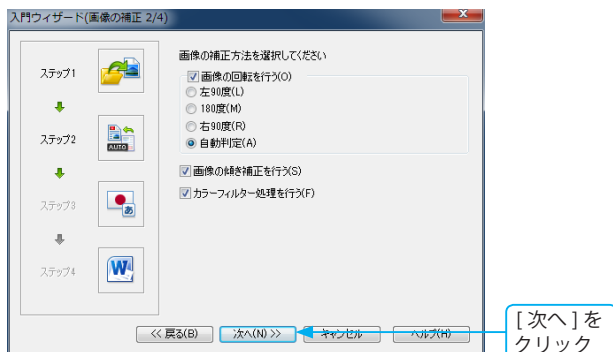
- ・左90度
- ・180度
- ・右90度
- ・自動判定

■画像の傾き補正を行う

[画像の傾き補正を行う]チェックボックスをクリックしてオンにすると、自動で傾き補正が行われます。

■カラーフィルター処理を行う

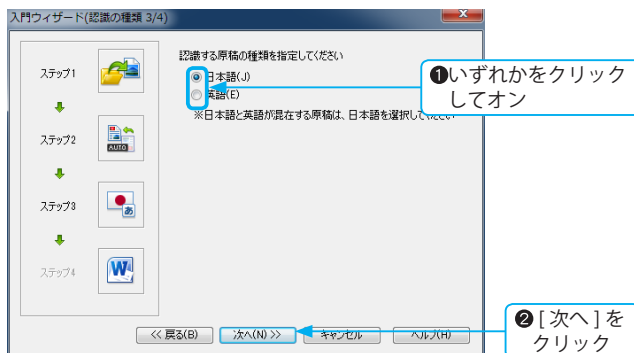
[カラーフィルター処理を行う]チェックボックスをクリックしてオンにすると、自動で文字認識に最適な画像処理が行われます。



ステップ3・・・認識の種類

認識する原稿の種類を指定します。原稿の種類に合わせて、次のいずれか1つのラジオボタンを選択してください。

- ・日本語
- ・英語



※選択できる転送ファイル形式については「出力形式の詳細」基本編 P.171 を参照してください。

ステップ4・・・認識結果の出力

認識結果ウィンドウへ表示する、またはほかのアプリケーションへ転送します。

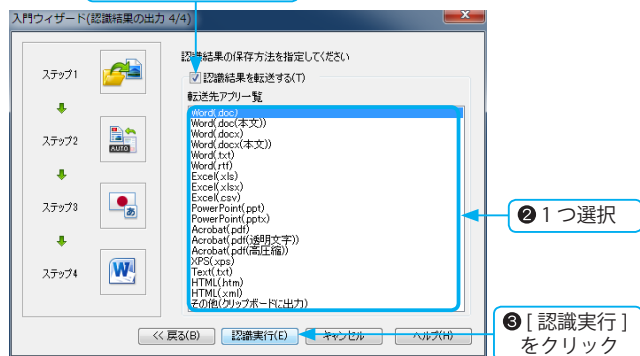
■認識結果を認識結果ウィンドウへ表示する場合

[認識結果を転送する] チェックボックスはオフのまま [認識実行] をクリックします。

■認識結果を転送する場合

[認識結果を転送する] チェックボックスをオンにして、[転送先アプリケーション一覧] から転送先を選択します。

① クリックしてオン



画像を入力する

文字認識をする画像を「読取革命」に読み込みます。

画像の読み込みには、画像ファイル、スキャナー、デジタルカメラ、クリップボード、画面キャプチャーを使用する方法があります。

デジタルカメラ入力

1 [デジタルカメラ入力]を選択する

※デジタルカメラをパソコンに接続します。

デジタルカメラ撮影ポイント

- ・内蔵ストロボはできるだけ発光させずに明るい場所で撮影しましょう。
- ・三脚などを使用して手ぶれしないようにしましょう。
- ・原稿が傾かないように原稿の真上から撮影しましょう。

デジタルカメラから

直接入力するための条件

- ・デジタルカメラがDCFに準拠している。
- ・デジタルカメラ、またはメディアをパソコンに接続したとき、エクスプローラーでリムーバブルディスクと認識される。

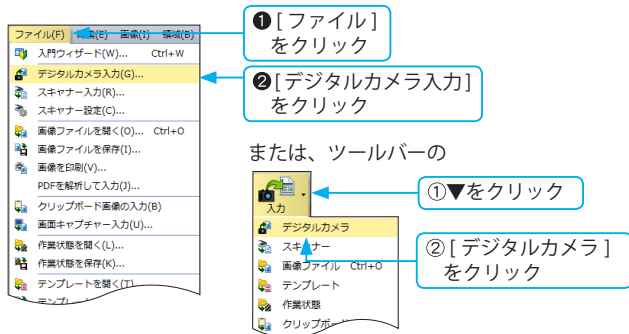
デジタルカメラのメディアとは

- ・スマートメディア
- ・メモリースティック
- ・コンパクトフラッシュ
- ・SDカード
- ・マイクロドライブ
- ・xD-Picture Card など

※画像が暗かったり、原稿に傾きがあったりすると認識率が低下します。

※お使いのデジタルカメラがDCFに準拠しているかは、デジタルカメラの製造元に確認してください。なお、準拠していない場合は、デジタルカメラの画像をハードディスクにコピーして、画像ファイルを入力してください。

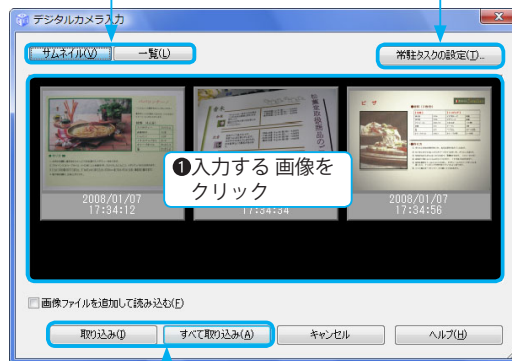
※既に読み込んでいる画像を残したまま次のページに画像を追加するには、[画像ファイルを追加して読み込む]チェックボックスをクリックしてオンにします。



2 読み込む画像を指定する

画像の表示方法が選択できます。

[常駐タスクの設定]の詳細については次ページに記載しています。

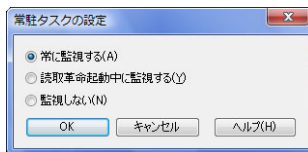



② 選択した画像を読み込む場合は、画像を選択し、[取り込み]をクリック
すべての画像を読み込む場合は、[すべて取り込み]をクリック

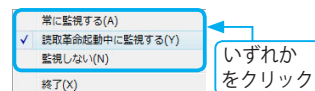
※ FD アダプターを使用して接続した場合など、エクスプローラーでリムーバブルメディアと認識されないものは、常駐タスクで監視できません。

■常駐タスクの設定

「読取革命」では、デジタルカメラのメディアが接続されたことを常駐タスクで監視できます。



または、タスクトレイの  をクリック



[常に監視する]

「読取革命」が起動していない場合でも、デジタルカメラとパソコンを接続したときに「読取革命」が起動し、「デジタルカメラ入力」ダイアログボックスが表示され、画像入力を行うことができます。
※前回終了時の画面モードが [かんたんモード] でも [標準モード] で「読取革命」が起動します。

[読取革命起動中に監視する]

「読取革命」が起動しているときにデジタルカメラとパソコンを接続した場合、「デジタルカメラ入力」ダイアログボックスが表示され、画像入力を行うことができます。
※画面モードが [かんたんモード] の場合は、デジタルカメラから画像入力できません。

[監視しない]

常に監視しません。

[終了]

常駐タスクを終了します。

■スタートアップの [読取革命デジタルカメラの監視] を追加 / 削除する

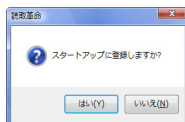
コンピューターの管理者権限をもつユーザーで、以下の設定を行ってください。

[スタートアップに追加する]

(例：Windows Vista の場合)

- ① Windows の [スタート] ボタンをクリック
- ② [すべてのプログラム]-[読取革命 Ver.15]-[読取革命デジタルカメラ監視] をクリック
- ③ 「スタートアップに登録しますか？」メッセージダイアログボックスの [はい] をクリック

※ [スタート]-[すべてのプログラム] の表示は、お使いの OS によって異なります。



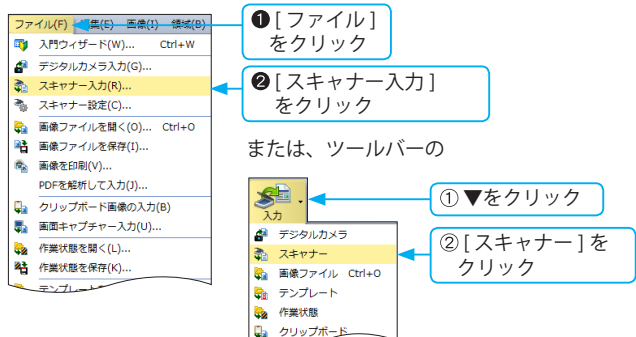
[スタートアップから削除する]

- ① タスクトレイの [読取革命デジタルカメラ監視] アイコンをクリック
- ② [終了] をクリック
- ③ 「スタートアップの登録を解除しますか？」メッセージダイアログボックスの [はい] をクリック



スキャナー入力

1 [スキャナー入力] を選択する



2 画像を入力する

表示されたスキャナー入力画面の設定を行い、入力を行う

スキャナー入力画面の操作方法については、お手持ちのスキャナーの取扱説明書を参照してください。

解像度は 400dpi に設定することをお勧めします。

「読取革命」独自の専用ダイアログボックスを表示させることもできます。

(☞ 「専用ダイアログを利用する場合」基本編 P.38)

読み込みが完了すると、画像ウィンドウに画像が表示されます。

※パソコンやスキャナーの性能、または設定した解像度によって、読み込みに多少時間がかかる場合があります。

※スキャナー入力のダイアログボックスを閉じずに連続して読み込む場合は、「ソースの選択」ダイアログボックスで[スキャン終了後スキャンダイアログを閉じる]チェックボックスをオフにしてください。

(☞ 「スキャナーの設定」基本編 P.37)

■ 解像度

画像のきめ細かさや情報量を表現する単位です。画像の情報量はピクセル(画像を構成する点の数)で表します。ドットの数が多いほど、きめ細かく美しい画像となり、ドットの密度を表現する単位として dpi が用いられます。

※原稿をセットするときは、原稿が傾かないように注意してスキャナーにセットしてください。原稿に傾きがあると認識率が低下します。

※既に読み込まれている画像に追加して、スキャナーからの画像を読み込みます。

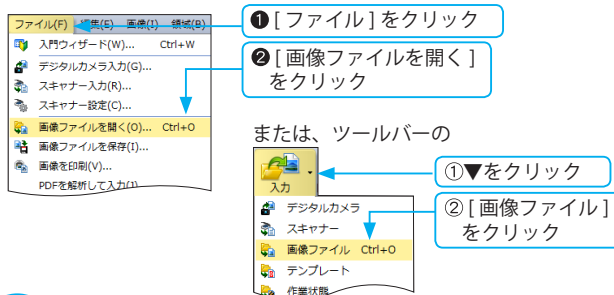
スキャナーが動作しない場合

ディスプレイに表示されるエラーメッセージをご確認ください。エラー・メッセージを参照して該当する項目をご覧ください。

(☞ 「エラー・メッセージ」基本編 P.161)

画像ファイルを開く

1 [画像ファイルを開く] を選択する



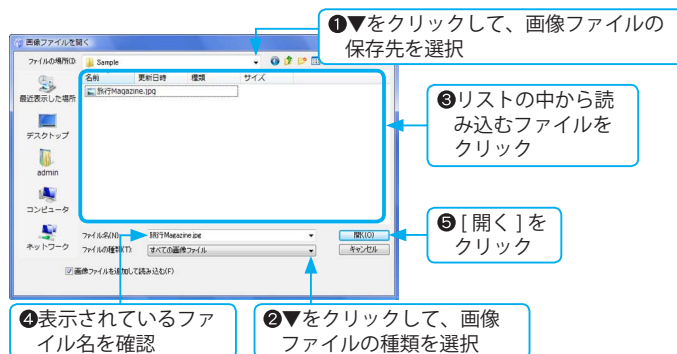
2 読み込む画像ファイルを指定する

複数ファイルを指定する場合

- 離れたファイルを指定する
[Ctrl] キーを押したまま、ファイルを1つつクリックして選択します。
- 連続したファイルを指定する
選択するファイルが連続して並んでいる場合、選択する範囲の先頭と末尾のファイルを [Shift] キーを押したままクリックすると、間に挟まれたファイルがすべて選択できます。

※既に読み込んでいる画像を残したまま次のページに画像を追加するには、[画像ファイルを追加して読み込む] チェックボックスをクリックしてオンにします。

※ PDF ファイル入力時の解像度は、「環境設定」で設定できます。
(☞ 「[入力] タブの設定」 応用編 P.91)
ただし、設定した解像度で入力できる原稿サイズを超えた場合は、認識可能な解像度に変更され、読み込まれます。



.xdw/.xbd ファイルを入力するには

.xdw /.xbd 形式のファイルを入力画像として選択するには、お使いのパソコンに富士ゼロックス社 DocuWorks 6 が別途インストールされている必要があります。

PDF ファイルを入力するには

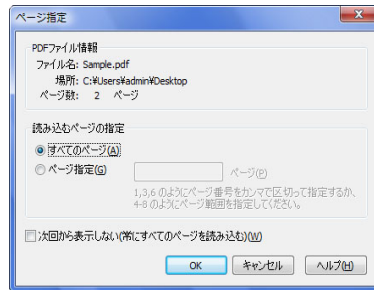
複数ページの PDF ファイルは、読み込むときに「ページ指定」ダイアログボックスで読み込むページを指定できます。
「ページ指定」ダイアログボックスを表示するには、「環境設定」の [入力] タブで [ファイルごとページを選択するダイアログを表示する] チェックボックスをクリックしてオンにしてください。
(☞ 「[入力] タブの設定」 応用編 P.91)

パスワード付き PDF ファイルを入力するには

ファイルを開くためのパスワードが設定されている PDF ファイルは、パスワードを入力するためのダイアログボックスが表示されます。パスワードを入力すると、「読取革命」に読み込むことができます。

- ① 「パスワードの入力」ダイアログボックスに PDF ファイルを開くためのパスワードを入力します。
- ② [OK] をクリックします。

■ ページ指定 ダイアログボックスの詳細



PDF ファイル情報

ファイル名、ファイルの保存場所、ファイルのページ数を表示します。

読み込むページの指定

[すべてのページ]: すべてのページを読み込みます。

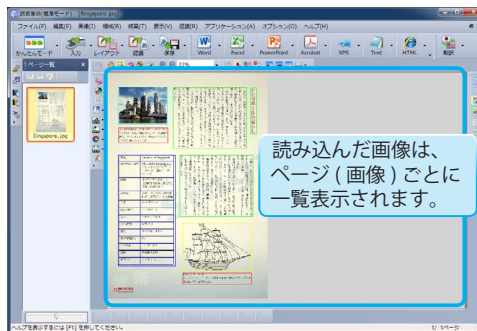
[ページ指定]: ページ番号をカンマで区切り、指定します。または、読み込むページの範囲をハイフン (-) で指定します。

[次回から表示しない (常にすべてのページを読み込む)]

チェックボックスをクリックしてオンにすると、複数ページの PDF ファイルを読み込むときに「ページ指定」ダイアログボックスは表示されません。この場合、すべてのページを読み込みます。

3 実行結果

※複数の画像ファイルを読み込んだ場合、画像ウィンドウには最後に読み込んだ画像が表示されます。

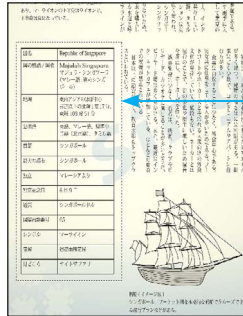


クリップボード画像の入力

「読取革命」の画像ウィンドウに表示された画像や、その他のアプリケーションで開いた画像上でコピーや切り取りした画像を取り込むことができます。

1 画像を切り取り(またはコピー)する

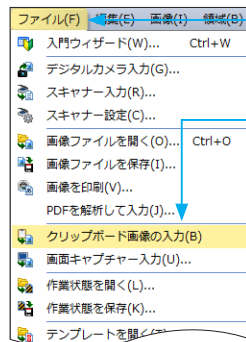
※画像の切り取り・コピーを行う場合
(☞「画像の切り取り・コピー・貼り付け」基本編 P.108)



編集する部分を [切り取り]、
または [コピー] する

※ほかのアプリケーションで開いている画像
から切り取り・コピーした画像でもクリップ
ボード入力が可能です。

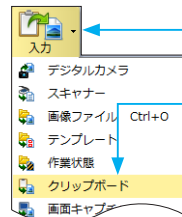
2 画像の入力を実行する



① [ファイル]
をクリック

② [クリップボード画像の入力]
をクリック

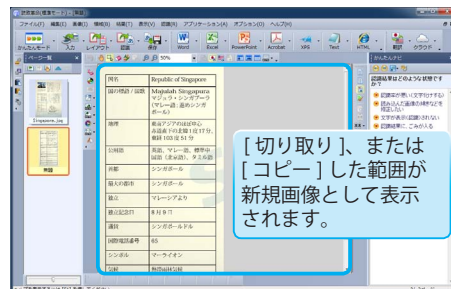
または、ツールバーの



① ▼をクリック

② [クリップボード]
をクリック

3 実行結果



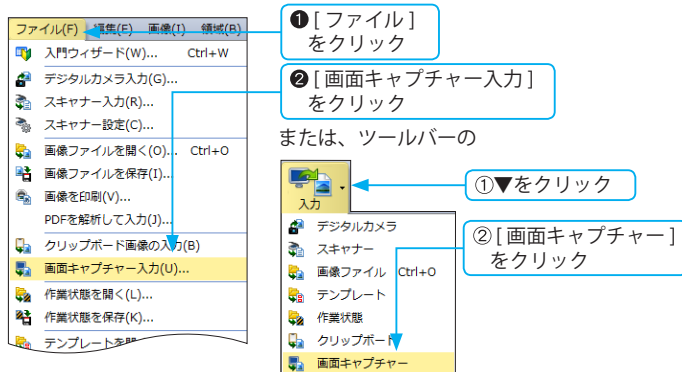
[切り取り]、または
[コピー]した範囲が
新規画像として表示
されます。

画面キャプチャー入力

ディスプレイに表示されている画像を範囲指定し、「読取革命」に取り込むことができます。

Web ページの取り込みを行う場合などに便利です。

1 [画面キャプチャー入力] を選択する

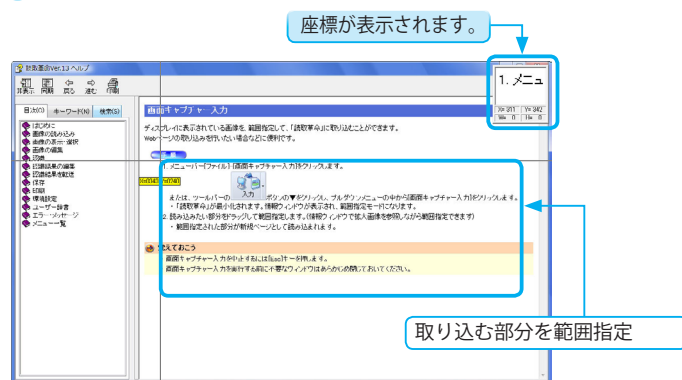


2 範囲指定する

※ [画面キャプチャー入力] を選択すると、「読取革命」のウィンドウは最小化されます。選択する前に不要なウィンドウは閉じてください。

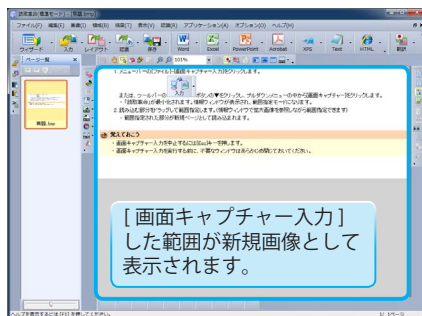
※ [画面キャプチャー入力] を中止するにはキーボードの [Esc] キーを押します。

※ Windows の [画面のプロパティ] の色数の設定によって、キャプチャーする画像のビット数が変わります。色数が 256 色に設定されている場合は 8 ビットへ、色数が 16 ビット、24 ビット、32 ビットに設定されている場合は 24 ビットの画像になります。



※ (☞ 「領域の範囲指定」基本編 P.82)

3 実行結果



PDF ファイルを解析して入力する

読み込むファイルがテキストデータを含む PDF ファイルの場合、テキストデータを解析して認識結果を表示できます。

対象となる PDF ファイル

- ・「読取革命」で作成された PDF ファイル
- ・PDF1.2～1.7 の仕様に準拠し、Adobe Acrobat で作成された PDF ファイル
- ※ PDF1.7 仕様のパッケージ形式には対応していません。

解析可能な PDF ファイルの制限事項

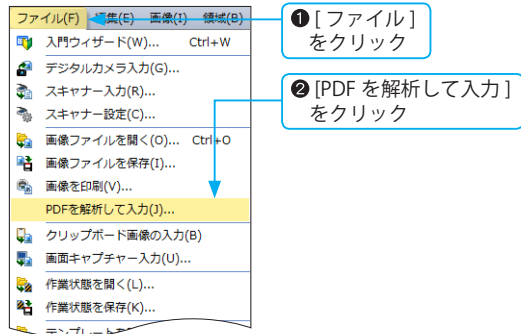
- ・PDF ファイルで使用している、[圧縮方式 / カラースペース / フォント / グラフィックス]の一部の設定には対応していないため、データを取得できない場合があります。
- ・PDF ファイルに文字データが存在しない場合は、画像として入力します。「読取革命」に入力後、文字認識を行ってください。
- ・Unicode、Windows で使用できない特殊記号などの文字は対応していません。
- ・日本語、英語以外の文字は対応していません。
- ・フォームデータは読み込みできません。

複数の PDF ファイルを選択する場合

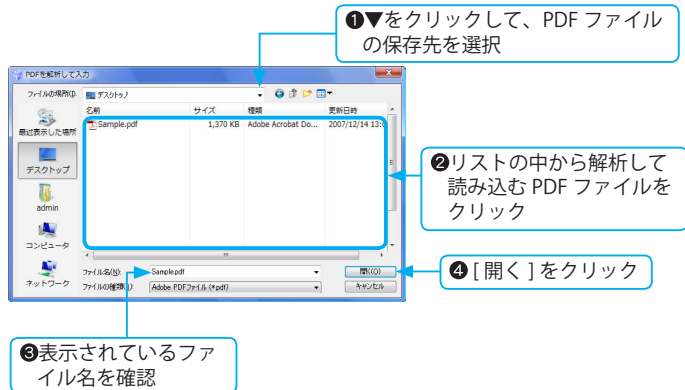
選択する PDF ファイルが連続して並んでいる場合、選択する範囲の先頭と末尾のファイルを [Shift] キーを押したままクリックすると、間に挟まれたファイルがすべて選択できます。

- ※ PDF ファイル入力時の解像度は、「環境設定」で設定できます。
(☞「[入力] タブの設定」応用編 P.92)
- ただし、最大原稿サイズを超えた場合は、認識可能な解像度に変更され、読み込まれます。

1 [PDF を解析して入力] を選択する



2 解析して読み込む PDF ファイルを選択する



複数ページの PDF ファイルを入力するには

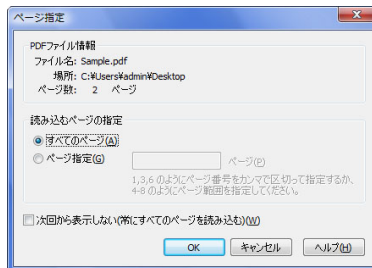
複数ページの PDF ファイルは、読み込むときに「ページ指定」ダイアログボックスで読み込むページを指定できます。
(☞「ページ指定 ダイアログボックスの詳細」基本編 P.75)
「ページ指定」ダイアログボックスを表示するには、「環境設定」の [入力] タブで [ファイルごと] にページを選択するダイアログを表示する] チェックボックスをクリックしてオンにしてください。(☞「[入力] タブの設定」応用編 P.92)

パスワード付き PDF ファイルを入力するには

ファイルを開くためのパスワードが設定されている PDF ファイルは、パスワードを入力するためのダイアログボックスが表示されます。パスワードを入力すると、「読取革命」に読み込むことができます。

- ① 「パスワードの入力」ダイアログボックスに PDF ファイルを開くためのパスワードを入力します。
- ② [OK] をクリックします。

■ ページ指定 ダイアログボックスの詳細



PDF ファイル情報

ファイル名、ファイルの保存場所、ファイルのページ数を表示します。

読み込むページの指定

[すべてのページ]: すべてのページを読み込みます。

[ページ指定]: ページ番号をカンマで区切り、指定します。または、読み込むページの範囲をハイフン (-) で指定します。

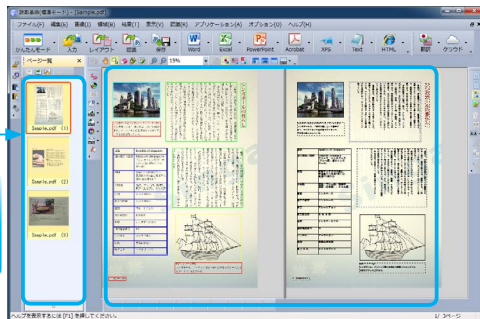
[次回から表示しない (常にすべてのページを読み込む)]

チェックボックスをクリックしてオンにすると、複数ページの PDF ファイルを読み込むときに「ページ指定」ダイアログボックスは表示されません。この場合、すべてのページを読み込みます。

3 実行結果

※複数ページの PDF ファイルを読み込んだ場合、画像ウィンドウには最後に読み込んだ画像が表示されます。

読み込んだ画像は、ページ (画像) ごとに一覧表示されます。



ページを表示・選択する

編集作業を行うページ(画像)を選択します。ページをクリック、またはメニューから選択できます。

複数ページを指定する場合

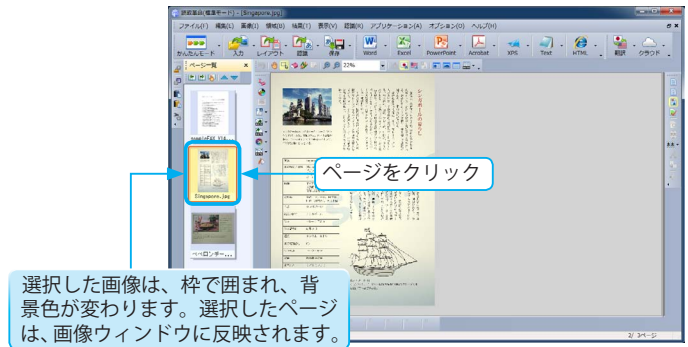
- ・離れたページを指定する
[Ctrl] キーを押したまま、ページを1つずつクリックして選択します。
- ・連続したページを指定する
選択するページが連続して並んでいる場合、選択する範囲の先頭と末尾のページを [Shift] キーを押したままクリックすると、間に挟まれたページがすべて選択できます。

※最後にクリックしたページが枠で囲まれます。

クリックで直接選択する

ページ一覧ウィンドウに表示されたページをクリックして直接選択します。

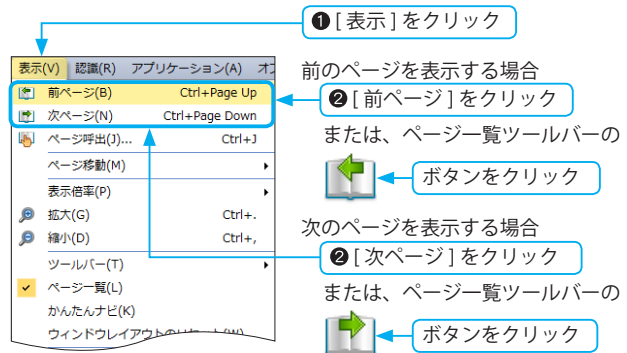
1 ページ一覧ウィンドウから選択する



前ページ・次ページで表示する

現在のページより1つ前のページ、または1つあとのページを選択します。

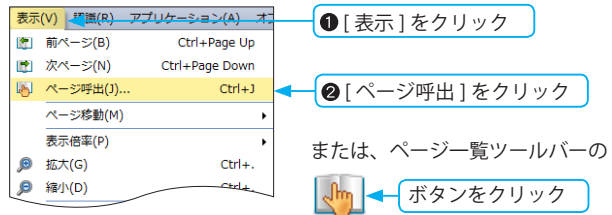
1 [前ページ]または[次ページ]を選択する



ページ呼出で表示する

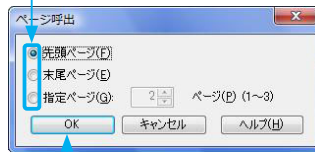
ページ番号を指定してページ(画像)を選択します。

1 [ページ呼出]を選択する



2 ページを指定する

① いずれかをクリック
してオン



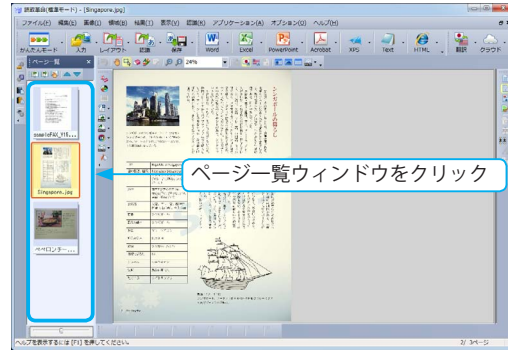
※ [指定ページ] を選択した場合は、表示するページ番号を半角数字で入力、または▲▼をクリックしてページ番号を変更してください。

※ [指定ページ] に末尾ページを超えた数字を入力すると末尾ページを表示します。

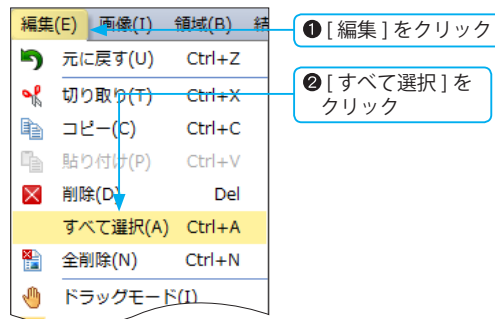
すべてのページを選択する

ページ一覧ウィンドウに表示されているすべてのページ(画像)を一度に選択します。

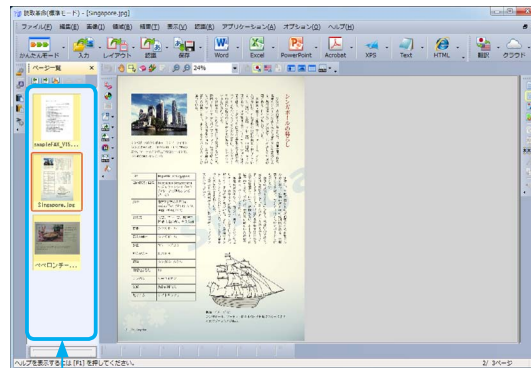
1 ページ一覧ウィンドウを選択する



2 メニューを選択する



3 実行結果



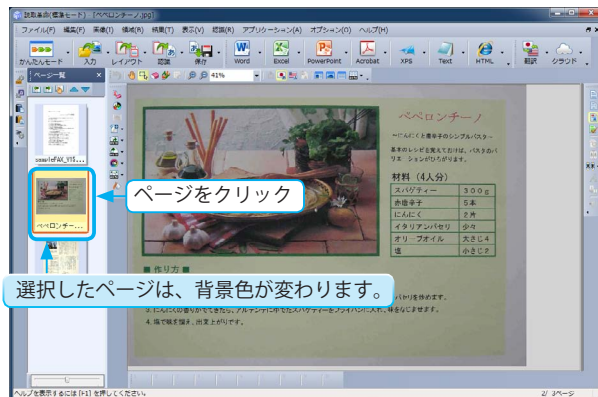
ページを移動する

ページ一覧ウィンドウに表示されたページ(画像)は、表示順序を入れ替えることができます。

1 移動するページを選択する

複数ページを指定する場合

- 離れたページを指定する
[Ctrl] キーを押したまま、ページを1つずつクリックして選択します。
- 連続したページを指定する
選択するページが連続して並んでいる場合、選択する範囲の先頭と末尾のページを [Shift] キーを押したままクリックすると、間に挟まれたページがすべて選択できます。

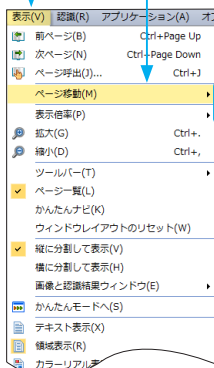


前へ・次へで移動する

選択したページの表示順序が1つずつ移動します。

2 [前へ]または[次へ]を選択する

① [表示] をクリック



② [ページ移動] を選択

前のページへ移動する場合

③ [前へ] をクリック

または、ページ一覧ツールバーの

▲ ボタンをクリック

次のページへ移動する場合

④ [次へ] をクリック

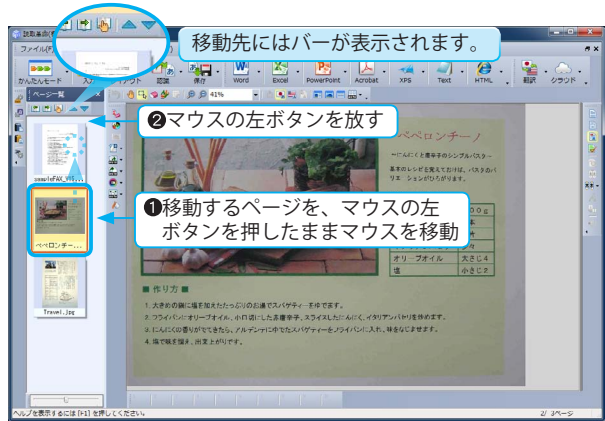
または、ページ一覧ツールバーの

▼ ボタンをクリック

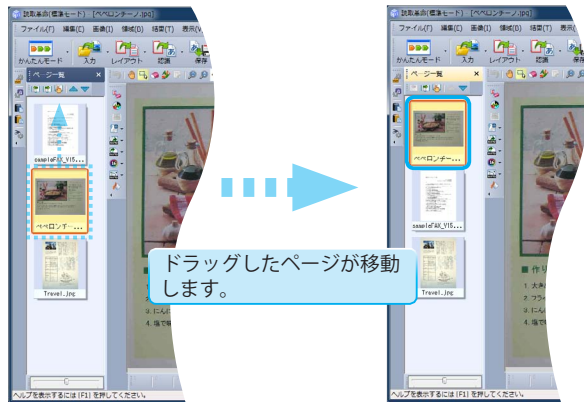
ドラッグで移動する

ドラッグでページを移動します。

2 ページを移動する



3 実行結果



画像の表示倍率を変更する

画像ウィンドウに表示されている画像の表示倍率を変更します。

画像のかすれやつぶれの確認、小さい領域枠の編集や各種設定を手動で行う場合に、作業のしやすい表示倍率を選択できます。表示倍率は、画像全体を対象に変更されます。

変更方法には、倍率を指定する方法と一定倍率で拡大・縮小する方法の2とおりがあります。

指定倍率に変更する

1 倍率を選択する

① [表示] をクリック

② [表示倍率] を選択

③ いずれかの倍率を選択

または、標準ツールバーの

① ▼ をクリック

② いずれかの倍率を選択

または

2 ~ 400 の数値を半角で入力し [Enter] キーを押す (% は入力不要)

一定倍率で拡大・縮小する

1 [拡大] または [縮小] を選択する

① [表示] をクリック

拡大して表示する場合

② [拡大] をクリック

または、標準ツールバーの

ボタンをクリック

縮小して表示する場合

② [縮小] をクリック

または、標準ツールバーの

ボタンをクリック

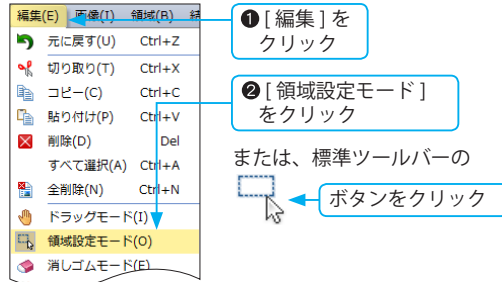
※ [拡大・縮小] の表示倍率増減幅は、「環境設定」で変更できます。
(☞ 「[表示] タブの設定」応用編 P.86)

領域の範囲指定

範囲指定をして、画像の部分的な修正(消去・色の反転・トリミング・ノイズ除去・長方形化・カラードロップアウト)を行うことができます。なお、回転・傾き補正・上下反転・左右反転・傾斜・リサイズ・シャープネス・エッジ強調・減色・明るさ・コントラスト・ガンマ補正・カラーフィルターは、画像全体に対して実行されますので、範囲指定は必要ありません。

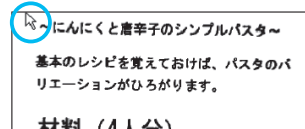
領域設定モード

1 領域設定モードにする

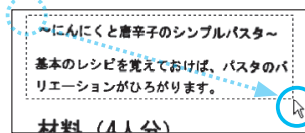


2 範囲指定する

※画像全体を選択する場合は、画像ウィンドウをクリックして、[編集]メニューの[すべて選択]を実行してください。



① 画像ウィンドウで、範囲指定する部分の角にマウスポインターを合わせ、マウスの左ボタンを押す



② 左ボタンを押したままマウスを移動させ、範囲指定する部分を枠で囲む

③ マウスの左ボタンを放す

領域枠の設定

複雑なレイアウトの原稿は、手動で領域枠の設定を行うことができます。また、誤った認識をした領域枠の属性を変更して、認識実行前に正しい属性に手動で設定します。

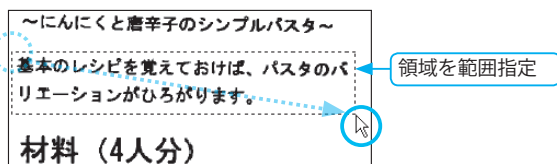
※領域枠とは、画像を文字認識するための属性(文字・表・画像・図形)や、範囲を表す枠のことです。

領域設定モード

領域枠の作成

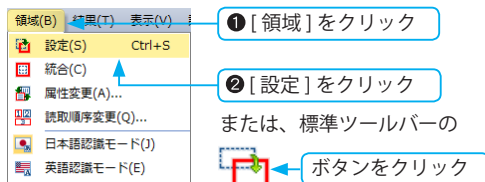
認識させる範囲を、範囲指定する要領で作成します。

1 範囲指定する



※ (☞ 「領域の範囲指定」基本編 P.82)

2 領域枠として確定する



または、標準ツールバーの

または、範囲指定をして、画像ウィンドウ上の領域外をクリックします。

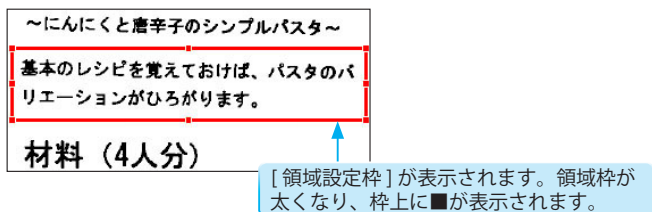
※ここで設定した領域枠の属性は「属性変更」ダイアログボックスで設定された規定値(領域設定や領域統合を行ったときに用いられる属性)が反映されます。

[領域属性]で[自動判定]が選択されている場合は、属性は自動で判定されます。

※領域枠の属性を変更する
(☞ 「領域枠の属性変更」基本編 P.87)

※領域枠を削除する
(☞ 「領域枠の削除」基本編 P.86)

3 実行結果



複数の領域枠を選択する場合

[Shift] キーを押したまま選択する領域枠をクリックします。

または、選択する複数の領域枠を範囲指定します。

すべての領域枠を一度に選択する場合

画像ウィンドウをクリックして、[編集]メニューの[すべて選択]を実行します。

選択を解除する場合

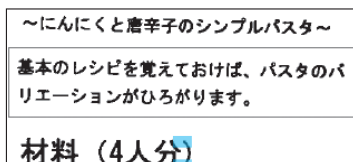
画像ウィンドウ上の領域枠外をクリックします。複数の領域枠を選択していて、1つだけ解除する場合は、[Shift] キーを押したまま解除する領域枠の内側をクリックします。

領域枠の選択

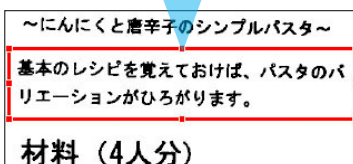
領域枠を確定したあとの領域枠の属性・サイズ変更や、領域枠を限定した文字認識をさせるには、領域枠を選択しておく必要があります。選択方法には、クリックによる選択と範囲指定による選択の2とおりがあります。

クリックによる選択

1 クリックで選択する



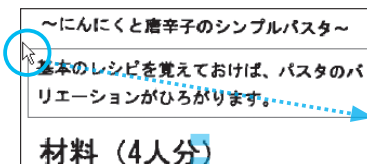
領域枠内をクリック



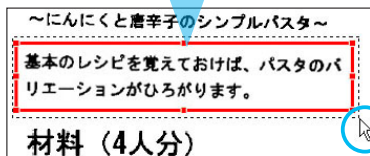
選択されると、領域枠が大きくなり、枠上に■が表示されます。

範囲指定による選択

1 範囲指定で選択する



①マウスの左ボタンを押したまま領域枠を枠で囲む



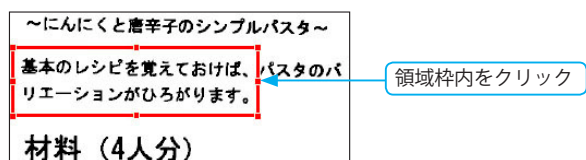
②マウスの左ボタンを放す

選択されると、領域枠が大きくなり、枠上に■が表示されます。

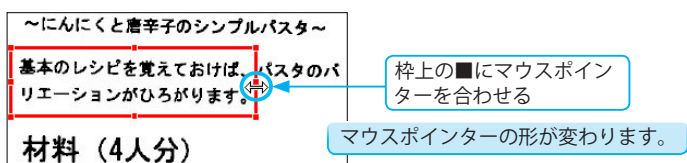
領域枠のサイズ変更

指定した領域枠のサイズを変更します。

1 領域枠を選択する

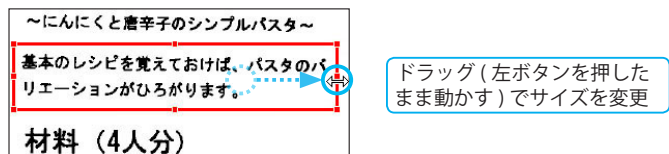


2 サイズ変更の方向を決める



※縦のサイズを変える場合は「上」、または「下」の■に、
横のサイズを変える場合は「左」、または「右」の■に、
縦横を同時に変える場合は、四隅のいずれかの■に合わせてください。

3 サイズを変える



※領域枠のサイズ変更は、1領域枠ごとに行ってください。複数の領域枠を選択しても、同時に変更は行えません。

※サイズ変更した領域枠の認識結果は削除されます。再度、文字認識を実行してください。

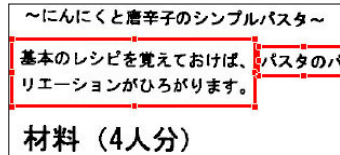
※領域枠を移動させるには、領域枠の■以外の場所にマウスポインターを合わせ、ドラッグします。

※操作を取り消すには
(☞「元に戻す」基本編 P.119)

領域枠の統合

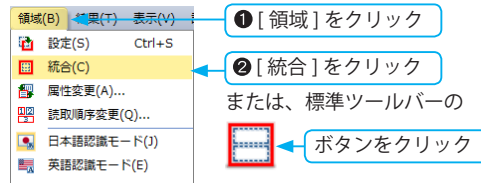
複数の領域枠を1つにまとめます。

1 2つ以上の領域枠を選択する



[Shift] キーを押したまま各領域枠をクリック
または、領域枠を範囲選択し複数選択

2 統合する



① [領域] をクリック

② [統合] をクリック

または、標準ツールバーの

ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」応用編 P.37 を参照してください。

※統合された領域枠の属性は、選択した領域枠の中でもっとも読取順序が早い値の領域属性を継承します。統合後の属性は変更できます。

(☞「領域枠の属性変更」基本編 P.87)

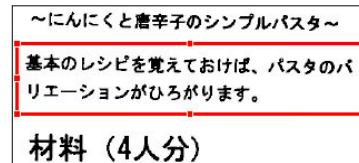
※統合された領域枠の認識結果は削除されます。

再度、文字認識を実行してください。

※操作を取り消すには

(☞「元に戻す」基本編 P.119)

3 実行結果

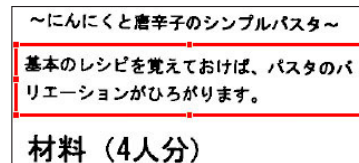


2つの領域枠が1つの領域枠に統合されます。

領域枠の削除

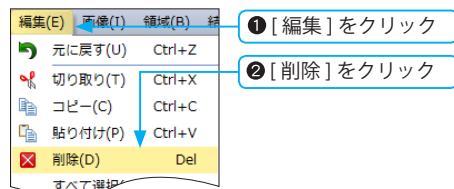
指定した領域枠を削除します。

1 領域枠を選択する



領域枠内をクリック

2 削除する



① [編集] をクリック

② [削除] をクリック

※削除された領域枠の認識結果は、削除されます。

※操作を取り消すには

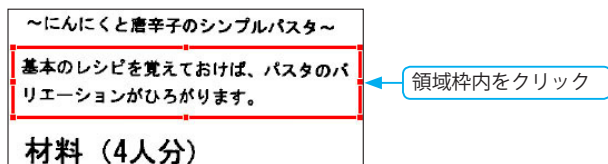
(☞「元に戻す」基本編 P.119)

領域枠の属性変更

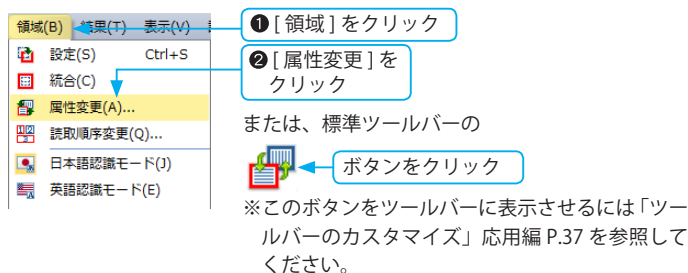
領域枠の属性、および規定値を変更します。

規定値を変更する場合は、領域枠を選択せずに手順2以降の操作を行うか、領域枠外にマウスポインターを合わせてダブルクリックし、手順3の操作を行ってください。

1 領域枠を選択する



2 [属性変更] を選択する



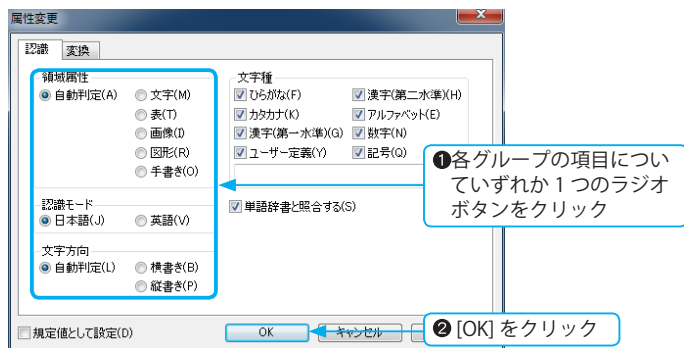
3 設定を変更する

■ [規定値として設定]

チェックボックスをクリックしてオンにすると、設定内容が規定値として保存されます。

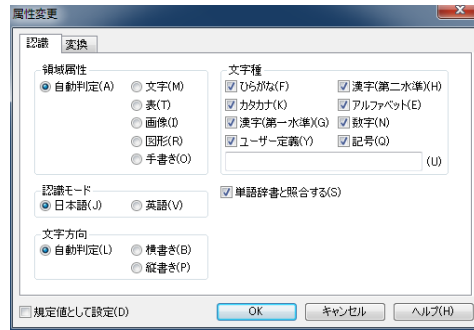
■ [単語辞書と照合する]

チェックボックスをクリックしてオンにすると、単語辞書を参照しながら文字認識が行われます。頻繁に出てくる単語を単語辞書に登録しておくことで認識率が向上します。



※ [領域属性]-[自動判定] を選択すると、範囲指定した領域の属性が自動判定されます。

■ [認識] タブの詳細



※文字認識の対象は[文字]、[表]、[手書き]領域です。

※[自動判定]では、手書き文字を[手書き]の属性として認識できません。

※[手書き]では、認識可能な文字種は、アルファベット・数字・記号です。

英文書の場合

認識モードを[英語]にしてください。
[英語]を選択すると、英文書専用の文字認識が行われるため、[日本語]の場合よりも認識率が向上します。
認識モードを[英語]にした場合、[文字種]、[文字方向]は指定できません。

日英混合文書の場合

認識モードを[日本語]にしてください。

領域属性

各ラジオボタンを選択して、領域枠内の認識対象の属性を設定します。

[自動判定]: レイアウト認識で得られた領域属性を採用し、文字認識を行います。規定値は[自動判定]になっています。既存の領域枠の属性は、[自動判定]に変更できません。

[文字]: 文字領域として、認識を行います。

[表]: 表領域として、認識を行います。

[画像]: 画像領域として、認識を行います。

[図形]: 直線や点、円などで構成されている領域として、認識を行います。

[手書き]: 1行の手書き文字範囲を選択して、文字認識を行います。読み込んだ画像に手書き文字が含まれている場合に使用します。

認識モード

各ラジオボタンを選択して、認識するモードを設定します。

[日本語]: 日本語領域として、文字認識を行います。

[英語]: 英語領域として、文字認識を行います。

文字種

各チェックボックスを選択して、認識する文字の種類を限定します。

[ひらがな]: ひらがなの領域として、文字認識を行います。

[カタカナ]: カタカナの領域として、文字認識を行います。

[漢字(第一水準)]: 漢字の領域として、文字認識を行います。

[漢字(第二水準)]: 漢字の領域として、文字認識を行います。

[アルファベット]: アルファベットの領域として、文字認識を行います。

[数字]: 数字の領域として、文字認識を行います。

[記号]: 記号の領域として、文字認識を行います。

[ユーザー定義]: 任意の全角文字を定義して、文字認識を行います。

文字方向

各ラジオボタンを選択して、認識する文字方向(横書き/縦書き)を指定します。

[自動判定]: レイアウト認識で得られた領域枠内の文字方向を採用し、文字認識を行います。

[横書き]: 横書きの文書として、文字認識を行います。

[縦書き]: 縦書きの文書として、文字認識を行います。

読取順序

選択した領域の読取順序を変更します。

▲▼をクリックして変更するか、数字を入力して読取順序を変更します。

※全領域の読取順序を変更するには
(☞「読取順序の変更」応用編 P.31)

改行の例

原文

今日は良い
天気だ。
散歩にでも
行こう。

[行毎]

今日は良い
天気だ。
散歩にでも
行こう。

[なし]

今日は良い天気だ。散歩にでも行こう。

[自動判定]

今日は良い天気だ。
散歩にでも行こう。

※認識結果ウィンドウの幅が狭いと、設定と異なるところで改行されて見える場合があります。幅の調整をしてください。

空白(先頭)の例

原文 _今日は良い天気だ。

[あり]_今日は良い天気だ。

[なし]今日は良い天気だ。

空白(文字間)の例

原文 A_B_C

[あり]A_B_C

[なし]ABC

原稿どおりにする場合の設定例

[改行]→行毎

[空白(先頭・文字間)]→なし

[アルファベット・数字・記号・カタカナ]
→自動判定

文書サイズを小さくする場合の設定例

[改行]→なし

[空白(先頭・文字間)]→なし

[アルファベット・数字・記号・カタカナ]
→半角

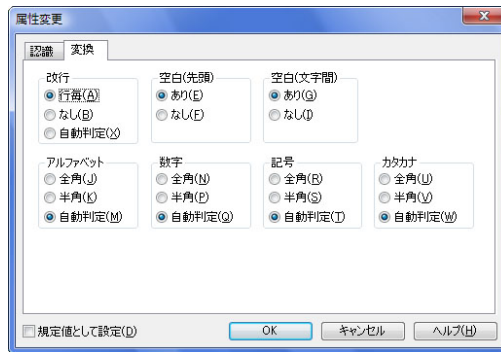
英文書の設定例

[改行]→自動判定

[空白(先頭・文字間)]→なし

[アルファベット・数字・記号・カタカナ]
→自動判定

■ [変換] タブの詳細



改行

改行の設定を行います。

[行毎]: 行ごとに改行します。

[なし]: 改行しません。

[自動判定]: 行ごとに改行の必要性を自動判定します。

空白(先頭)

行頭に空白を挿入する設定を行います。

[あり]: 行頭に空白を挿入します。

[なし]: 行頭に空白を挿入しません。

空白(文字間)

文字間に空白を挿入する設定を行います。

[あり]: 文字間に空白を挿入します。

[なし]: 文字間に空白を挿入しません。

アルファベット

アルファベットの表示を全角/半角に設定します。

[全角]: アルファベットをすべて全角にします。

[半角]: アルファベットをすべて半角にします。

[自動判定]: 画像での大きさを見て、全角か半角かを自動判定します。

数字

数字の表示を全角/半角に設定します。

[全角]: 数字をすべて全角にします。

[半角]: 数字をすべて半角にします。

[自動判定]: 画像での大きさを見て、全角か半角かを自動判定します。

記号

記号の表示を全角/半角に設定します。

[全角]: 記号をすべて全角にします。

[半角]: 記号をすべて半角にします。

[自動判定]: 画像での大きさを見て、全角か半角かを自動判定します。

カタカナ

カタカナの表示を全角/半角に設定します。

[全角]: カタカナをすべて全角にします。

[半角]: カタカナをすべて半角にします。

[自動判定]: 画像での大きさを見て、全角か半角かを自動判定します。

ノイズ除去

白黒画像 (2 値画像) の範囲指定された部分からノイズ (黒点状の汚れ) を除去します。ノイズは、認識率を低下させる大きな原因となります。ノイズ除去を行ってから文字認識を実行されることをお勧めします。

1 ノイズ除去する部分を範囲指定する

領域設定モード

■ 作り方 ■

1. 大きめの鍋に塩を加えたたつぷりの

ノイズ除去を行う部分を範囲指定

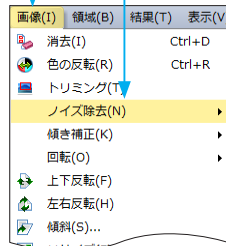
※ (☞「領域の範囲指定」基本編 P.82)

2 メニューを選択する

※ ツールバーのボタンには、前回選択した機能を示すアイコンが前面に表示されます。同じ操作を行う場合は、ボタン部分をクリックするだけで前回と同じ操作を実行できます。

① [画像] をクリック

② [ノイズ除去] を選択



③ いずれかを選択

小さいノイズ(S)
中位のノイズ(M)
大きいノイズ(B)

または、画像編集ツールバーの

① ▼ をクリック

小さいノイズ
中位のノイズ
大きいノイズ

② いずれかを選択

※ 除去される必要がない部分まで除去されてしまった場合は、すぐに [元に戻す] を実行し、選択するノイズのサイズを変更して再度ノイズ除去を実行してください。

3 実行結果

■ 作り方 ■

1. 大きめの鍋に塩を加えたたつぷりの

範囲指定した領域内のノイズが除去されます。

※ 操作を取り消すには
(☞「元に戻す」基本編 P.119)

※ 範囲指定を行わずに実行した場合は、画像全体に対して実行されます。

傾き補正

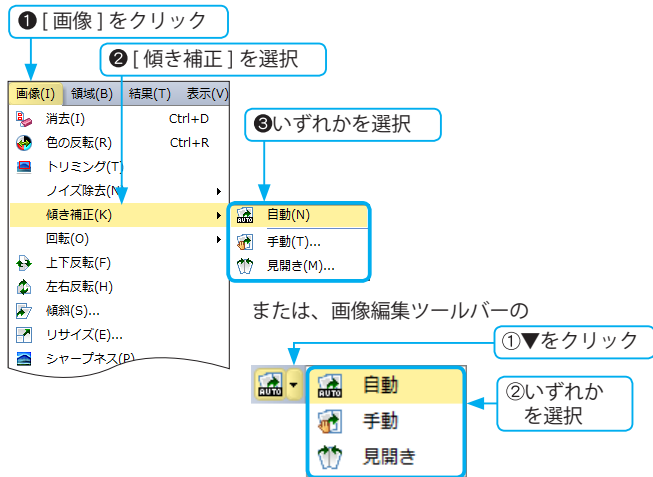
画像ウィンドウに表示された画像に対して、自動的に傾斜角度を検出し傾きを補正します。また、傾き補正は手動でも行えます。

画像が見開きページの場合は、左右のページごとに自動・手動で傾きを補正できます。

1 メニューを選択する

※ 45 度以上傾いている画像は、傾き補正できません。画像を [回転] させたあとで、傾き補正を実行してください。
(☞ 「回転」基本編 P.95)

※ ツールバーのボタンには、前回選択した機能を示すアイコンが前面に表示されます。同じ操作を行う場合は、ボタン部分をクリックするだけで前回と同じ操作を実行できます。



自動傾き補正

2 実行結果

※ 操作を取り消すには
(☞ 「元に戻す」基本編 P.119)

材料 (4人分)	
スパゲティ	300g
赤唐辛子	5本
にんにく	2片
イタリアンパセリ	少々
オリーブオイル	大さじ4
塩	小さじ2

材料 (4人分)	
スパゲティ	300g
赤唐辛子	5本
にんにく	2片
イタリアンパセリ	少々
オリーブオイル	大さじ4
塩	小さじ2

傾きが自動で補正されます。

手動傾き補正

傾き角度調整スライダーを動かして、画像の傾きを補正します。

2 傾き角度を調整する

■ [表示倍率]

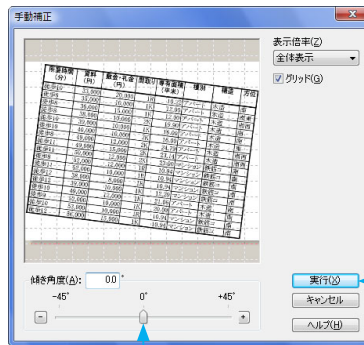
画像の拡大表示、または縮小表示ができます。

■ [グリッド]

[グリッド] チェックボックスをクリックしてオンにすると、グリッド線に画像を合わせて水平な位置を確認できます。

■ [傾き角度]

[傾き角度] のスライダーを左右に動かし、傾きを補正できます。または、[-]/[+] をクリック、[傾き角度] テキストボックスに直接入力できます。(-45.0 ~ +45.0 度までの数値)



1 傾き角度調整スライダーを動かす

3 実行結果

※操作を取り消すには

(☞ 「元に戻す」基本編 P.119)

所要時間 (分)	資料 (円)	料金・料金 (円)	開取リ (円)	専有面積 (平米)	種別	構造	方向
建事10	33,000	20,000	10	18.22	アパート	木造	南
建事8	35,000	10,000	10	12.00	アパート	木造	南東
建事6	38,000	15,000	10	12.00	アパート	木造	南西
建事4	39,000	10,000	10	18.90	アパート	木造	南
建事10	40,000	18,000	10	16.00	アパート	木造	南
建事8	42,000	10,000	20	16.00	アパート	木造	南
建事11	49,000	12,000	20	23.70	アパート	木造	南
建事11	50,000	18,000	20	23.14	アパート	木造	南西
建事9	52,000	12,000	20	22.00	マンション	鉄筋コン	南
建事11	55,000	10,000	10	10.94	マンション	鉄筋コン	南
建事12	58,000	8,000	10	10.94	マンション	鉄筋コン	南
建事10	59,000	10,000	10	10.94	マンション	鉄筋コン	南
建事9	62,000	12,000	10	12.29	マンション	鉄筋コン	南
建事10	63,000	10,000	10	21.08	アパート	木造	南
建事10	55,000	10,000	10	20.00	アパート	木造	南
建事10	56,000	13,000	10	10.94	マンション	鉄筋コン	南

所要時間 (分)	資料 (円)	料金・料金 (円)	開取リ (円)	専有面積 (平米)	種別	構造	方向
建事10	33,000	20,000	10	18.22	アパート	木造	南
建事8	35,000	10,000	10	12.00	アパート	木造	南東
建事6	38,000	15,000	10	12.00	アパート	木造	南西
建事4	39,000	10,000	10	18.90	アパート	木造	南
建事10	40,000	18,000	10	16.00	アパート	木造	南
建事8	42,000	10,000	20	16.00	アパート	木造	南
建事11	49,000	12,000	20	23.70	アパート	木造	南
建事11	49,000	18,000	20	23.14	アパート	木造	南西
建事9	52,000	12,000	20	22.00	マンション	鉄筋コン	南
建事11	52,000	10,000	10	10.94	マンション	鉄筋コン	南
建事12	58,000	8,000	10	10.94	マンション	鉄筋コン	南
建事10	59,000	10,000	10	10.94	マンション	鉄筋コン	南
建事9	62,000	12,000	10	12.29	マンション	鉄筋コン	南
建事10	63,000	10,000	10	21.08	アパート	木造	南
建事10	55,000	10,000	10	20.00	アパート	木造	南
建事10	56,000	13,000	10	10.94	マンション	鉄筋コン	南

設定した角度に補正されます。

見開き補正

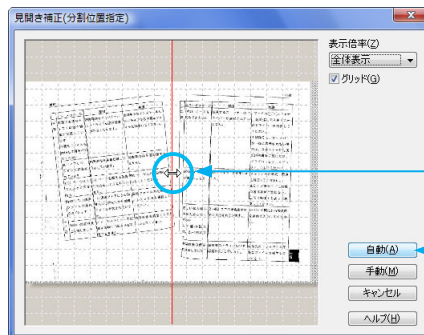
ページの境目を指定し、画像を見開きの形で傾き補正します。[自動]と[手動]の2とおりが用意されています。

自動補正

ページの境目を指定し、[自動]をクリックすると、左右ページの傾き補正が同時に行われます。

2 [自動]を選択する

※操作を取り消すには
(☞「元に戻す」基本編 P.119)



マウスポインターをバーに合わせて、マウスポインターの形状が“⇄”になります。

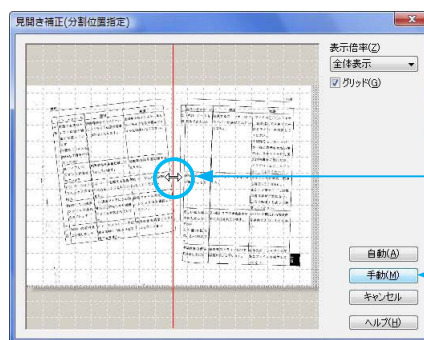
①左右のページの境目を指定

② [自動] をクリック

手動補正

ページの境目を指定し、[手動] ボタンをクリックすると、「見開き補正 (手動)」ダイアログボックスが表示されます。左右のページの傾き角度を手動で設定できます。

2 [手動]を選択する



マウスポインターをバーに合わせて、マウスポインターの形状が“⇄”になります。

①左右のページの境目を指定

② [手動] をクリック

3 傾き角度を調整する

■ [表示倍率]

画像の拡大表示、または縮小表示ができます。

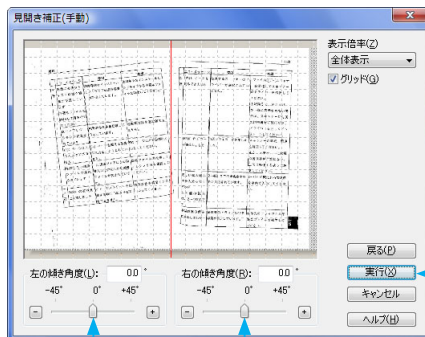
■ [グリッド]

[グリッド] チェックボックスをクリックしてオンにすると、グリッド線に画像を合わせて水平な位置を確認できます。

■ [傾き角度]

[傾き角度] のスライダーを左右に動かし、傾きを補正できます。

または、[-]/[+] をクリック、[傾き角度] テキストボックスに直接入力できます。
(-45.0 ~ +45.0 度までの数値)



① 傾き角度調整スライダーを動かす

4 実行結果

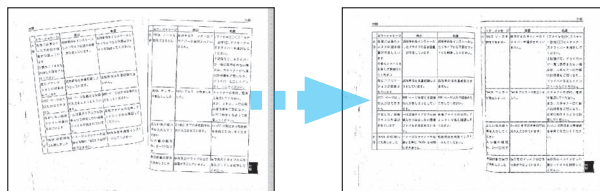
傾き補正機能だけでは正確な方向に
修正できない場合

① 横書き文書を縦方向に読み込んだ画像

② 縦書き文書を横方向に読み込んだ画像

上記の条件の画像は、補正実行後、[回転] を行ってください。

(☞ 「回転」基本編 P.95)



左右のページがそれぞれ
補正されます。

※操作を取り消すには

(☞ 「元に戻す」基本編 P.119)

回転

画像ウィンドウに表示された画像の向きを変更します。

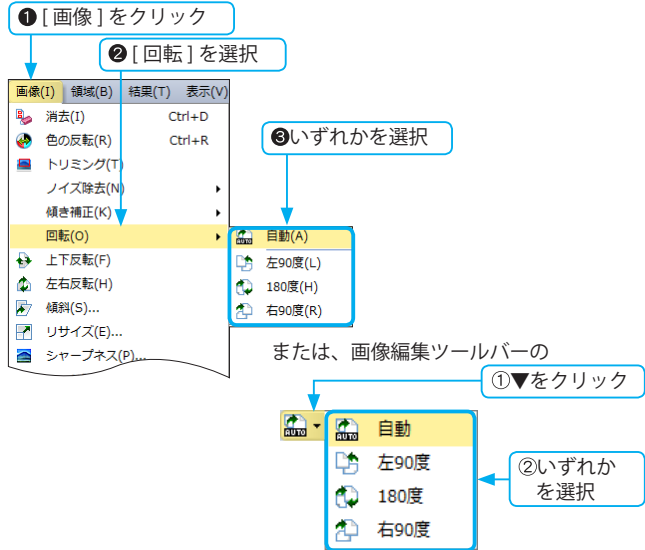
認識は画面に表示されている文字方向に対して行いますので、画像ウィンドウに表示された画像の向きが正しく表示されていない場合は文字認識できません。画像の向きが正常となるように回転させてください。

1 回転角度を選択する

※ツールバーのボタンには、前回選択した機能を示すアイコンが前面に表示されます。同じ操作を行う場合は、ボタン部分をクリックするだけで前回と同じ操作を実行できます。

※画像の回転は、画像全体に対して行われます。部分的な回転はできません。

※操作を取り消すには
(☞「元に戻す」基本編 P.119)



認識結果と文字画像の連動

認識結果の文字を選択すると、選択した文字に対応する文字画像が反転して表示されます。また、文字画像を選択すると、選択した文字画像に対応する認識結果の文字が反転して表示されます。選択した箇所が互いに文字画像と認識結果のどの部分に該当するかを知るのに便利です。

認識結果から文字画像を表示する

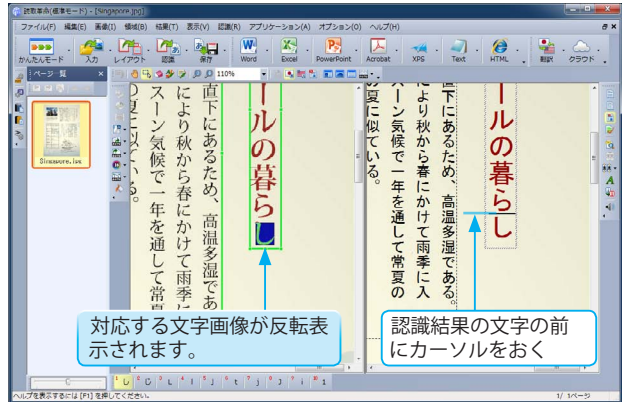
1 認識結果から文字を指定する

画像が見えにくい場合

画像ウィンドウの表示倍率を変更して見やすくできます。

(☞ 「画像の表示倍率を変更する」基本編 P.81)

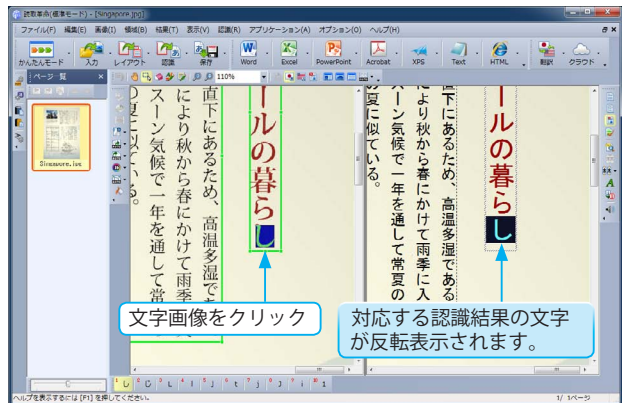
(☞ 「[表示] タブの設定」応用編 P.86)



文字画像から認識結果を表示する

領域設定モード

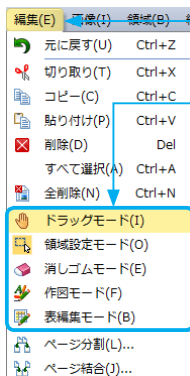
1 文字画像を指定する



操作モードの切り替え

画像ウィンドウには、5つの操作モードがあります。使用する機能に応じて、操作モードを切り替えてください。

1 操作モードを選択する



① [編集] をクリック

画像の表示位置を変更する場合

② [ドラッグモード] をクリック

または、標準ツールバーの

ボタンをクリック

領域設定を行う場合

② [領域設定モード] をクリック

または、標準ツールバーの

ボタンをクリック

消しゴムをかける場合

② [消しゴムモード] をクリック

または、標準ツールバーの

ボタンをクリック

作図を行う場合

② [作図モード] をクリック

または、標準ツールバーの

ボタンをクリック

表領域の編集を行う場合

② [表編集モード] をクリック

または、標準ツールバーの

ボタンをクリック

ドラッグモード

ドラッグモードでは、画像を上下左右にスクロールさせることができます。

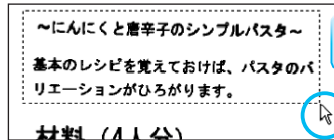


画像ウィンドウ上のマウスポインターの形状は、「手」になります。

※ドラッグモードの詳細については「画像の表示位置を変える」基本編 P.99 を参照してください。

領域設定モード

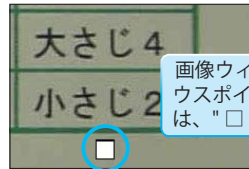
画像の編集操作や、レイアウト枠を選択する場合は領域設定モードで行います。



画像ウィンドウ上のマウスポインターの形状は、"矢印"になります。

消しゴムモード

画像内の黒点や汚れを、実際に消しゴムを使うようにして消去できます。



画像ウィンドウ上のマウスポインターの形状は、"□"になります。

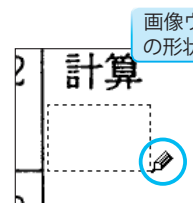


消しゴムモードを選択すると、消しゴムの大きさを選べるツールボックスが表示されます。

※消しゴムモードの詳細については「消しゴム」応用編 P.46 を参照してください。

作図モード

画像領域内に作図を行う場合に選択します。



画像ウィンドウ上のマウスポインターの形状は、"鉛筆"になります。

作図モードを選択すると、描画の種類を選択するツールボックスが表示されます。



※作図モードの詳細については「作図」応用編 P.67 を参照してください。

表編集モード

表領域の詳細設定を行う場合に選択します。罫線の追加や消去、セルごとの属性変更が行えます。画像ウィンドウ内に表属性の領域枠がある場合に選択できます。



画像ウィンドウ上のマウスポインターの形状は、"鉛筆"や"ハサミ"になります。



表編集モードを選択すると、罫線の追加や削除・属性変更が行えるツールボックスが表示されます。

※表編集モードの詳細については「表を編集する」応用編 P.13 を参照してください。

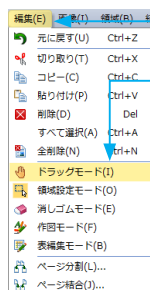
画像の表示位置を変える

ドラッグモードを選択し、マウスポインターが手の形になっているとき、マウスの左ボタンを押したまま上下左右にスクロールすることで画像の移動が行えます。

※画像全体が表示されているときは、スクロールできません。

ドラッグモード

1 メニューを選択する



① [編集] をクリック

② [ドラッグモード] をクリック

または、標準ツールバーの



ボタンをクリック

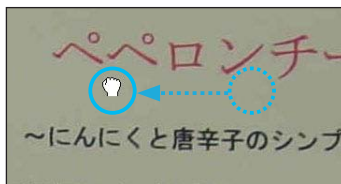
2 画像を動かす



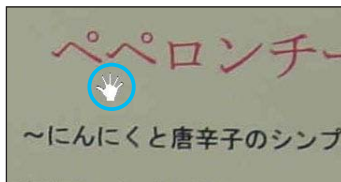
画像ウィンドウ上のマウスポインターの形状は、「手」になります。



① マウスの左ボタンを押す



② 左ボタンを押したまま (ゲーマのまま) 画像を移動する方向へマウスを動かす



③ マウスの左ボタンを放す

レイアウト認識を行う

入力された画像に対して、文字・表・画像・図形の属性を判定し、領域枠を設定します。領域枠の設定は、自動・手動いずれも可能です。

※レイアウト認識を行うときの領域属性の設定については、「領域枠の属性変更」基本編 P.87 を参照してください。

複数ページを指定する場合

- ・離れたページを指定する
[Ctrl] キーを押したまま、ページを1つずつクリックして選択します。
- ・連続したページを指定する
選択するページが連続して並んでいる場合、選択する範囲の先頭と末尾のページを [Shift] キーを押したままクリックすると、間に挟まれたページがすべて選択できます。

※ツールバーのボタンには、前回選択した機能を示すアイコンが前面に表示されます。同じ操作を行う場合は、ボタン部分をクリックするだけで前回と同じ操作を実行できます。

※文字領域とほかの領域が重なっていると、正しくレイアウト認識できない場合があります。文字領域とほかの領域が重なっている場合は、手動で領域枠を設定して認識してください。

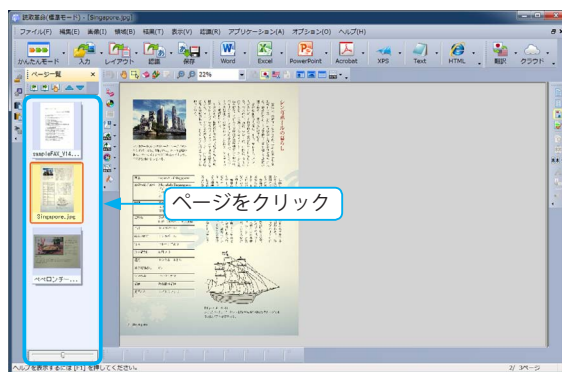
※領域枠の色と属性の対応は、「環境設定」で確認・変更できます。
(☞「[一般] タブの設定」応用編 P.85)

※読取順序の表示 / 非表示は、「環境設定」で設定できます。
(☞「[一般] タブの設定」応用編 P.85)

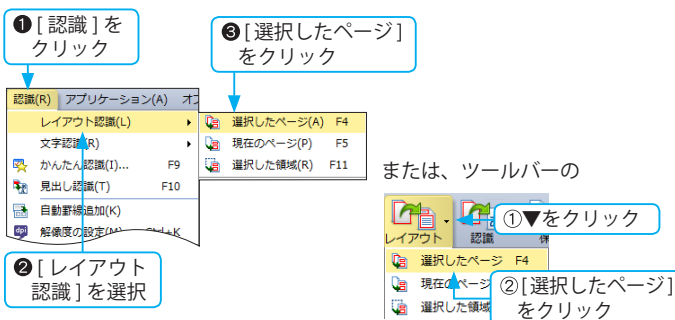
選択したページ

ページ一覧ウィンドウで選択されているページ(画像)に対して、レイアウト認識が実行されます。

1 ページを選択する



2 [選択したページ] を選択する



3 実行結果

ページ一覧ウィンドウで選択されたページがレイアウト認識されます。レイアウト認識後は領域枠が表示され、領域枠は文字や画像・図形・表などの属性ごとに色分けされ、それぞれに読取順序が設定されます。

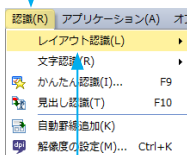
※読取順序は [領域]-[読取順序変更] で変更できます。
(☞「読取順序の変更」応用編 P.31)

現在のページ

画像ウィンドウに表示されているページ(画像)に対して、レイアウト認識が実行されます。

1 [現在のページ] を選択する

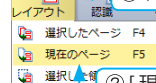
① [認識] をクリック



③ [現在のページ] をクリック

または、ツールバーの

① ▼ をクリック



② [現在のページ] をクリック

※ツールバーのボタンには、前回選択した機能を示すアイコンが前面に表示されます。同じ操作を行う場合は、ボタン部分をクリックするだけで前回と同じ操作を実行できます。

※文字領域とほかの領域が重なっていると、正しくレイアウト認識できない場合があります。文字領域とほかの領域が重なっている場合は、手で領域枠を設定して認識してください。

※領域枠の色と属性の対応は、「環境設定」で確認・変更できます。
(☞ 「[一般] タブの設定」応用編 P.85)

※読取順序の表示 / 非表示は、「環境設定」で設定できます。
(☞ 「[一般] タブの設定」応用編 P.85)

2 実行結果

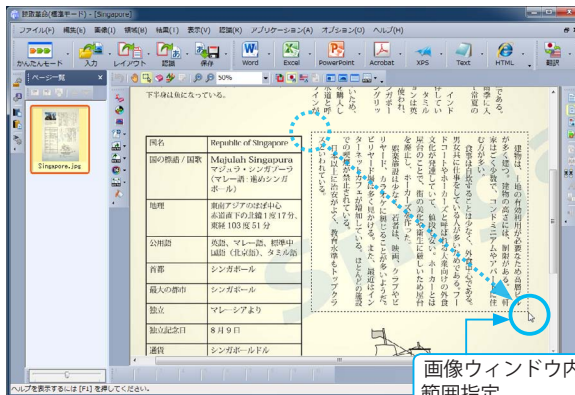
画像ウィンドウに表示されたページがレイアウト認識され、領域枠が表示されます。領域枠は文字や画像・図形・表などの属性ごとに色分けされ、それぞれに読取順序が設定されます。

※読取順序は [領域]-[読取順序変更] で変更できます。
(☞ 「読取順序の変更」応用編 P.31)

選択した領域

画像ウィンドウに表示されたページ内で範囲指定した領域、または選択した1つの領域枠を対象としてレイアウト認識が実行されます。

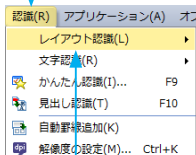
1 範囲指定 (または領域枠を1つ選択) する



または、領域枠を1つ選択

2 [選択した領域] を選択する

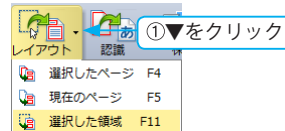
① [認識] を
クリック



② [レイアウト
認識] を選択

③ [選択した領域] を
クリック

または、ツールバーの



② [選択した領域]
をクリック

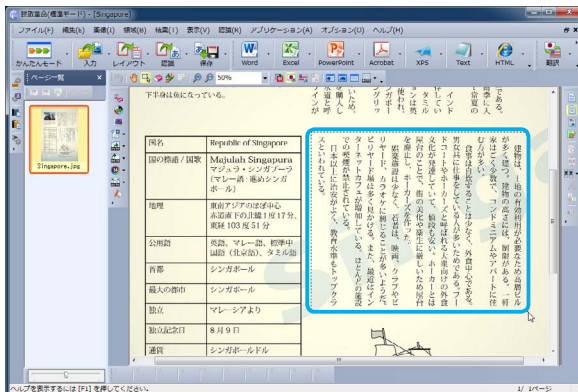
3 実行結果

読取順序

指定した範囲内に、既に領域枠が存在する状態で[選択した領域]を実行した場合、読取順序が変更される場合があります。また、画像ウィンドウに、既に領域枠が存在し、領域枠を含まない範囲を指定した場合は、読取順序の最後に追加されます。

※読取順序は [領域]-[読取順序変更] で変更できます。

(☞「読取順序の変更」応用編 P.31)



画像ウィンドウに表示されたページがレイアウト認識され、領域枠が表示されます。領域枠は文字・画像・図形・表などの属性ごとに色分けされ、それぞれに読取順序が設定されます。

文字認識を行う

入力された画像に対して文字領域・表領域内の文字・図形領域を認識します。
ページ一覧ウィンドウで選択されたページ(画像)に対して実行されます。

※ツールバーのボタンには、前回選択した機能を示すアイコンが前面に表示されます。同じ操作を行う場合は、ボタン部分をクリックするだけで前回と同じ操作を実行できます。

1 文字認識を実行する

① [認識] をクリック



② [文字認識] を選択

③ いずれかを選択

選択したページ:

ページ一覧ウィンドウで選択されている画像を認識します。

現在のページ:

画像ウィンドウに表示されている画像を認識します。

選択した領域:

選択した領域枠だけを認識します。

または、ツールバーの



① ▼をクリック

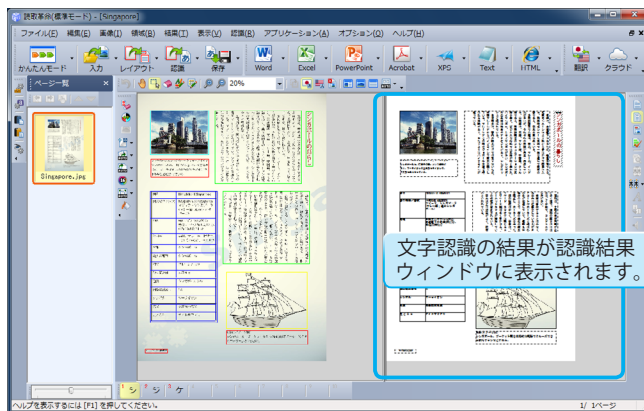
② いずれかを選択

2 実行結果

■ 認識対象文字サイズ

認識の対象となる文字サイズは、6～60ポイントです(400dpiの場合)。文字サイズが認識対象外の場合、正しく認識されないことがあります。

※レイアウト認識、または領域設定が行われていない場合は、自動的にレイアウト認識したあとに全領域を文字認識します。



文字認識の結果が認識結果ウィンドウに表示されます。

※認識結果の表示方法は4とおりあります。用途に合わせて表示を切り替えてください。

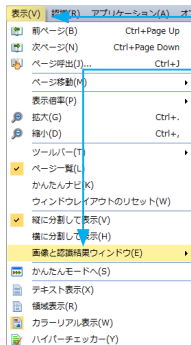
(☞「認識結果ウィンドウの表示を切り替える」基本編 P.106)

画像 / 認識結果ウィンドウを表示する

画像ウィンドウと認識結果ウィンドウを任意に切り替えて画面に表示させることができます。

※ただし、認識結果がハイパーチェッカーの場合は、この機能は無効となります。

1 メニューを選択する



① [表示] をクリック

② [画像と認識結果ウィンドウ] を選択

画像ウィンドウと認識結果ウィンドウを表示する場合

③ [画像と認識結果を表示] をクリック

または、標準ツールバーの



ボタンをクリック

画像ウィンドウを表示する場合

③ [画像を表示] をクリック

または、標準ツールバーの



ボタンをクリック

認識結果ウィンドウを表示する場合

③ [認識結果を表示] をクリック

または、標準ツールバーの



ボタンをクリック

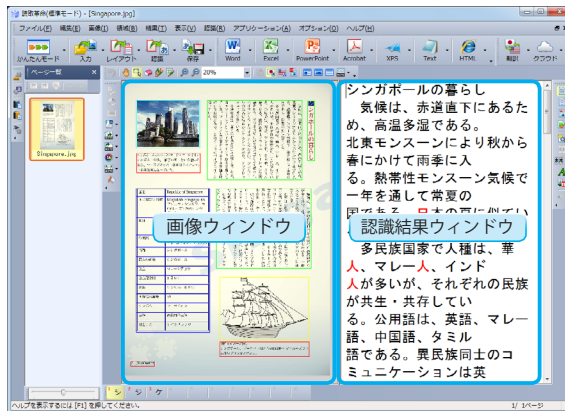
2 実行結果

※認識結果の表示方法は、変更できます。

(☞「認識結果ウィンドウの表示を切り替える」基本編 P.106)

■ [画像と認識結果を表示] を選択した場合

画像ウィンドウと認識結果ウィンドウを表示します。



認識結果ウィンドウの表示を切り替える

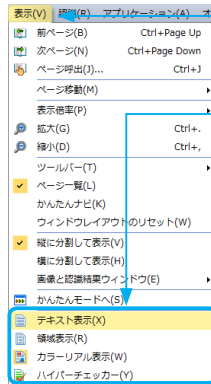
認識結果ウィンドウでの表示を [テキスト表示]、[領域表示]、[カラーリアル表示]、[ハイパーチェッカー] から選択できます。

認識結果ウィンドウの表示

4つの表示形式から選択できます。

- ・ [テキスト表示] 文字だけを表示
- ・ [領域表示] レイアウトを表現
- ・ [カラーリアル表示] 画像を忠実に表現
- ・ [ハイパーチェッカー] 認識結果を画像のすぐ下に1行ずつ表示

1 メニューを選択する



① [表示] をクリック

テキストだけを表示する場合

② [テキスト表示] をクリック

または、認識結果編集ツールバーの



ボタンをクリック

領域枠ごとに表示する場合

② [領域表示] をクリック

または、認識結果編集ツールバーの



ボタンをクリック

領域枠の背面も含めてすべて表示する場合

② [カラーリアル表示] をクリック

または、認識結果編集ツールバーの



ボタンをクリック

認識結果と画像を見比べる場合

② [ハイパーチェッカー] をクリック

または、認識結果編集ツールバーの



ボタンをクリック

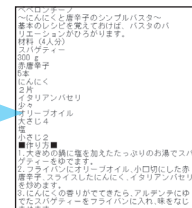
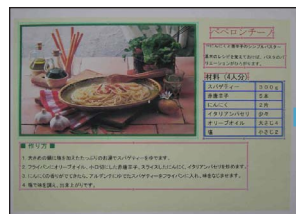
2 切り替え結果

テキスト表示

認識結果の文字だけを表示します。

※ [テキスト表示] の場合、認識結果ウィンドウの表示倍率は変更できません。

※ [テキスト表示] の場合、認識結果文字列のフォント名・文字サイズ・文字色を変更できます。
(☞「フォントの設定」応用編 P.30)



[カラーリアル表示] から [テキスト表示] に変更されます。

※ [領域表示] の場合、認識結果ウィンドウの表示倍率は、2～400%まで設定できます。
(☞ 「[表示] タブの設定」 応用編 P.86)

※ [領域表示] の場合、認識結果文字列のフォント名・文字サイズ・文字色・行間・文字間を変更できます。フォントを設定することで認識結果を読み込んだ画像に、より近付けることができます。
(☞ 「フォントの設定」 応用編 P.30)

※ [カラーリアル表示] の場合、認識結果ウィンドウの表示倍率は、2～400%まで設定できます。
(☞ 「[表示] タブの設定」 応用編 P.86)

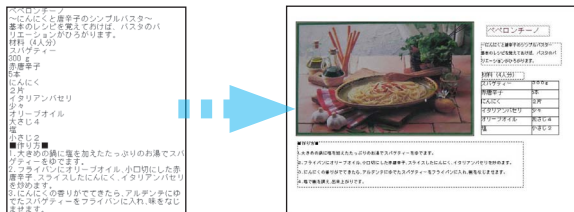
※ [カラーリアル表示] の場合、認識結果文字列のフォント名・文字サイズ・文字色・行間・文字間を変更できます。フォントを設定することで認識結果を読み込んだ画像に、より近付けることができます。
(☞ 「フォントの設定」 応用編 P.30)

※ [ハイパーチェッカー] の場合、認識結果ウィンドウの表示倍率は変更できません。

※ [ハイパーチェッカー] の場合、認識結果文字列のフォント名・文字サイズを変更できます。
(☞ 「フォントの設定」 応用編 P.30)

領域表示

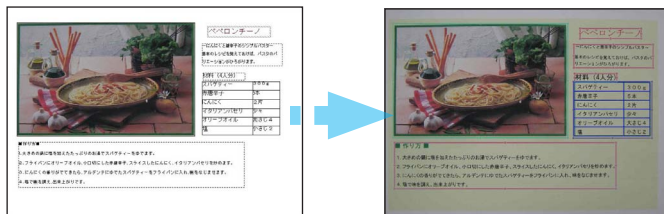
縦書き・横書きなどのレイアウトが反映されます。
バックグラウンド(背景など)は表示されません。



[テキスト表示] から [領域表示] に変更されます。

カラーリアル表示

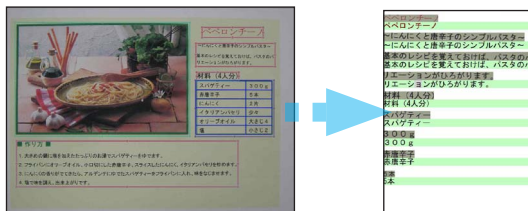
縦書き・横書きなどのレイアウトが反映され、カラー画像などではバックグラウンド(背景など)が表示されます。
認識結果を、読み込んだ画像に近い形で見るすることができます。



[領域表示] から [カラーリアル表示] に変更されます。

ハイパーチェッカー

画像と認識結果が1行ずつ表示されます。画像と認識結果を比較しながら編集するときに便利です。[ハイパーチェッカー] の場合、改行は入力できません。



[カラーリアル表示] から [ハイパーチェッカー] に変更されます。

切り取り・コピー・貼り付けをする

画像ウィンドウや認識結果ウィンドウに表示された画像や文字列は、切り取り、コピー、貼り付けが行えます。

画像の切り取り・コピー・貼り付け

領域設定モード

1 領域を範囲指定する

材料 (4人分)	
スパゲティ	300g
赤唐辛子	5本
にんにく	2片

画像ウィンドウ上でマウスの左ボタンを押したまま、画像領域を指定

2 画像を切り取る・コピーする

切り取りとコピーの違い

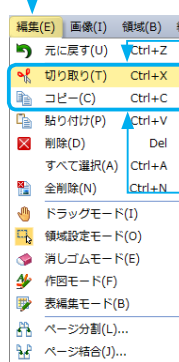
■「切り取り」を選択した場合、指定した領域が切り取られ、クリップボードにコピーされます。

材料 (4人分)	
スパゲティ	300g
赤唐辛子	5本
にんにく	2片

■「コピー」を選択した場合、指定した領域は切り取られず、クリップボードにコピーされます。

材料 (4人分)	
スパゲティ	300g
赤唐辛子	5本
にんにく	2片

① [編集] をクリック



切り取る場合

② [切り取り] をクリック

または、標準ツールバーの



ボタンをクリック

コピーする場合

② [コピー] をクリック

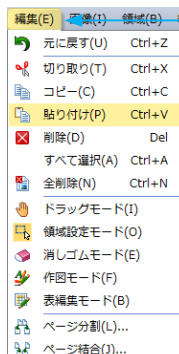
または、標準ツールバーの



ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」応用編 P.37 を参照してください。

3 貼り付けを実行する



① [編集] をクリック

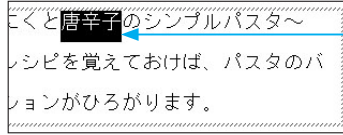
② [貼り付け] をクリック

新規画像としてページ一覧ウィンドウに表示されます。

※画像編集ソフトウェアで、切り取りやコピーしたクリップボード画像も、新規画像として「読取革命」に入力できます。

※「貼り付け」を行った場合、「解像度設定」ダイアログボックスが表示されます。
(「解像度の設定」応用編 P.29)

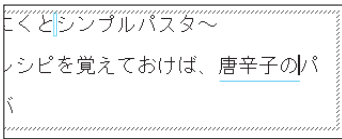
1 切り取りやコピーする文字を指定する



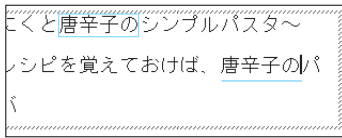
認識結果ウィンドウで、切り取りやコピーをする文字を範囲指定

切り取りとコピーの違い

■「切り取り」を選択して貼り付けた場合、選択した文字列が切り取られ、貼り付けられます。



■「コピー」を選択して貼り付けた場合、選択した文字列は切り取られず、貼り付けられます。



文字列をキー操作で編集するには

文字列を範囲選択して、下記の方法で編集できます。

【文字列の削除】

[Delete] キー、または [BackSpace] キーを押す。

【文字列の切り取り】

[Ctrl]+[X] キーを押す。

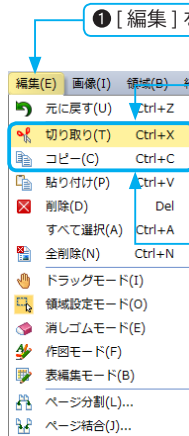
【文字列のコピー】

[Ctrl]+[C] キーを押す。

【文字列の貼り付け】

[Ctrl]+[V] キーを押す。

2 文字列を切り取る・コピーする



切り取る場合

② [切り取り] をクリック

または、標準ツールバーの

ボタンをクリック

コピーする場合

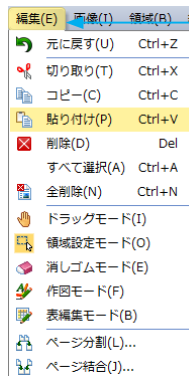
② [コピー] をクリック

または、標準ツールバーの

ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」応用編 P.37 を参照してください。

3 貼り付け先を選択し、実行する



① [編集] をクリック

② [貼り付け] をクリック

コピーした場合は、指定した [唐辛子] という文字列はそのまま表示され、切り取りを行った場合は、[唐辛子] の文字列が切り取られます。

削除する

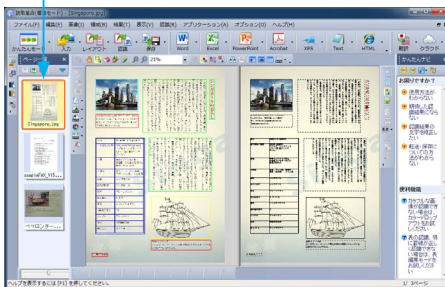
現在のページの領域枠と認識結果を削除します。

※ページ一覧ウィンドウに表示されたページ(画像)を「読取革命」から削除するには「ページを閉じる」基本編 P.128 を参照してください。

領域枠と認識結果をすべて削除する

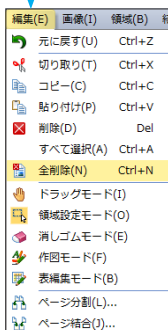
1 ページを選択する

① ページをクリック



2 メニューを選択する

① [編集] を
クリック

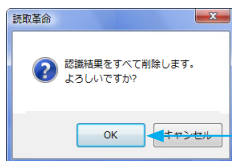


② [全削除] を
クリック

または、標準ツールバーの



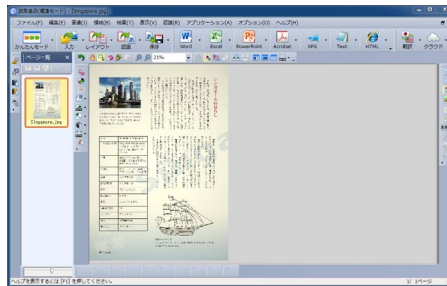
ボタンをクリック



③ [OK] をクリック

※操作を取り消すには
(☞「元に戻す」基本編 P.119)

3 実行結果

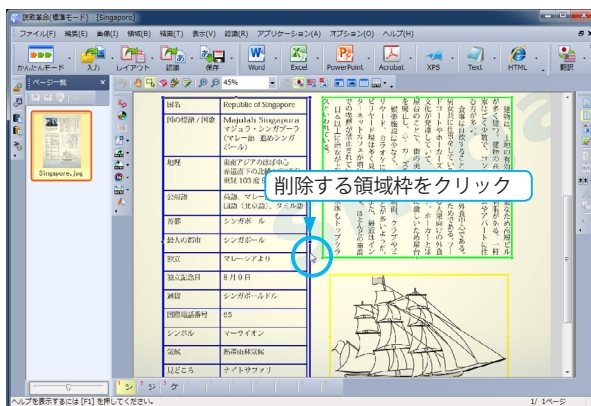


すべての領域枠と認識結果が
削除されます。

領域枠を削除する

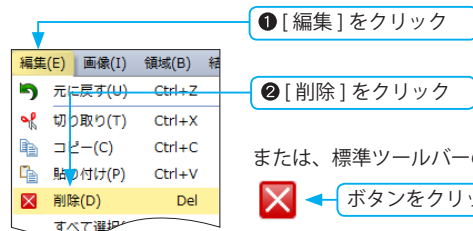
領域設定モード

1 領域枠を選択する



※操作を取り消すには
(☞「元に戻す」基本編 P.119)

2 メニューを選択する

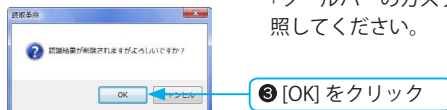


または、標準ツールバーの



※このボタンをツールバーに表示させるには
「ツールバーのカスタマイズ」応用編 P.37 を参照してください。

※削除対象の領域枠に認識結果がある場合は、確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。



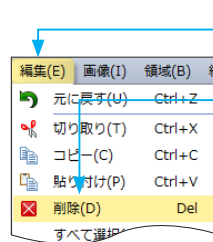
文字列を削除する

1 削除する文字を指定する

こくど唐辛子のシンプルパスタ～
レシピを覚えておけば、パスタのバ
ンションがひろがります。

認識結果ウィンドウで、削除する文字の前でマウスの左ボタンをクリックしたままドラッグ

2 メニューを選択する



① [編集] をクリック

② [削除] をクリック

または、標準ツールバーの



ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」応用編 P.37 を参照してください。

3 実行結果

こくどのシンプルパスタ～
レシピを覚えておけば、パスタのバ
ンションがひろがります。

[唐辛子]の文字列が削除されます。

※操作を取り消すには
(☞ 「元に戻す」基本編 P.119)

半角・全角を変換する

選択された文字列を、半角や全角に変換できます。変換対象となる文字列は、アルファベット・数字・記号（一部）・カタカナです。

1 文字列を選択する

1. 大きめの鍋に塩を加えたたっ
2. フライパンにオリーブオイル、小口切にし
3. にんにくの香りがでてきたら

文字列を選択

2 メニューを選択する

① [結果] をクリック

半角から全角へ変換する場合

② [半角→全角変換] をクリック
または、認識結果編集ツールバーの

半 全 ボタンをクリック

全角から半角へ変換する場合

③ [全角→半角変換] をクリック
または、認識結果編集ツールバーの

全 半 ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」応用編 P.37 を参照してください。

3 実行結果

■半角→全角変換を実行した場合

1. 大きめの鍋に塩を加えたたっ
2. フライパンにオリーブオイル
3. にんにくの香りがでてきたら

■全角→半角変換を実行した場合

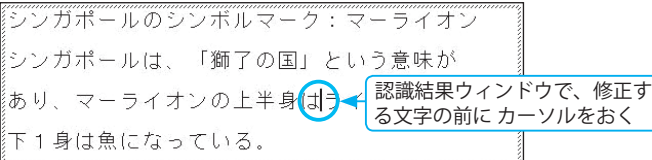
1. 大きめの鍋に塩を加えたたっ
2. フライパンにオリーブオイル、小口切にし
3. にんにくの香りがでてきたら

選択された文字列内の対象文字は、全角、または半角文字に変換されます。

修正機能で認識結果を編集する

「読取革命」には、認識結果の文字列に対して自動で文字を修正する「一括修正」や「候補文字修正」があります。

1 修正する文字を指定する



【一括修正】と【文字列の置換】の違い

■【一括修正】

「読取革命」の認識結果を対象にして修正を行います。修正対象の文字画像と認識結果を確認しながら修正できます。固有名詞や旧字体など、認識結果からだけでは、正しいか正しくないか判断しにくい文字を含んでいる場合には【一括修正】で修正することをお勧めします。

既に一括修正で修正された文字や、キーボードから直接入力された文字は【一括修正】の対象になりません。【文字列の置換】を行ってください。

■【文字列の置換】

認識結果ウィンドウに表示されている文字列を対象にして、置換を行います。

※候補文字のフォントサイズは、「環境設定」で変更できます。

(☞「【表示】タブの設定」応用編 P.86)

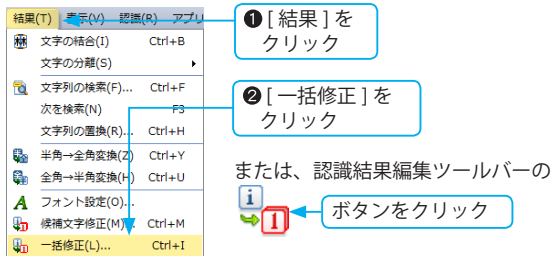
※「候補文字修正」ダイアログボックスの【一括修正を行う】チェックボックスがオフの場合は、「一括修正」ダイアログボックスは表示されずに、1文字だけ修正されます。

一括修正で複数の文字を一度に修正する

形状の似た文字を検索し、一括して修正する機能です。修正作業を効率的に行うことができます。

一括修正の対象は表示しているページだけです。

2 【一括修正】を選択する



ツールバーから表示する場合

認識結果ウィンドウで文字の前にカーソルをおくと、候補文字修正ツールバーに候補文字が最大 10 文字まで表示されます。



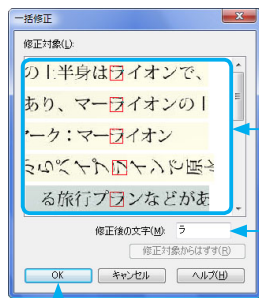
修正対象からはずすには

- ①修正しない文字画像をクリック。
- ② [修正対象からはずす] をクリック、または①を行わずに修正しない文字画像をダブルクリック。
 - ・ 選択した文字画像がリストから削除されます。

複数の文字画像を選択する場合

- ・ 離れた文字画像を指定する
[Ctrl] キーを押したまま文字画像を1つずつクリックして選択します。
- ・ 連続した文字画像を指定する
最初の文字画像をクリックし、[Shift] キーを押したまま最後の文字画像をクリックすると、間に挟まれた文字画像がすべて選択できます。

3 一括修正を実行する



修正対象の文字画像が表示されます。
□で囲まれているのが修正対象文字です。

選択した文字が [修正後の文字] テキストボックスに表示されます。

[修正後の文字] テキストボックスの文字は、変更できます。

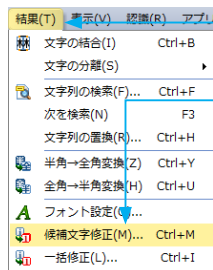
[OK] をクリック

[修正対象] の画像の認識結果が、
[修正後の文字] テキストボックス
に入力した文字に修正されます。

候補文字修正で1文字ずつ修正する

「読取革命」は、1つの文字画像に対して複数の候補文字を選び出し、その中でもっとも近いと思われる文字を認識結果として表示します。認識結果が正しくないときは、候補文字の一覧を表示させ、その中から正しい文字を選択して修正できます。

2 [候補文字修正] を選択する



① [結果] を
クリック

② [候補文字修正]
をクリック

または、修正する文字の前にカーソルをおき、ダブルクリックします。

または、認識結果編集ツールバーの

ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」応用編 P.37 を参照してください。

3 正しい文字を設定する

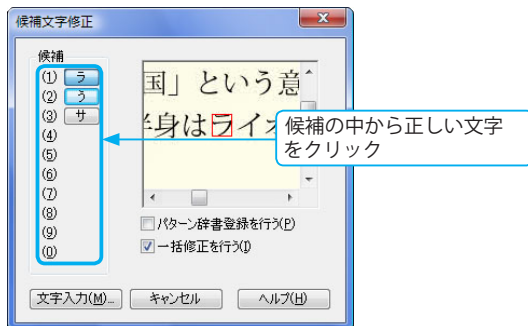
- [パターン辞書登録を行う]
チェックボックスがオンの場合、候補文字修正を行った文字画像と修正文字とを関連づけて、パターン辞書へ登録します。
(☞ 「パターン辞書」 応用編 P.72)

- [一括修正を行う]
チェックボックスがオンの場合、候補文字修正が行われるときに、「一括修正」ダイアログボックスが開き、修正対象の文字画像と似た文字画像の認識結果も一度に修正します。
(☞ 「一括修正で複数の文字を一度に修正する」 基本編 P.114)

※表示中の「候補文字修正」ダイアログボックスは、ダイアログボックス以外の場所をクリックしても閉じます。

※英語認識モードで認識すると、候補文字は表示されません。

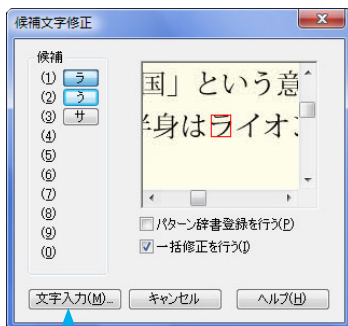
- [文字入力]
[文字入力]で修正できるのは、1回の操作で1文字だけです。修正する文字が複数ある場合は、1文字ずつ候補文字修正を行ってください。



選択した文字に修正されます。

候補文字一覧に正しい文字がない場合

候補文字に正しい文字がない場合は、手で文字を入力できます。



① [文字入力]
をクリック



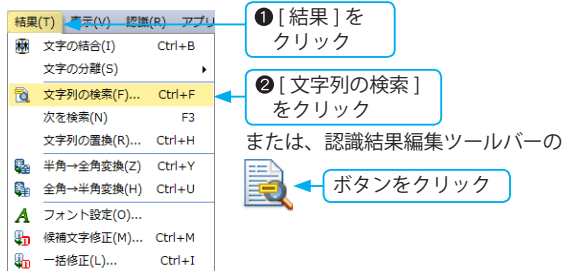
③ [OK] をクリック

入力した文字に修正されます。

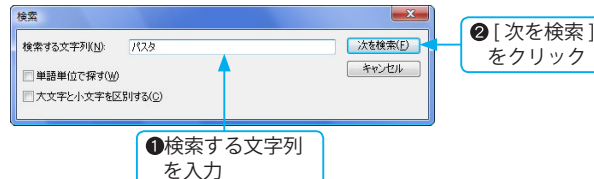
検索する

指定した文字列を認識結果の中から検索します。
事前に認識結果ウィンドウをクリックしておく必要があります。

1 [文字列の検索] を選択する



2 検索を実行する



※「検索」ダイアログボックスを開く前に認識結果ウィンドウ内で文字列を範囲指定しておく、文字列が [検索する文字列] に自動的に入力されます。

■ [単語単位で探す]

チェックボックスをクリックしてオンにすると、入力した文字列と完全に一致する単語だけを検索します。入力した文字列より長い単語は、一部が一致していても検索されません。

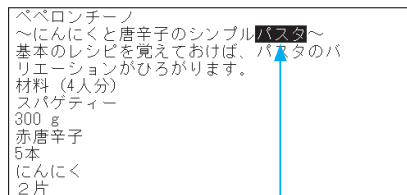
例：[該当] と入力した場合
→ [該当事項] は検索されません。

■ [大文字と小文字を区別する]

チェックボックスをクリックしてオンにすると、アルファベットやカタカナの大文字と小文字を区別して検索します。

※「検索」ダイアログボックスを閉じたあとも、検索する文字列は記憶されています。[結果] メニューの [次を検索] をクリックするか、[F3] キーを押すと検索します。

3 実行結果



検索された文字列が反転表示されます。
[次を検索] をクリックすると、次の文字列を検索して反転表示します。

置換する

指定した文字列を別の文字列に置き換えます。
事前に認識結果ウィンドウをクリックしておく必要があります。

[文字列の置換]と[一括修正]の違い

・[文字列の置換]

認識結果ウィンドウに表示されている文字列を対象にして、置換を行います。

・[一括修正]

「読取革命」の認識結果を対象にして修正を行います。修正対象の文字画像と認識結果を確認しながら修正できます。固有名詞や旧字体など、認識結果からだけでは、正しいか正しくないか判断しにくい文字を含んでいる場合には[一括修正]で修正することをお勧めします。

既に一括修正で修正された文字や、キーボードから直接入力された文字は[一括修正]の対象になりません。[文字列の置換]を行ってください。

※「置換」ダイアログボックスを開く前に認識結果ウィンドウ内で文字列を範囲指定しておく、文字列が[検索する文字列]に自動的に入力されます。

■ [単語単位で探す]

前ページを参照してください。

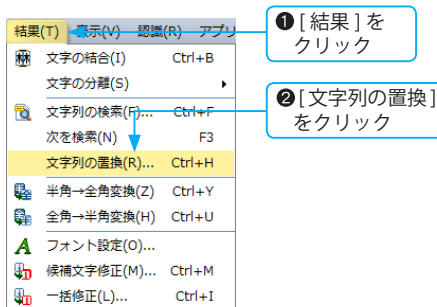
■ [大文字と小文字を区別する]

前ページを参照してください。

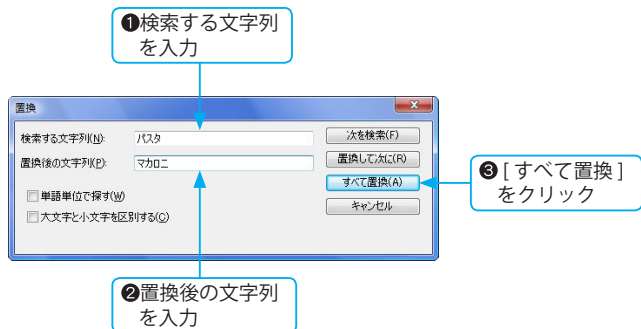
検索する文字列を確認して置換する場合

- ① [次を検索] をクリック。
- ② 反転表示されている文字列を置換する場合は、[置換して次に] をクリック。置換しないで次の置換対象文字列を確認する場合は、[次を検索] をクリック。

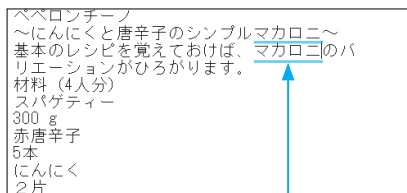
1 [文字列の置換] を選択する



2 置換を実行する



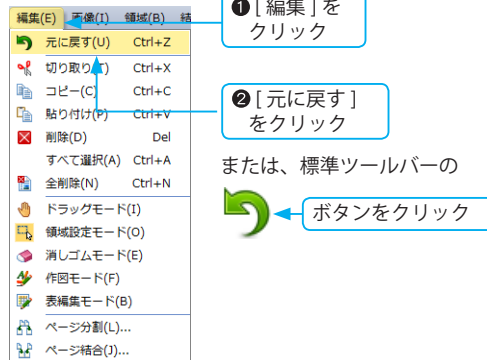
3 実行結果



元に戻す

直前に行った領域枠の編集・表編集・読取順序の変更・画像編集などの操作を取り消し、1つ前の状態に戻します。
※「元に戻す」は、一部の機能にだけ有効です。

1 操作を取り消す



The image shows a screenshot of a software menu titled '編集(E)'. The menu items are as follows:

元に戻す(U)	Ctrl+Z
切り取り(X)	Ctrl+X
コピー(C)	Ctrl+C
貼り付け(P)	Ctrl+V
削除(D)	Del
すべて選択(A)	Ctrl+A
全削除(N)	Ctrl+N
ドラッグモード(I)	
領域設定モード(O)	
消しゴムモード(E)	
作図モード(F)	
表編集モード(B)	
ページ分割(L)...	
ページ結合(J)...	

Annotations on the image:

- ① [編集] をクリック (Arrow points to the menu title)
- ② [元に戻す] をクリック (Arrow points to the '元に戻す(U)' menu item)
- または、標準ツールバーの ボタンをクリック (Arrow points to a green circular arrow icon)

※ 2つ以上前の状態に戻すことはできません。
「元に戻す」は、直前に行った操作に対してだけ有効です。

保存する

「読取革命」に入力した画像は画像ファイルに、また認識結果は対応するアプリケーション形式のファイルに保存できます。認識結果は単ページだけでなく、複数ページの認識結果も1つのファイルへ保存できます。用途に応じてレイアウトの再現が可能な形式や、テキストだけを保存する形式を選択してください。コンパクトファイルの保存は、スマートフォンなどのモバイル端末上で閲覧する際に最適なファイルへ保存できます。

選択できる保存ファイル形式

- TIFF ファイル (*.tif,*.tiff) (注)
- TIFF[非圧縮] ファイル (*.tif,*.tiff)
- BMP ファイル (*.bmp)
- DCX ファイル (*.dcx)
- PCX ファイル (*.pcx)
- JPEG ファイル (*.jpg,*.jpeg)

(注) カラー画像の場合は、TIFF[JPEG 圧縮] で保存されます。白黒画像(2値画像)の場合は、TIFF[G4 圧縮] で保存されます。

ファイル形式が異なる画像を、
1つのファイルに保存する場合

TIFF、または DCX 形式で保存してください。

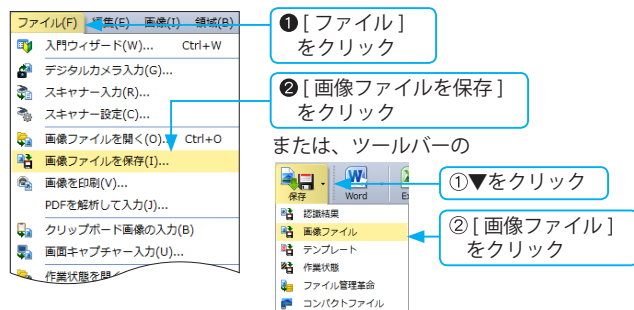
現在表示されているページの
画像だけを保存する場合

BMP/PCX/JPEG 形式で保存します。
複数ページを保存する場合は、ページごとに保存してください。

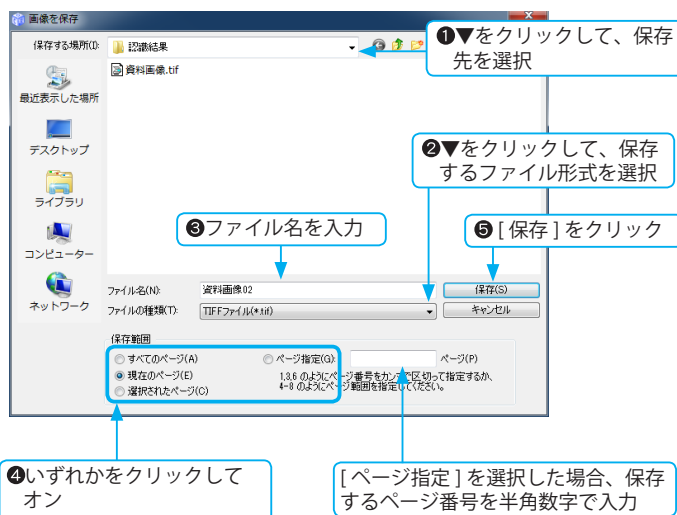
※保存先フォルダーに、同名・同形式のファイルが存在する場合は、上書きを確認するメッセージダイアログボックスが表示されます。

画像の保存

1 メニューを選択する



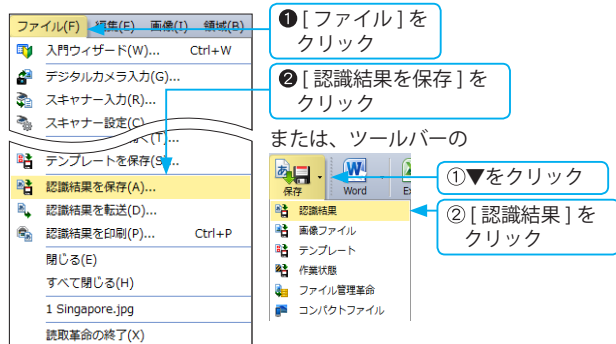
2 画像ファイルを保存する



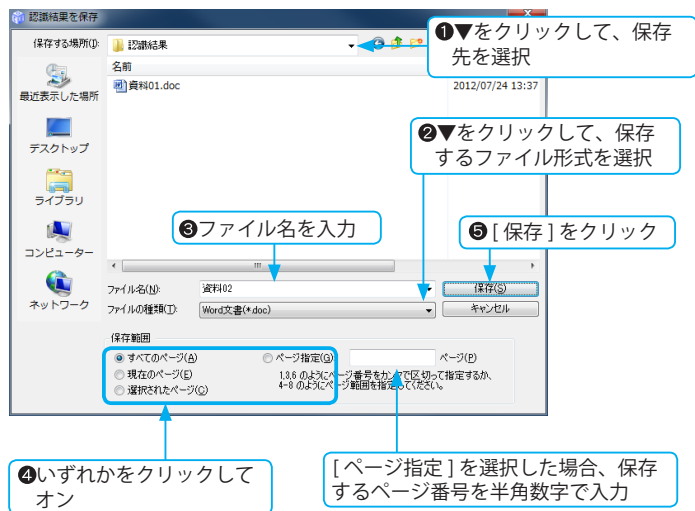
■保存範囲

- [すべてのページ]: ページ一覧ウィンドウに表示されたすべての画像
- [現在のページ]: 画像ウィンドウに表示された画像
- [選択されたページ]: ページ一覧ウィンドウで選択されたページの画像
- [ページ指定]: 指定されたページに該当する画像

1 メニューを選択する



2 保存する



※選択できる保存ファイル形式については「出力形式の詳細」基本編 P.171 を参照してください。

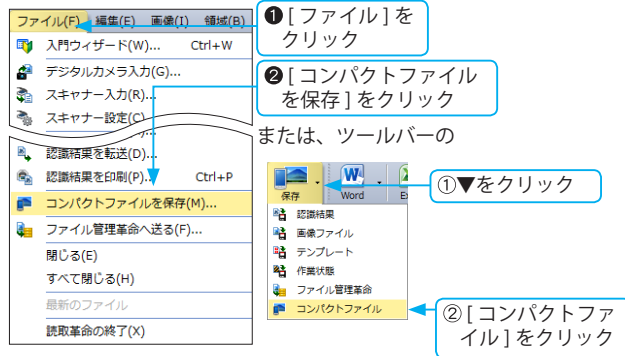
※保存先フォルダーに、同名・同形式のファイルが存在する場合は、上書きを確認するメッセージダイアログボックスが表示されます。

■保存範囲

- [すべてのページ]：文字認識を行ったページすべての認識結果
- [現在のページ]：認識結果ウィンドウに表示された認識結果
- [選択されたページ]：ページ一覧ウィンドウで選択されたページの認識結果
- [ページ指定]：指定されたページに該当する認識結果

コンパクトファイルの保存

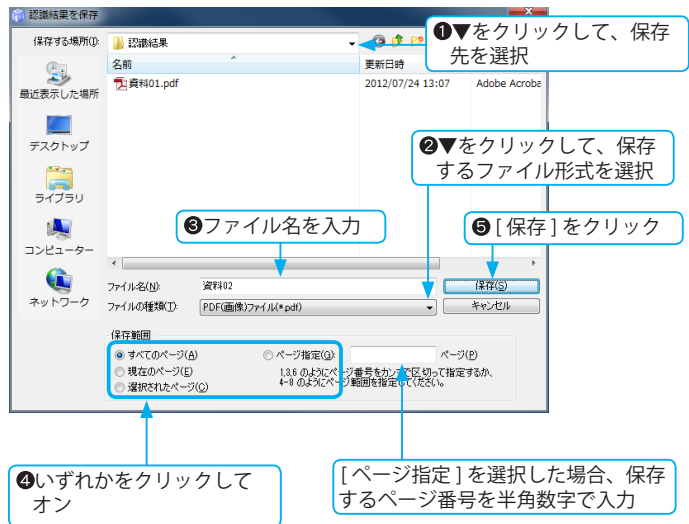
1 メニューを選択する



2 保存する

選択できるファイル形式

- PDF(画像) ファイル (*.pdf)
- PDF(透明文字) ファイル (*.pdf)
- PDF(高圧縮) ファイル (*.pdf)
- ZIP(JPEG) ファイル (*.zip)

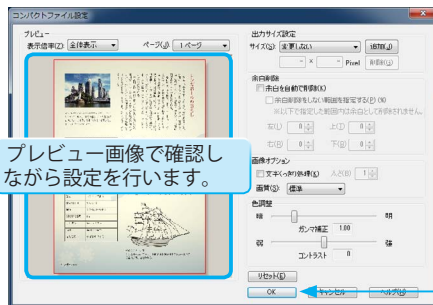


※保存先フォルダーに、同名・同形式のファイルが存在する場合は、上書きを確認するメッセージダイアログボックスが表示されます。

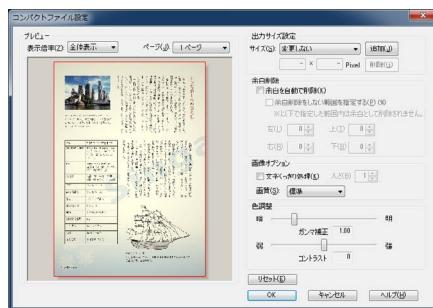
■保存範囲

- [すべてのページ]：ページ一覧ウィンドウに表示されたすべての画像
- [現在のページ]：画像ウィンドウに表示された画像
- [選択されたページ]：ページ一覧ウィンドウで選択されたページの画像
- [ページ指定]：指定されたページに該当する画像

3 編集内容を設定して実行する



■コンパクトファイル設定 ダイアログボックスの詳細



プレビュー

- [表示倍率]: プレビュー画像の表示倍率を設定します。
- [ページ]: プレビューに表示するページを設定します。

出力サイズ設定

- [サイズ]: 出力サイズを設定します。設定できるサイズは、[変更しない]、[QVGA]、[VGA]、[SVGA]、[XGA]、[HD]、[フルHD]、[ユーザ指定]
- [追加]: 新しいサイズを追加します。
- [削除]: 選択したサイズを削除します。※新しく追加したサイズのみ削除可能です。

余白削除

- [余白を自動で削除]: 余白を自動除去する場合、チェックボックスをオンを選択してください。
- [余白削除をしない範囲を指定する]: 余白を削除しない範囲を設定する場合、チェックボックスをクリックしてオンにし、「左」、「右」、「上」、「下」に余白として残す幅、高さに対する範囲(%)を設定します。▲▼をクリックするか、テキストボックスに0～100までの整数を半角で入力します。

画像オプション

- [文字くっきり処理]: 文字が細い場合、チェックボックスをクリックしてオンにし、文字の太さを設定します。
- [画質]: 画像の画質を設定します。

色調整

- [ガンマ補正]: 画像階調が白黒(2値)以外の場合に、スライダーを移動して、画像のガンマ補正を調整します。
- [コントラスト]: 画像階調が白黒(2値)以外の場合に、スライダーを移動して、画像のコントラストを調整します。

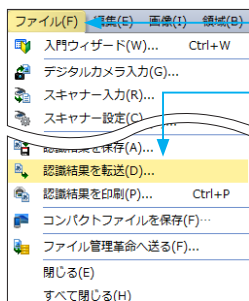
転送する

認識結果をほかのアプリケーションに転送します。

転送が完了すると、転送先のアプリケーションが自動で起動し、認識結果のファイルを開きます。

Word 形式、Excel 形式、PowerPoint 形式、RTF 形式、一太郎形式、PDF 形式、HTML 形式、XML 形式で転送すると、画像領域や元のレイアウトを再現できます。

1 メニューを選択する



① [ファイル] をクリック

② [認識結果を転送] をクリック

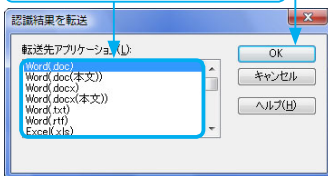
または、転送先アプリツールバーに表示されているアプリケーションのボタンをクリックすると、レイアウト認識・文字認識・転送までを自動で行います。

既に認識が行われている場合は、転送だけを行います。

2 転送先アプリケーションを選択する

① 転送先アプリケーション名をクリック

② [OK] をクリック



※「転送先アプリケーション」に表示される内容は、お使いの環境によって異なります。

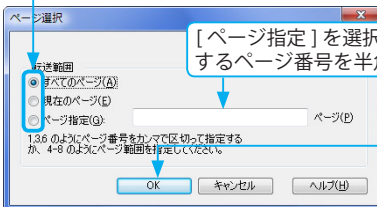
※選べる転送ファイル形式については「出力形式の詳細」基本編 P.171 を参照してください。

※ Microsoft Word に RTF、DOC、DOCX 形式で転送した場合、レイアウト情報を表示させるには、Microsoft Word のメニューバーの [表示]-[印刷レイアウト] を選択してください。

3 転送するページを選択する

① いずれかをクリックしてオン

[ページ指定] を選択した場合、転送するページ番号を半角数字で入力



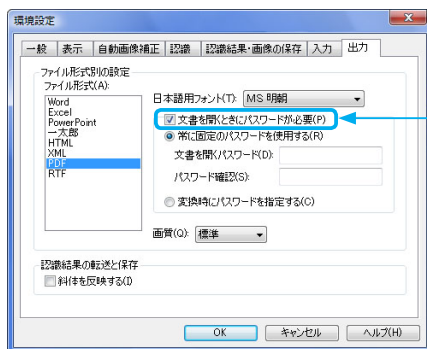
② [OK] をクリック

PDF ファイルにパスワードを設定する

PDF ファイルに出力するときに、ファイルを開くためのパスワードを設定できます。

1 パスワード設定を有効にする

「環境設定」の[出力]タブで「PDF」を選択してください。
(☞ 「[出力]タブの設定」 応用編 P.93)



1 [文書を開くときにパスワードが必要]をクリックしてオン

2 パスワードを設定する

PDF ファイルにパスワードを設定する方法は、2とおりあります。

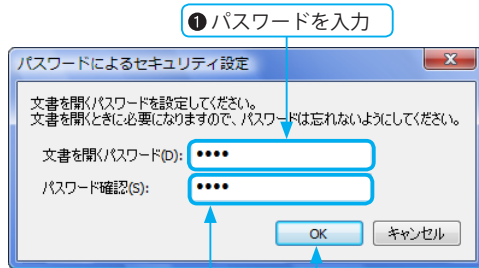
常に固定のパスワードを使用する

[常に固定のパスワードを使用する]をクリックしてオンにし、パスワードを設定してください。

(☞ 「PDF を選択した場合」 応用編 P.96)

変換時にパスワードを指定する

出力時に以下のダイアログボックスが表示されますので、パスワードを設定してください。



1 パスワードを入力

2 [OK] をクリック

2 ①で入力したパスワードを再度入力

印刷する

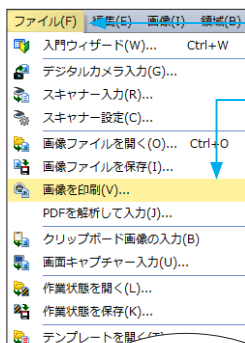
入力した画像や、認識結果は印刷できます。

認識結果の印刷は認識結果ウィンドウに表示されている内容と同じものが印刷されます。

画像の印刷

ページ一覧ウィンドウに表示されている画像を印刷します。

1 メニューを選択する



① [ファイル] をクリック

② [画像を印刷] をクリック

または、標準ツールバーの



ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」応用編 P.37 を参照してください。

2 印刷の設定をする



① ▼をクリックし、使用するプリンターを選択

② いずれかをクリックしてオン

[ページ指定] を選択した場合、印刷するページ番号を半角数字で入力

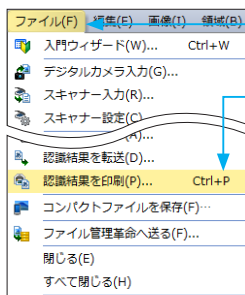
③ [OK] をクリック

※表示モードがハイパーチェッカーの場合は印刷できません。ほかの表示モードに切り替えてから印刷を行ってください。

認識結果の印刷

認識結果の印刷は認識結果ウィンドウで表示されている表示と同じように印刷されます。(☞「認識結果ウィンドウの表示を切り替える」基本編 P.106)

1 メニューを選択する



① [ファイル] をクリック

② [認識結果を印刷] をクリック

または、標準ツールバーの

ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」応用編 P.37を参照してください。

2 印刷の設定をする



① ▼をクリックし、使用するプリンターを選択

③ [OK] をクリック

② いずれかをクリックしてオン

[ページ指定] を選択した場合、印刷するページ番号を半角数字で入力

未確定文字の印刷について

認識結果に未確定文字がある場合、テキスト表示は未確定文字が下線付きで印刷され、領域表示・カラーリアル表示の場合は灰色で印刷されます。

未確定文字は、非表示にすることもできます。

(☞「[一般] タブの設定」応用編 P.85)

※表示モードがハイパーチェッカーの場合は印刷できません。ほかの表示モードに切り替えてから印刷を行ってください。

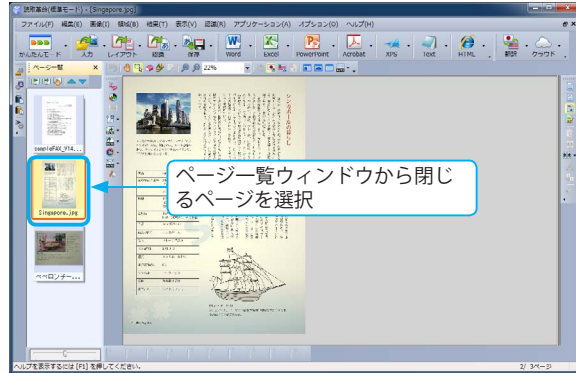
ページを閉じる

任意のページを「読取革命」から閉じます。

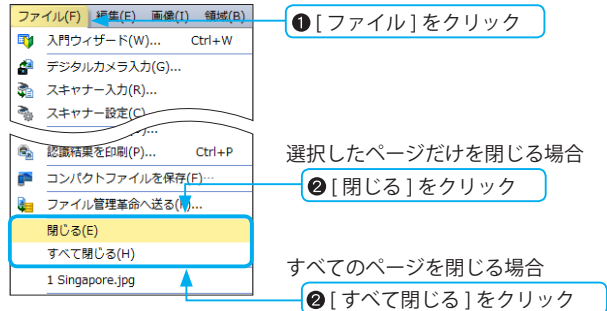
スキャナーやデジタルカメラから直接読み込んだ画像や、保存していない修正部分・認識結果は、必要があればページを閉じる前に、ファイルに保存するかほかのアプリケーションへ転送しておいてください。

※複数ページのファイルを読み込んだ場合でも、選択したページだけを閉じることができます。

1 ページを指定する



2 [閉じる] または [すべて閉じる] を選択する



かんたん認識

かんたん認識で自動認識する	130
認識方法の追加	131
認識方法の複製	132
認識方法の変更	133
認識方法の削除	134
認識方法の整理	135
処理内容を設定する	138
[画像の入力] の設定	138
[画像編集] の設定	139
[レイアウト認識] の設定	140
[認識結果] の設定	142
レイアウトを編集する	144

かんたん認識で自動認識する

原稿のタイプを選択するだけで最適な設定で認識を行い、縦書き・横書きテキスト、画像、図、表などが混在した原稿もレイアウトをそのままに再現できます。

簡単な設定をするだけで、お好みに合わせた認識方法が作成でき、画像の読み込みから画像修正・認識・保存・転送までを自動で行えます。

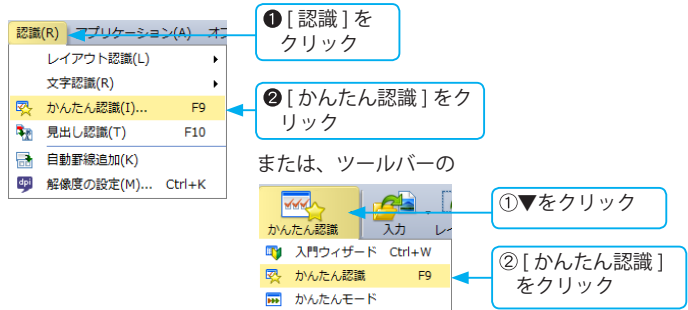
認識方法一覧

選択できる認識方法の一覧です。

- ・一般文書
- ・新聞を読み込みます
- ・縦書きの雑誌を読み込みます
- ・横書きの雑誌を読み込みます
- ・小説を読み込みます
- ・歌詞カードを読み込みます
- ・論文を読み込みます
- ・伝票を読み込みます

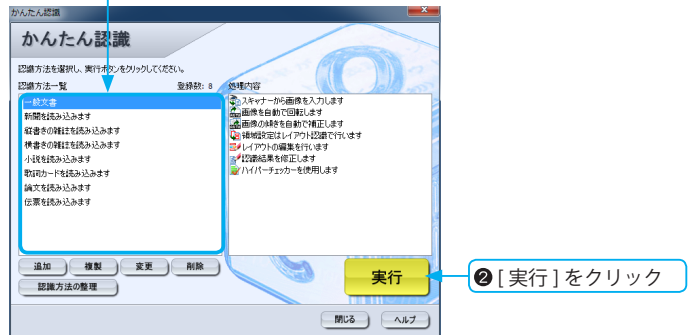
同じ形式の画像を大量に処理する場合、認識方法を登録しておく便利です。

1 メニューを選択する



2 かんたん認識を実行

① 認識方法を選択



※認識方法の編集については、次ページ以降に記載しています。

※ [レイアウト認識を行う] チェックボックスがオンの場合は、「かんたん認識」を実行すると、「レイアウト編集」が起動します。

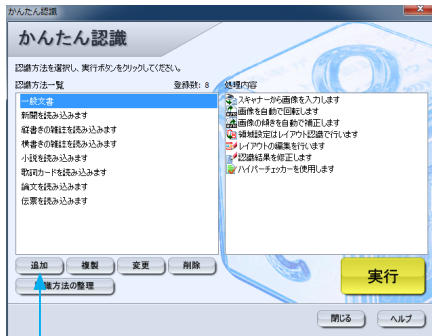
(☞ 「[レイアウト認識]の設定」基本編 P.140)

(☞ 「レイアウトを編集する」基本編 P.144)

認識方法の追加

新規に認識方法を登録します。

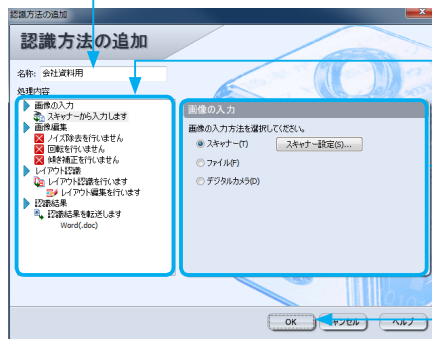
1 追加を選択する



[追加]をクリック

2 処理内容を設定する

① 認識方法の名称を入力



② 設定する処理内容を選択

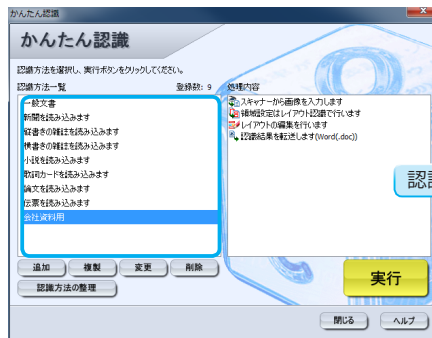
③ 処理内容を選択

④ [OK]をクリック

※処理内容の設定方法については、次の項目を参照してください。
(☞「[画像の入力]の設定」基本編 P.138)
(☞「[画像編集]の設定」基本編 P.139)
(☞「[レイアウト認識]の設定」基本編 P.140)
(☞「[認識結果]の設定」基本編 P.142)

3 実行結果

※[認識方法一覧]に登録できる認識方法は、100件までです。

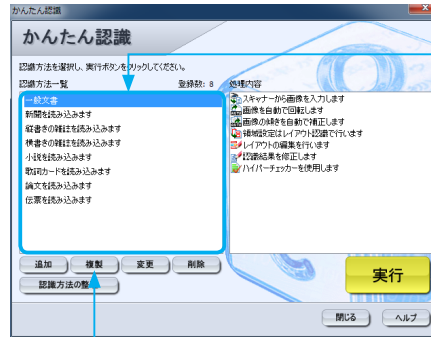


認識方法が追加されます。

認識方法の複製

登録されている認識方法を複製し、新規の認識方法として登録します。

1 複製を選択する

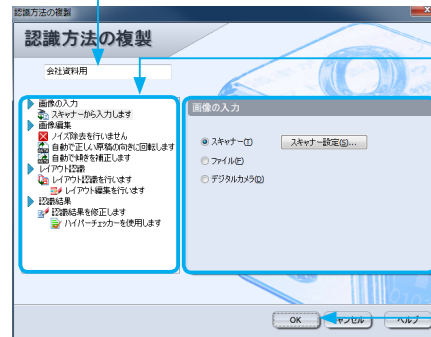


①複製する認識方法を選択

② [複製] をクリック

2 処理内容を設定する

①複製した認識方法の名称を変更



②設定する処理内容を選択

③処理内容を選択

④ [OK] をクリック

※処理内容の設定方法については、次の項目を参照してください。

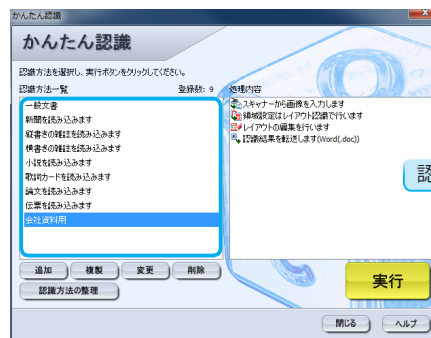
(☞ 「[画像の入力]」の設定
基本編 P.138)

(☞ 「[画像編集]」の設定」基本編 P.139)

(☞ 「[レイアウト認識]」の設定
基本編 P.140)

(☞ 「[認識結果]」の設定」基本編 P.142)

3 実行結果

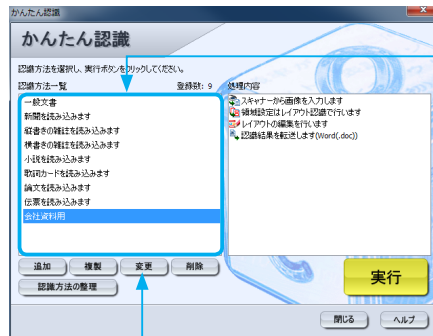


認識方法が追加されます。

認識方法の変更

登録されている認識方法の処理内容を変更します。

1 変更を選択する

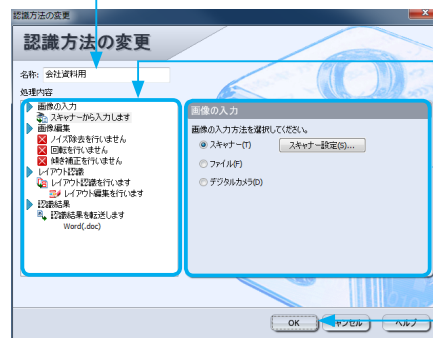


1 変更する認識方法を選択

2 [変更] をクリック

2 処理内容を変更する

1 名称を変更する場合は入力



2 設定する処理の項目を選択

3 処理内容を選択

4 [OK] をクリック

※処理内容の設定方法については、次の項目を参照してください。

(☞ 「[画像の入力]」の設定

基本編 P.138)

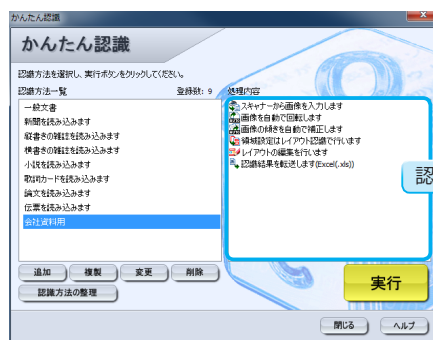
(☞ 「[画像編集]」の設定」基本編 P.139)

(☞ 「[レイアウト認識]」の設定

基本編 P.140)

(☞ 「[認識結果]」の設定」基本編 P.142)

3 実行結果

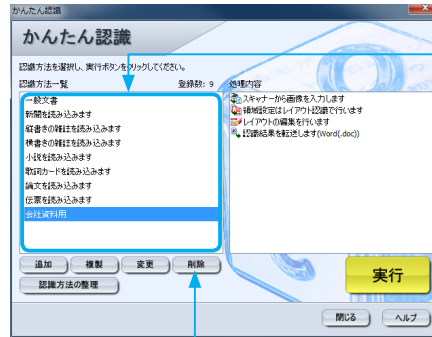


認識方法が変更されます。

認識方法の削除

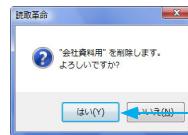
登録されている認識方法を削除します。

1 削除を選択する

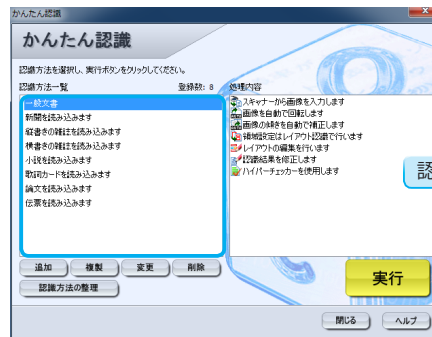


2 [削除] をクリック

2 削除の確認



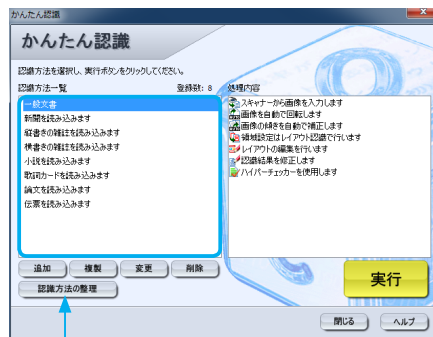
3 実行結果



認識方法の整理

認識方法を並び替えます。また、認識方法の設定は、インポート / エクスポートできます。

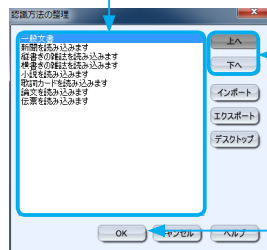
1 認識方法の整理を選択する



[認識方法の整理]をクリック

認識方法の並び替え

① 移動する認識方法を選択



② [上へ]、または [下へ] をクリック

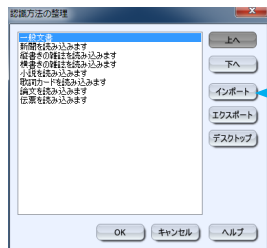
または、移動先にドラッグ & ドロップ

選択した認識方法が移動します。

③ [OK] をクリック

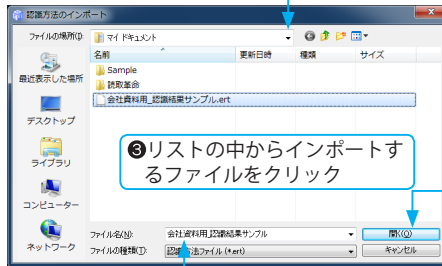
認識方法のインポート

認識方法のインポートを行います。
以前使用していた認識方法をエクスポートしている場合、インポートして再利用できます。



① [インポート] をクリック

②▼をクリックして認識方法
ファイルの保存先を選択



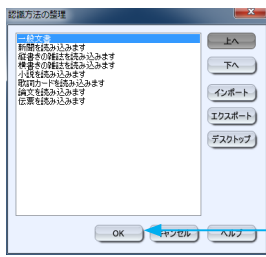
③リストの中からインポートす
るファイルをクリック

⑤ [開く] をクリック

④表示されている
ファイル名を確認

認識方法がインポートされます。

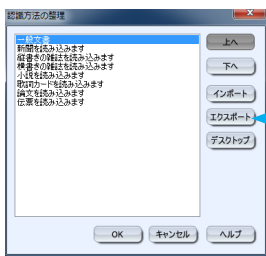
※既に同名の認識方法が存在する場合は、
上書きを確認するメッセージダイア
ログボックスが表示されます。



⑥ [OK] をクリック

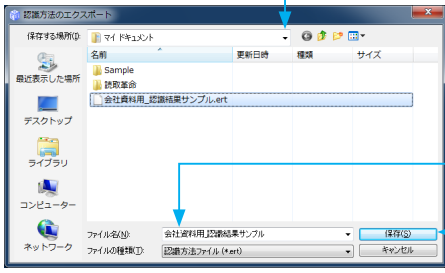
認識方法のエクスポート

指定した保存先に、認識方法をエクスポートできます。



① [エクスポート] をクリック

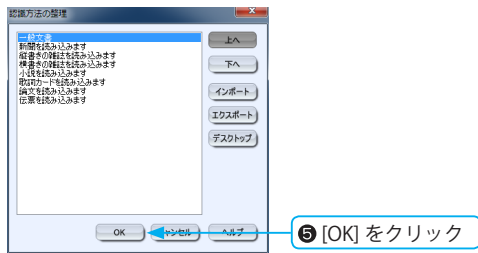
②▼をクリックして保存
先を選択



③ファイル名を入力

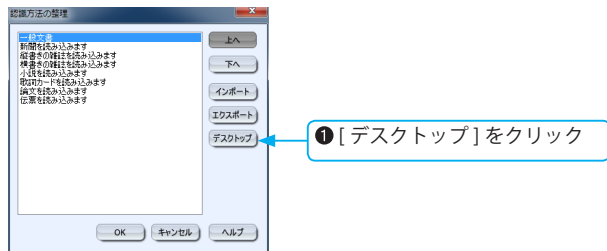
④ [保存] をクリッ
ク

認識方法がエクスポートされ、認識方法
ファイル (*.ert) が保存されます。

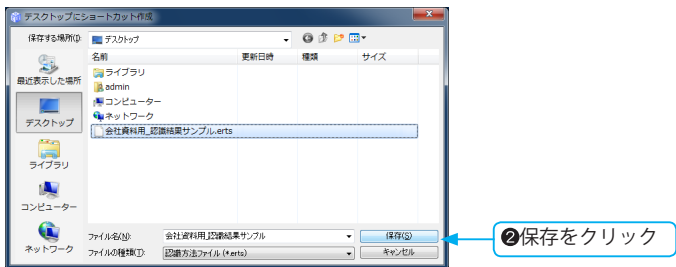


認識方法のショートカット作成

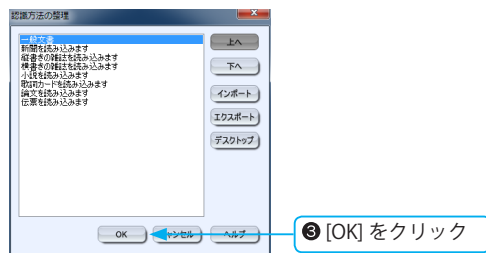
デスクトップに、認識方法のショートカットを作成できます。



※保存した認識方法ショートカットを実行すると、設定された認識方法に従って処理が実行されます。



認識方法ショートカットファイル (*.erts)
がデスクトップに保存されます。

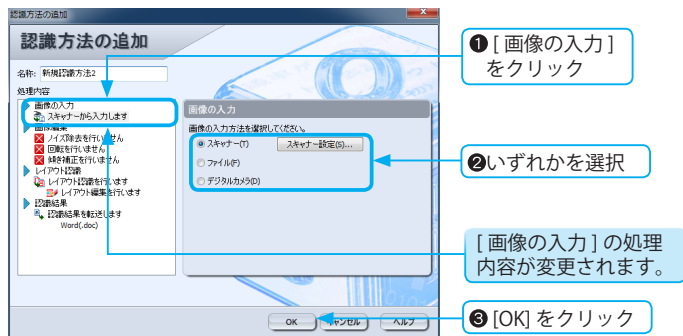


処理内容を設定する

認識方法に設定できる処理内容は、[画像の入力]、[画像編集]、[レイアウト認識]、[認識結果] です。「認識方法の追加」、「認識方法の複製」、「認識方法の変更」画面から行えます。

[画像の入力] の設定

画像の入力方法を設定します。



[スキャナー]

スキャナーから画像を読み込みます。

[スキャナー設定] をクリックすると、「ソースの選択」ダイアログボックスが表示され、スキャナーを選択できます。

(☞ 「スキャナーの設定」基本編 P.37)

「かんたん認識」画面の [実行] をクリックするとスキャナーからの読み込みが開始されます。

[ファイル]

画像ファイルを読み込みます。「かんたん認識」画面の [実行] をクリックすると「画像ファイルを開く」ダイアログボックスが表示されます。(☞ 「画像ファイルを開く」基本編 P.70)

[デジタルカメラ]

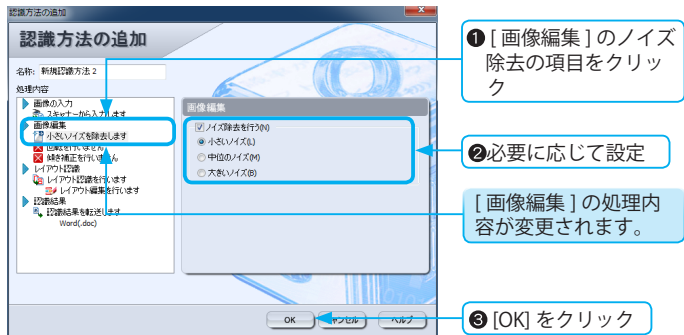
デジタルカメラから画像を読み込みます。「かんたん認識」画面の [実行] をクリックすると「デジタルカメラ入力」ダイアログボックスが表示されます。(☞ 「デジタルカメラ入力」基本編 P.67)

[画像編集]の設定

ノイズ除去、回転、傾き補正を設定します。

■ノイズ除去

ノイズ除去を設定します。

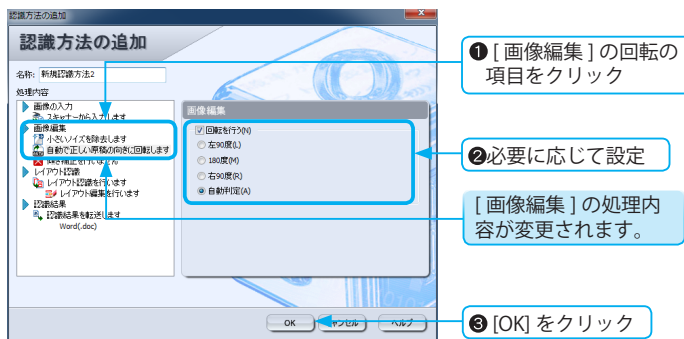


[ノイズ除去を行う]

チェックボックスをクリックしてオンにし、除去するノイズのサイズを選択します。

■回転

回転を設定します。

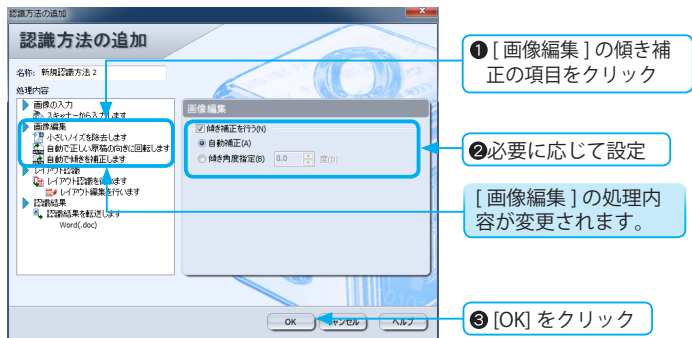


[回転を行う]

チェックボックスをクリックしてオンにし、画像の回転角度を選択します。

■傾き補正

傾き補正を設定します。

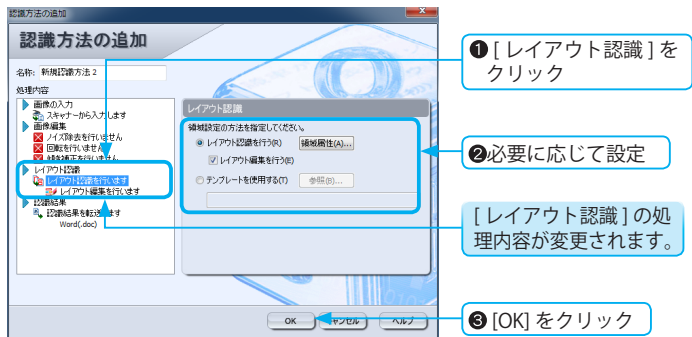


[傾き補正を行う]

チェックボックスをクリックしてオンにし、傾き補正方法を設定します。
[傾き角度指定]を選択した場合は、傾き角度を設定します。
▲▼をクリックするか、テキストボックスに数値を入力します。
傾き角度指定の有効角度は、-45.0度～+45.0度で、0.1度刻みで設定できます。

[レイアウト認識]の設定

領域設定の方法を設定します。



[レイアウト認識を行う]

レイアウト認識で領域を自動抽出します。領域属性をあらかじめ設定する場合は、[領域属性]をクリックし、設定の変更を行います。

(☞「領域枠の属性変更」基本編 P.87)

[レイアウト編集を行う]チェックボックスがオンの場合、画像ファイルの読み込み後、「レイアウト編集」が起動します。

文字認識を行う前にレイアウトの編集や読取順序の変更が行えます。

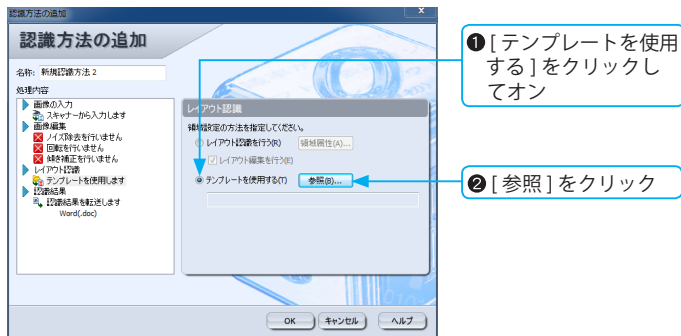
(☞「レイアウトを編集する」基本編 P.144)

【テンプレートを使用する】

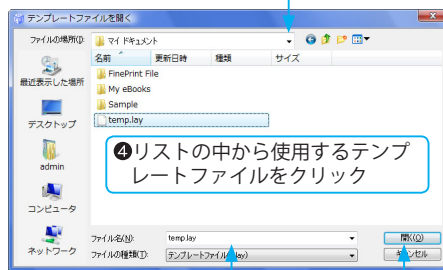
テンプレートを使用して文字認識を行います。使用するテンプレートを選択します。

※テンプレート

(☞「テンプレートで同じ形式のページを認識する」応用編 P.22)

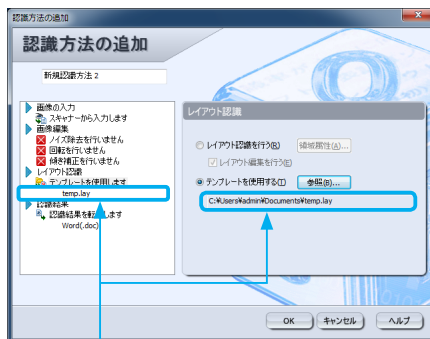


③ ▼をクリックしてテンプレートファイルの保存先を選択



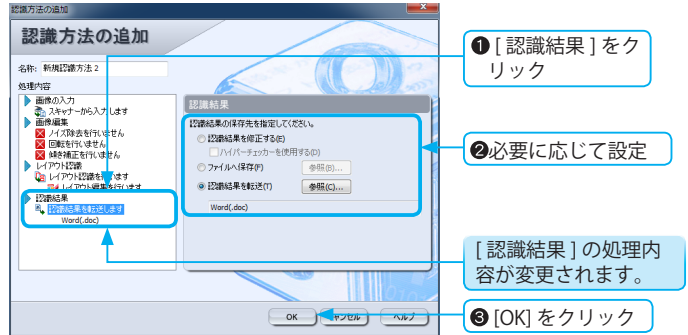
⑤ 表示されているファイル名を確認

⑥ [開く]をクリック



[認識結果] の設定

認識結果の保存先を設定します。



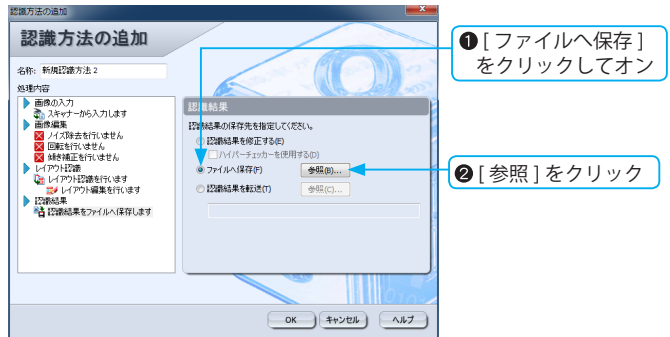
[認識結果を修正する]

認識結果を認識結果ウィンドウへ表示します。かんたん認識終了後に、手動で保存や認識結果の編集が可能です。

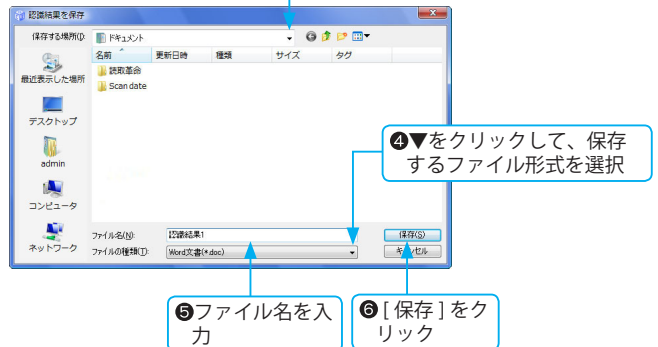
[ハイパーチェッカーを使用する] チェックボックスがオンの場合、かんたん認識終了後にハイパーチェッカーで認識結果を表示します。

[ファイルへ保存]

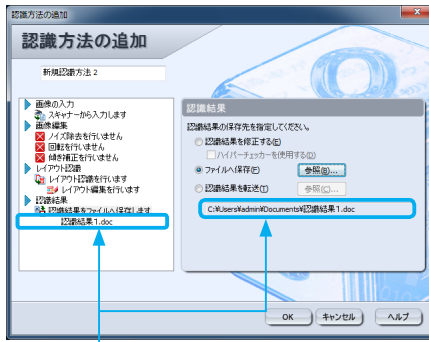
認識結果をファイルへ保存します。



③ ▼ をクリックして保存先を選択



※選べる保存ファイル形式については「出力形式の詳細」基本編 P.171 を参照してください。

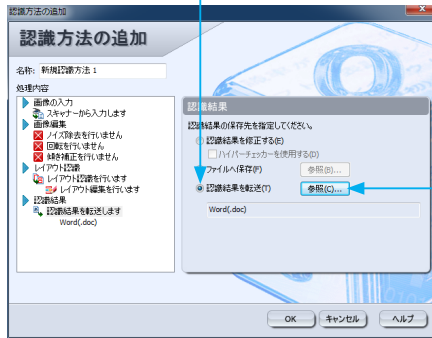


指定したファイルが表示されます。

[認識結果を転送]

認識結果を転送します。

① [認識結果を転送] をクリックしてオン

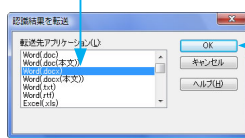


② [参照] をクリック

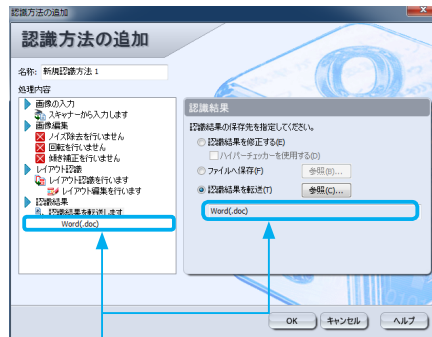
※選択できる転送ファイル形式については「出力形式の詳細」基本編 P.171 を参照してください。

③ 転送先のアプリケーション名をクリック

④ [OK] をクリック



※認識結果の転送は、パソコンにインストールされているアプリケーションに限り有効です。



指定したファイル形式が表示されます。

レイアウトを編集する

「レイアウト編集」は、かんたん認識から起動する「読取革命」に組み込まれたソフトウェアです。かんたん認識から送られてくる画像ファイルを読み込み、レイアウトを編集します。「読取革命」で文字認識を行う前にあらかじめレイアウトを編集する場合などに便利です。

画面構成

■メイン画面の構成

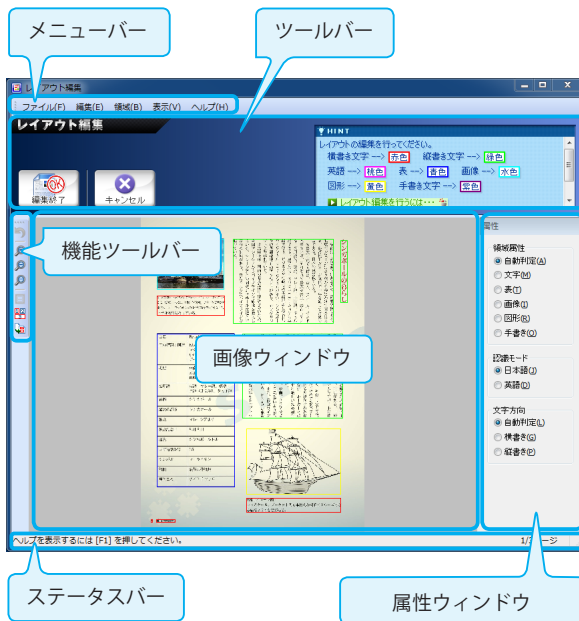
「メイン画面」では、読み込んだファイルをページ一覧ウィンドウに表示し、編集を行うページを選択できます。



- メニューバー
メニューを表示します。
- ツールバー
画面の切り替えや、「レイアウト編集」を終了するボタンを表示します。また、操作方法を案内する「HINT」を表示します。
- 機能ツールバー
使用頻度の高い機能をアイコンボタンで表示します。
- ページ一覧ウィンドウ
読み込まれた画像を一覧表示します。ウィンドウ下部のページ一覧スライダーを動かすと、表示倍率が変更できます。
- 画像ウィンドウ
ページ一覧ウィンドウで選択している画像を表示します。
- ステータスバー
カーソルがメニューやツールバーのボタン上にあるとき、メニューやツールバーのボタンの意味、あるいは表示中のページ番号 / 総ページ数をステータスバーに表示します。

■レイアウト編集画面の構成

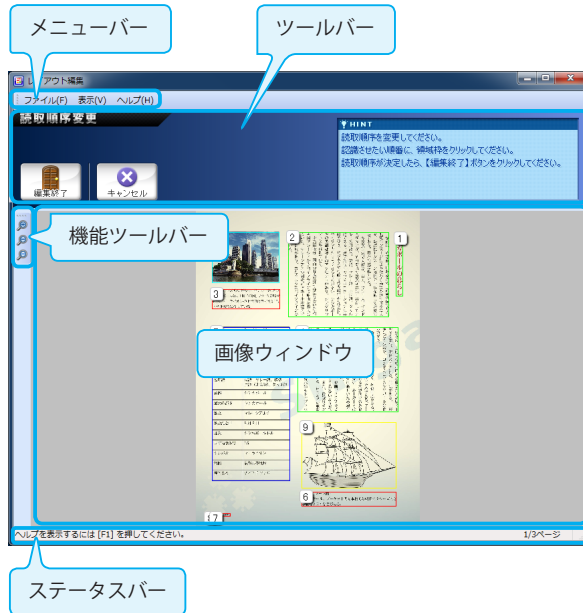
「レイアウト編集画面」では、領域枠の編集、属性変更、認識モードの変更を行います。「レイアウト編集画面」は、「メイン画面」から表示できます。



- メニューバー
メニューを表示します。
- ツールバー
画面を切り替えるボタンや、操作方法を案内する「HINT」を表示します。
- 機能ツールバー
使用頻度の高い機能をアイコンボタンで表示します。
- 属性ウィンドウ
選択している領域枠の領域属性を表示します。選択された領域枠がない場合は、規定値を表示します。
- 画像ウィンドウ
画像を表示します。
- ステータスバー
カーソルがメニューやツールバーのボタン上にあるとき、メニューやツールバーのボタンの意味をステータスバーに表示します。

■ 読取順序変更画面の構成

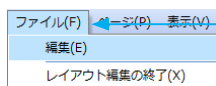
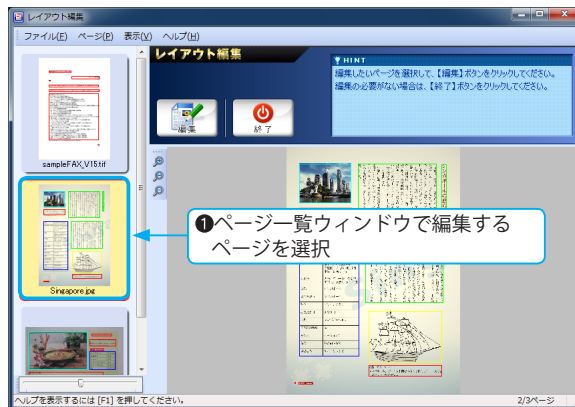
「読取順序変更画面」では、各領域枠の読取順序番号を変更します。「読取順序変更画面」は、「レイアウト編集画面」から表示できます。



- メニューバー
メニューを表示します。
- ツールバー
画面を切り替えるボタンや、操作方法を案内する「HINT」を表示します。
- 機能ツールバー
使用頻度の高い機能をアイコンボタンで表示します。
- 画像ウィンドウ
画像を表示します。
- ステータスバー
カーソルがメニューやツールバーのボタン上にあるとき、メニューやツールバーのボタンの意味をステータスバーに表示します。

レイアウト編集画面を表示する

レイアウト編集画面を表示します。レイアウト編集画面では、レイアウト認識された領域枠を手動で調整したり、領域枠の属性を再設定したりできます。また、レイアウト編集画面から「読取順序変更画面」を表示させることができます。

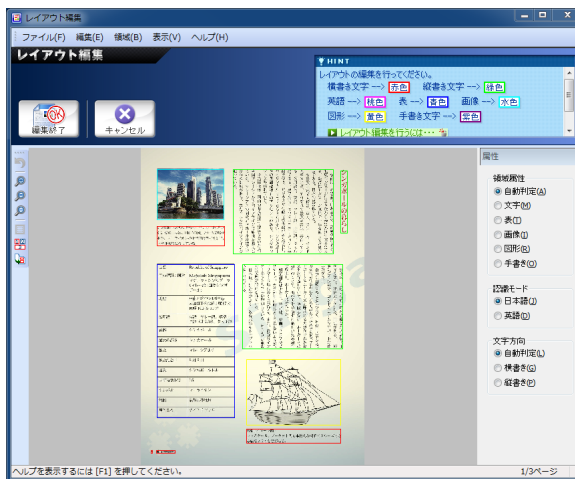


または、ツールバーの



ボタンをクリック

または、ページ一覧ウィンドウ
のページをダブルクリック



レイアウト編集画面が表示されます。

レイアウトを編集する

手動で領域枠の設定ができます。また自動レイアウト認識ができます。
各領域枠の読取順序が変更できます。

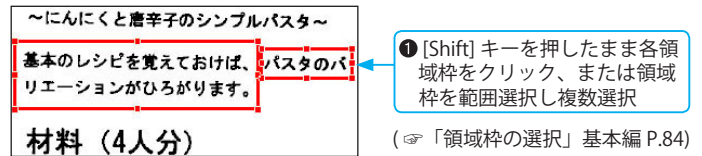
■領域枠の設定

手動で領域枠の設定ができます。また、領域枠の属性を変更して、正しい属性に手動で設定します。

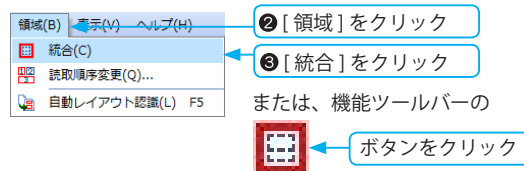
- ・領域枠の作成は、「領域枠の作成」基本編 P.83 を参照してください。
- ・領域枠の選択は、「領域枠の選択」基本編 P.84 を参照してください。
- ・領域枠のサイズ変更は、「領域枠のサイズ変更」基本編 P.85 を参照してください。

■領域枠の統合

複数の領域枠を1つにまとめます。



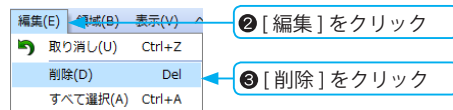
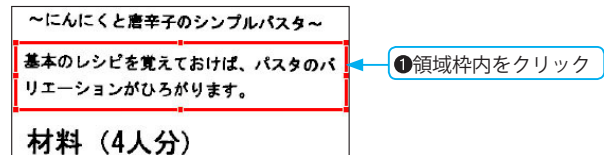
※統合された領域枠の属性は、選択した領域枠の中でもっとも読取順序が早い値の領域属性を継承します。統合後の属性は変更できます。
(☞ 「領域枠の属性変更」基本編 P.87)



2つの領域枠が1つの領域枠に統合されます。

■領域枠の削除

指定した領域枠を削除します。



領域枠が削除されます。

※文字認識の対象は[文字]、[表]、[手書き]領域です。

英文書の場合

認識モードを[英語]にしてください。
[英語]を選択すると、英文書専用の文字認識が行われるため、[日本語]の場合よりも認識率が向上します。
認識モードを[英語]にした場合、[文字方向]は指定できません。

日英混合文書の場合

認識モードを[日本語]にしてください。

※[自動判定]では、手書き文字を[手書き]の属性として認識できません。

※領域属性の規定値の設定は、「レイアウト編集」の起動ごとにリセットされ、[自動判定]となります。

※図形領域を画像領域として認識できます。「環境設定」で設定できます。
(☞「[認識]タブの設定」応用編 P.89)

※領域枠がない場合、確認メッセージダイアログボックスは表示されません。

■領域枠の属性変更

領域枠の属性を変更し、正しい属性に手で設定できます。



属性ウィンドウの各項目について、いずれか1つのラジオボタンをクリック

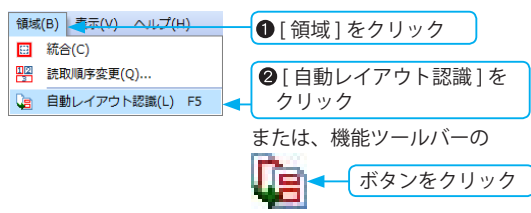
※属性の詳細については、「[認識]タブの設定」応用編 P.89 を参照してください。

読取順序

選択した領域枠の読取順序を表示します。▲▼をクリックして読取順序を確認できます。
読取順序を変更するには、「■読取順序を変更する」基本編 P.150 を参照してください。

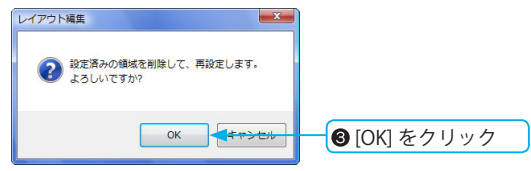
■自動レイアウト認識

設定済みの領域枠を削除して、自動で領域属性(文字・表・画像・図形)を判定し、領域枠の再設定を行います。自動レイアウト認識は、領域属性の規定値に設定した内容でレイアウト認識を行います。規定値を設定するには、領域枠外をクリックし、領域属性の設定を行います。



または、機能ツールバーの

ボタンをクリック

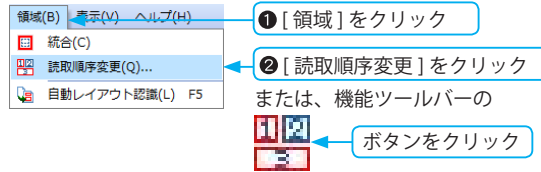


画像ウィンドウに領域枠が表示されます。
領域枠は属性ごとに色分けされて表示されます。

■ 読取順序を変更する

各領域枠には、文字認識する順序を決める読取順序番号が付けられています。読取順序番号はこの操作で変更できます。

■ 読取順序変更画面を表示する



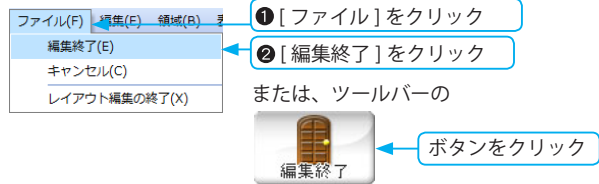
※編集作業中にツールバーの[キャンセル]をクリックすると、編集前の状態に戻ります。

読取順序変更画面が表示されます。

■ 読取順序を変更する

読取順序を1番にする領域から順番に、領域枠の内側をクリック

■ 読取順序変更画面を終了する

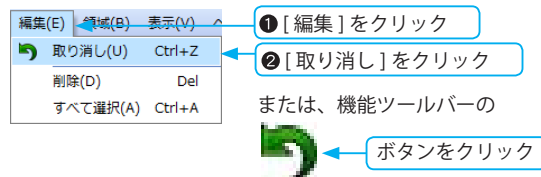


読取順序変更画面が終了し、レイアウト編集画面が表示されます。

※2つ以上前の状態に戻すことはできません。「取り消し」は、直前に行った操作に対してだけ有効です。

■ 取り消し

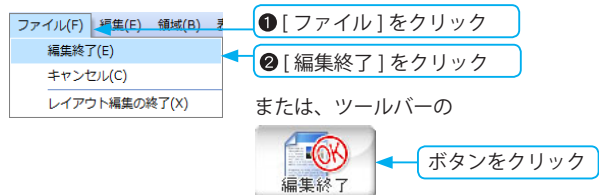
直前に行った領域枠の編集・属性変更などの操作を取り消して、操作を1つ前の状態に戻します。



※領域枠がない場合は、「領域が設定されていないため、このページは全体を画像領域として設定されます。編集を終了してもよろしいですか?」というメッセージダイアログボックスが表示されますので、[OK] をクリックし、メイン画面に戻ります。

■ レイアウト編集を終了する

編集を終了し、編集した内容をメイン画面に反映します。

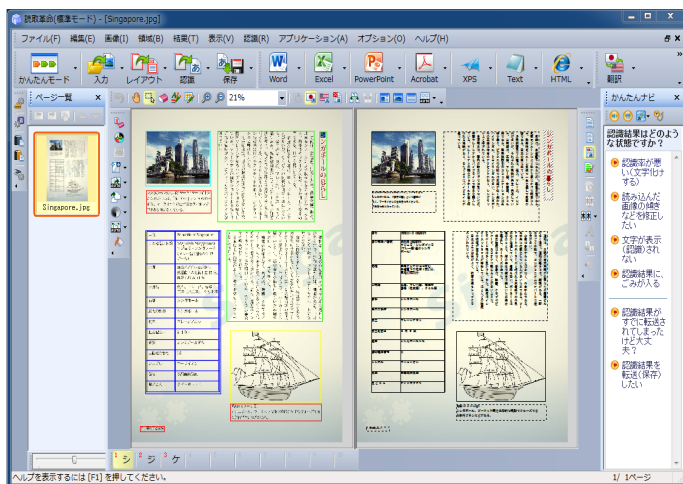
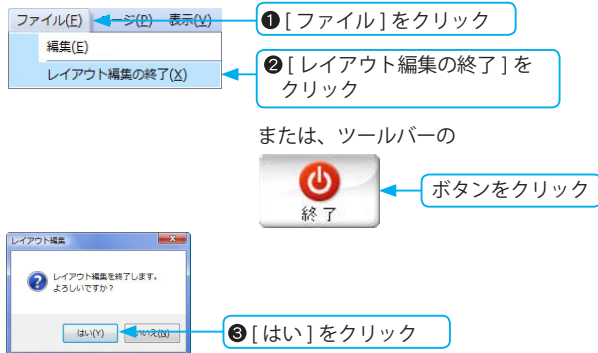


※メニューバーの[ファイル]-[キャンセル]、またはツールバーの[キャンセル]をクリックすると、編集内容を反映せずにレイアウト編集を終了し、メイン画面に戻ります。

レイアウト編集画面が終了し、メイン画面が表示されます。編集内容がメイン画面に反映されます。

「レイアウト編集」を終了する

ページ一覧ウィンドウに表示されているすべてのページ（画像）、およびレイアウト情報を「読取革命」に送り、「レイアウト編集」が終了します。



「レイアウト編集」が終了し、ページ一覧ウィンドウのすべてのページおよびレイアウト情報を「読取革命」に送ります。「読取革命」が起動し、かんたん認識で設定した処理が実行されます。

このページは空白ページです。

トラブルシューティング・FAQ

トラブルシューティング	154
インストール	154
起動・画像入力	154
アドインの設定と解除	154
画像	155
認識	155
認識結果編集	156
転送・終了	156
その他	157
FAQ	158
画像の入力	158
画像修正	158
表領域の編集	158
領域枠の設定	158
その他	158

トラブルシューティング

インストール

- 「正しいシリアル番号を入力してください。」と表示されます。
【原因】 入力したシリアル番号が間違っているか、全角文字と半角文字が混在している可能性があります。
【対策】 シリアル番号を確認し、半角文字で再入力してください。
- 「読取革命」がインストールできません。
パッケージ版をご利用の場合
【原因】 パソコンの CD-ROM ドライブが正常に動作していない可能性があります。
【対策】 お使いのパソコンのハードディスクに十分な空き容量がある場合は、「読取革命」のセットアップ CD-ROM 内のファイルをハードディスクにすべてコピーし、インストールをお試しください。
コピー先フォルダー内の「setup.exe」をダブルクリックしてインストールを開始できます。

起動・画像入力

- 「辞書の読み込みに失敗しました。」と表示されます。
【原因 1】 「読取革命」が正しくインストールされていない可能性があります。
【対策 1】 「読取革命」を再度インストールしてください。(☞「インストール」基本編 P.28)
【原因 2】 辞書ファイルが壊れている可能性があります。
【対策 2】 下記の辞書ファイルを削除し、「読取革命」を再起動してください。
・ upstdict.pst ・ urcgdict.rcg
- 起動時に前回の作業状態が表示されます。新規に始めるにはどうしたらよいですか？
【原因】 [起動時に前回の作業状態を開く] チェックボックスがオンになっています。
【対策】 起動時に新規の状態を始めたい場合、以下の設定を行ってください。
① [オプション] メニューの [環境設定] をクリック
② [認識結果・画像の保存] タブをクリック (☞「[認識結果・画像の保存] タブの設定」応用編 P.91)
③ [起動時に前回の作業状態を開く] チェックボックスをクリックしてオフにする
④ [OK] をクリック
- 起動すると、1,2 秒たって Windows の例外処理が発生します。
【原因】 ウィルスチェックなどの常駐ソフトが起動されています。(ウィルスチェックなどの常駐ソフトが起動していると、「読取革命」が起動できない場合があります)
【対策】 常駐ソフトを終了し、「読取革命」を起動してください。

アドインの設定と解除

- アドイン設定できるアプリケーションは？
次のアプリケーションにアドイン設定できます。
 - ・ Microsoft Word 2010/2007/2003
 - ・ Microsoft Excel 2010/2007/2003
 - ・ Microsoft PowerPoint 2010/2007/2003
 - ・ Adobe Acrobat 10/9/8
- 「読取革命」のアンインストール後に、アドインの設定を解除できますか？
アンインストール後でも、アドインの設定を解除できます。詳細は、「アンインストール後にアドインの設定を解除する場合」応用編 P.101 を参考にして解除を行ってください。

● Microsoft Word/Excel/PowerPoint、Adobe Acrobat のバージョンが複数存在している環境で、アドイン設定されるバージョンは？

Microsoft Word/Excel/PowerPoint では、最新バージョンにアドイン設定されます。
Adobe Acrobat では、インストール日時の新しいものにアドイン設定されます。
アドイン設定するバージョンは、任意に選択できません。

画像

●自動で傾き補正できません。

【原因】画像によっては、自動傾き補正できない場合があります。
【対策】スキャナーやデジタルカメラから画像を再入力する場合は、画像が傾かないように注意して入力しなおしてください。また、手動で傾き補正を行いたい場合は、[画像]メニューの[傾き補正]から[手動]を選択します。「かんたん認識」の場合は[画像編集]の傾き補正の[傾き角度指定]ラジオボタンをオンにし、数値を入力してください。(☞「傾き補正」基本編 P.91、「かんたん認識で自動認識する」基本編 P.130)

●カラーフィルターが実行されません。

【原因】現在の状態が文字認識に最適と判断しています。
【対策】現在の画像状態が認識に最適と判断した場合、カラーフィルターは実行されません。

●作図モードで色を設定したが設定色が黒か白になってしまい、反映されません。

【原因】編集している画像が白黒画像(2値画像)です。
【対策】表示されている画像が白黒画像(2値画像)の場合、白か黒以外設定できません。
表示する画像の色数によって、設定できる色が異なります。

●カラードロップアウトで色を設定しても反映されません。

【原因1】RGB値が異なっています。
【対策1】スキャナーやデジタルカメラなどから読み込まれた画像は、色ムラが発生する場合があります。また、画像の保存ファイル形式によっても色ムラが発生します。肉眼では同色に見えても微妙に色が異なってしまうと、設定した色が反映されません。
本機能は、色ムラの少ない部分や、画面キャプチャーで入力された画像を対象とすることをお勧めします。
【原因2】表示されている画像のカラー数を超えています。
【対策2】表示されている画像のカラー数を超えて設定された場合、一番近いRGB値の色へ自動的に変更されます。
すべての色に対応するには、画像が24bitのカラー画像である必要があります。

認識

●手動で領域枠を設定し、文字認識を実行したところ、領域枠を自動で設定しなおされてしまいました。

【原因】[領域設定済みのページをレイアウト認識する]チェックボックスがオンになっています。この設定では、領域枠の設定を解除し、新たに自動で領域枠を設定しなおしてから、文字認識を行います。
【対策】領域枠の設定を変えたくない場合、以下の設定を行ってください。
① [オプション]メニューの[環境設定]をクリック
② [認識]タブをクリック(☞「[認識]タブの設定」応用編 P.89)
③ [領域設定済みのページをレイアウト認識する]チェックボックスをクリックしてオフにする
([文字認識]の項目だけ、または「レイアウト認識」と「文字認識」の2項目)
④ [OK]をクリック

●文字認識を実行後、画像や領域枠を修正して再び文字認識したら、認識結果が変わりませんでした。

【原因】[文字認識済みのページを再認識する]チェックボックスがオフになっています。
【対策】一度文字認識をさせた画像を再認識させたい場合、以下の設定を行ってください。
① [オプション]メニューの[環境設定]をクリック
② [認識]タブをクリック(☞「[認識]タブの設定」応用編 P.89)
③ [文字認識済みのページを再認識する]チェックボックスをクリックしてオンにする
④ [OK]をクリック

●認識率が悪いです。

- 【原因1】解像度が低い(200dpi以下)場合は、認識率が低下します。
- 【対策1】「読取革命」は、解像度400dpiを推奨しています。スキャナーで読み込むときに、400dpiを基準として解像度を変更し、再度認識をお試しください。
- 【原因2】画像がかすれていたり、文字がつぶれていたりしている可能性があります。
- 【対策2】濃度設定などを変更し、スキャナーで読み込んでから、再度認識をお試しください。
- 【原因3】背景色と文字色が近いものは文字認識率が低下します。
- 【対策3】コントラストなど、画像の色調整を行うことで認識率が上がる場合があります。

認識結果編集

●2文字を1文字として認識していたので、「候補文字修正」を開き、「文字入力」に2文字入力したところ、「1文字入力してください。」とダイアログボックスが表示され、修正できません。

- 【原因】「候補文字修正」の「文字入力」では2文字以上の入力はできません。
- 【対策】「一括修正」では1文字を2文字に修正できます。修正する文字の前にカーソルをおき「一括修正」を開いて「修正後の文字」に正しい文字を入力してください。または、「文字の分離(2文字)」を行ってください。(☞「一括修正で複数の文字を一度に修正する」基本編P.114、「文字の分離をするには」応用編P.11)

●「読取革命」旧バージョンのパターン辞書は使えますか？

使用できます。パターン辞書変更、またはパターン辞書のインポートで以前のバージョンのパターン辞書ファイル(*.rcg)を指定してください。(☞「変更する」応用編P.74、☞「インポートする」応用編P.75)

●候補文字が表示されません。

英語認識モードで認識すると、候補文字は表示されません。

転送・終了

●どのようなアプリケーションに転送できますか？

本書の「仕様」基本編P.169に記載しています。また、メモ帳などのテキストエディターや、クリップボードを経由して認識結果をほかのアプリケーションへ転送することもできます。

●転送したいアプリケーションのアイコンがありません。

「読取革命」起動時に、転送先アプリケーションに登録されていないアプリケーションを追加する場合は、「オプション」メニューの「転送先アプリの設定」で、ご希望のアプリケーションを追加してください。(☞「転送先アプリの設定」応用編P.32)

●終了時に保存確認のメッセージダイアログボックスを表示しないようにできますか？

- 【原因】「認識結果を保存」・「画像を保存」チェックボックスがオンになっています。
- 【対策】保存確認のメッセージダイアログボックスが不要な場合、以下の設定を行ってください。
 - ①「オプション」メニューの「環境設定」をクリック
 - ②「認識結果・画像の保存」タブをクリック(☞「認識結果・画像の保存」タブの設定」応用編P.91)
 - ③「認識結果を保存」・「画像を保存」チェックボックスをクリックしてオフにする
 - ④「OK」をクリック

●転送後、文字などの周りにできる枠(テキストボックス)を付けないようにできますか？

Microsoft Word(本文)ファイル(*.doc/*.*.docx)、一太郎(本文)ファイル(*.jtd)形式を選択すると、文字属性の枠(テキストボックス)なしで転送できます。本文以外の転送形式では、枠は元画像のレイアウトを再現させるためのものですので、枠をはずすことはできません。レイアウトの再現が不要で、文字だけの認識結果が必要な場合は、テキスト形式、またはCSV形式を選択してください。

●Acrobatに転送後、転送先で保存ができません。

転送先のアプリケーションが「Adobe Reader」の場合は、閲覧用のため保存できません。転送先での保存が必要な場合は、Adobe Systems社の「Adobe Acrobat」をインストールし、転送先アプリケーションに指定してください。

● 図形領域が正しく転送・保存できません。

【原因】 図形領域の対象画像は連続した面や線が濃い単色で描画された線画です。写真など線画以外の画像は正しく転送・保存できない場合があります。

【対策】 図形認識の対象に不適な領域は、画像属性に変更して、転送・保存してください。

● 認識結果ウィンドウ内で、認識結果が斜体文字として表示されません。

【原因】 斜体文字は認識結果ウィンドウ内で反映されません。

【対策】 斜体文字は転送、または保存したアプリケーションウィンドウ内で反映されます。

[環境設定]-[出力]タブ-[斜体を反映する]をオンにし、認識結果を転送、または保存してください。

(☞「[出力]タブの設定」応用編 P.93)

● 翻訳ソフトウェアはインストールされているが、メニューが無効になり使用できない。

インストールされている翻訳ソフトウェアのバージョンが対象外の可能性があります。翻訳ソフトウェアの対応バージョンは、「仕様」基本編 P.169 を参照してください。

● Office 2007 形式 (.docx/.xlsx/.pptx) に転送できません。

認識結果を Office 2007 形式 (*.docx/*.xlsx/*.pptx) に転送、または保存してファイルを開く場合は、

Office 2010/2007/2003 の環境が必要です。ただし、Office 2007 形式 (*.docx/*.xlsx/*.pptx) で出力したファイルを、旧バージョンの Office で表示するには、「Word/Excel/PowerPoint 2007 ファイル形式用 Microsoft Office 互換機能パック」のインストールが必要です。互換機能パックをインストールする場合は、必ずサービスパックを最新にしてください。

その他

● 「簡単！ PDF for Office」にドラッグ & ドロップしても認識結果が保存されません。

【原因】 書き込み権限がないフォルダーからドラッグ & ドロップしています。

【対策】 ドラッグ & ドロップするファイルをデスクトップなどの書き込み可能な場所にコピーして、再度実行してください。

● 動作確認済みのスキャナーを教えてください。

本書の「動作確認済み機器」基本編 P.172 に記載しています。また、「読取革命」のホームページに、動作確認済みのスキャナーの最新情報を記載しています。(http://panasonic.co.jp/snc/pstc/products/yomikaku/index.html)

● ダイアログボックスが表示され「読取革命」が強制的に終了します。

【原因】 「読取革命」、またはパソコンの動作環境に問題があります。

【対策】 下記の内容を P3 カスタマーサポートセンターへご連絡ください。(☞「アフターサービス」基本編 P.179)

- ・現象および頻度(どのようになるかをできるだけ詳しく、また毎回発生するのかわかる)
- ・Windows の種類とバージョン

(Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista / Windows XP Home Edition / Windows XP Professional)

- ・現象が発生する直前に行った操作(できるだけ詳しく)
- ・設定(領域属性・詳細な設定など)
- ・ページ違反が出るモジュール名とアドレス([詳細]ボタンで表示)
- ・特定の画像で現象が発生するか

● シリアル番号がわかりません。

パッケージ版をご利用の場合

シリアル番号は、同梱されている「シリアル番号のご案内」に記載されています。

ダウンロード版をご利用の場合

販売店へお問い合わせください。

● デジタルカメラ監視の常駐をはずしたい。

コンピューターの管理者権限をもつユーザー名で、以下の設定を行ってください。

- ① タスクトレイの [読取革命デジタルカメラ監視] アイコンをクリック
- ② [終了] をクリック
- ③ 「スタートアップの登録を解除しますか?」というメッセージダイアログボックスの [はい] をクリック

FAQ

画像の入力

- 原稿はオリジナル(原本)を使いましょう。
FAXで受け取ったものや、何度もコピーしたものは、にじんで認識しにくい文字になっています。
- 原稿が傾かないようにスキャナーにセットし、プレビューで傾きを確認しましょう。
- 暗い原稿は、濃度を明るめに設定しましょう。
- 解像度は400dpiに設定することをお勧めします。
- デジタルカメラを使用する場合は、明るい場所で手ぶれや傾きがないように三脚などを使用して撮影しましょう。

画像修正

- 傾いている画像は[傾き補正]を行いましょ。う。
[傾き補正]では、-45.0~+45.0度の間で補正が行われます。それ以上傾いている画像は[回転]を行ってから、[傾き補正]を実行してください。
- 複数ページの画像を一括で[回転]、[傾き補正]する場合は、[一括画像編集]を実行しましょう。
(☞「一括画像編集」応用編P.64)
- 汚れている画像は[ノイズ除去]できれいにしましょう。(☞「ノイズ除去」基本編P.90)
- 必要のない画像は消去しましょう。
必要のない画像を残したままでは、認識処理に余計な時間がかかるうえ、認識結果の編集も煩雑になります。
- ルビが付いている文字はルビを消しましょう。
ルビが付いていると、ルビも含めて1つの文字として認識してしまいます。
- 黒地に白の文字で書かれている画像は、[色の反転]を行いましょ。う。(☞「色の反転」応用編P.53)
- 網掛けをしている文字は、その部分に対して[ノイズ除去]を行って、網掛けを除去しましょう。

表領域の編集

- 表領域の罫線が正しく認識されない場合は、[表編集モード]で罫線を追加・削除できます。また、[自動罫線追加]を利用すると、選択した領域を表領域として強制的に認識させることができ、セルの色の違いを認識して自動的に罫線を挿入します。誤認識される表領域は、[作図モード]で、あらかじめ画像に直線や長方形を追加しておくとうべりです。
(☞「表を編集する」応用編P.13、「自動罫線追加」応用編P.14、「作図」応用編P.67)

領域枠の設定

- 領域枠の属性は正しく設定しましょ。う。
表領域を文字領域と設定していたり、横書きを縦書きと設定していたりすると、正しく認識できません。
- 日本語文書と英文書の領域枠を分けましょ。う。
英文書を認識する場合は、[英語認識モード]にした方が速く正確に認識できます。
- 罫線を含む文書は、罫線をはずすように領域枠を設定するか、表領域として設定しましょ。う。
罫線を含んだまま文字領域として設定すると、罫線を文字の一部として認識してしまう場合があります。

その他

- 見出しは、[見出し認識]を使用して認識しましょ。う。
背景に模様を使用した見出しに[文字認識]を実行した場合、誤認識の原因となります。
(☞「見出し認識」応用編P.15)
- 誤認識の多い文字は[パターン辞書]に登録しましょ。う。
(☞「パターン辞書」応用編P.72)
- よく出てくる固有名詞や旧漢字の単語は[単語辞書]に登録しましょ。う。
(☞「単語辞書」応用編P.76)

付録

エラー・メッセージ.....	160
仕様	169
出力形式の詳細	171
動作環境	172
動作確認済み機器.....	172
認識対象文字一覧.....	173
用語解説	176
アフターサービス.....	179
索引	181
製品について	183

エラー・メッセージ

エラーメッセージが表示された場合は、以下の表をご覧になり、対策を実行してください。対策を実行しても解決しない場合は、パナソニック P3 カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。(☎「アフターサービス」基本編 P.179)

■ 読取革命 エラー・メッセージ

	メッセージ	原因	対策	
英 数	-100～100 までの値を入力してください。	シャープネス、明るさ、コントラストのいずれかで、範囲が正しく設定されていません。	範囲を正しく設定してください。	
	-45.0～45.0 までの値を入力してください。	かんたん認識の傾き補正、画像の手動傾き補正、画像の手動見開き補正、自動画像補正の傾き補正、傾斜のいずれかで、角度の範囲が正しく設定されていません。	範囲を正しく設定してください。	
	0.01～4.99 までの値を入力してください。	ガンマ補正で、範囲が正しく設定されていません。	範囲を正しく設定してください。	
	1～7136 までの値を入力してください。	リサイズの値が正しく設定されていません。	範囲内で正しい値を入力してください。	
	1～8 までの値を入力してください。	ページ数の値が正しく設定されていません。	範囲内で正しい値を入力してください。	
	1 文字入力してください。	2 文字以上の文字を入力しようとしています。	入力する文字数を 1 文字にしてください。	
	20 文字以内で入力してください。	入力文字数が 20 文字を超えています。	入力する文字数を 20 文字以内にしてください。	
	50～2400 までの整数を入力してください。	解像度の範囲が正しく設定されていません。	解像度の範囲を正しく設定してください。	
	100 文字以内で入力してください。	101 文字以上の文字を入力しようとしています。	入力する文字数を 100 文字以内にしてください。	
	1000 ページ以上の入力できません。	1000 ページ以上の画像を入力しようとしています。	999 ページ以内で画像の入力をしてください。	
	OLE の初期化に失敗しました。OLE ライブラリーのバージョンが正しいことを確認してください。	本ソフトウェアの動作に必要な環境が整っていません。	本ソフトウェアを再度インストールしてください。	
	PDF ファイルの解析に失敗しました。	解析に対応していない形式の PDF ファイルです。	解析に対応している形式の PDF ファイルを選択してください。	
	あ 行	アクセス権限がないため、アプリケーションを起動できません。	作業フォルダーへのアクセス権限がないユーザーで起動しようとしています。	アクセス権限を追加するか、コンピューターの管理者権限をもつユーザーで実行してください。
		アップデートファイルの保存に失敗しました。	本ソフトウェアをインストールしたハードディスクドライブの空き容量が不足しています。	本ソフトウェアをインストールしたハードディスクドライブから不要なファイルを削除してください。
アップロードできませんでした。		毎月アップロードできる上限サイズを超えました。	Evernote 会員のアカウントを取得するか、次月に再度実行してください。	
一部の画像ファイルの復旧に失敗しました。		作業ファイルが壊れているため、一部の画像ファイルの読み込みに失敗しました。	読み込みに失敗した画像ファイルを読み込みなおして、再度作業を行ってください。	
印刷範囲が正しくありません。		印刷範囲が正しく設定されていません。	印刷範囲を正しく設定してください。	
インターネットに接続できませんでした。		インターネットに接続されていないか、インターネット接続の設定に問題がある可能性があります。	インターネット接続の設定を確認し、インターネットに接続できる環境で再度実行してください。	
上書きしようとしているファイルが読み取り専用のため、保存できません。		読み取り専用のファイルに上書き保存しようとしています。	別のファイル名を指定するか、読み取り専用を解除して保存してください。	
お気に入りがありません。	「ファイル管理革命」にお気に入りが存在しません。	「ファイル管理革命」にお気に入りを作成して、再度実行してください。		

	メッセージ	原因	対策
か 行	解像度が異なるため、結合できません。	指定した2つの画像ファイルは、解像度が異なります。	同じ解像度の画像ファイルを指定してください。
	確認用パスワードを入力してください。	[パスワード確認]にパスワードが入力されていません。	[文書を開くパスワード]に入力したパスワードを[パスワード確認]に入力してください。
	画像が大きすぎます。	最大サイズ(A4版/600dpi)より大きな画像を読み込もうとしています。	最大サイズ(A4版/600dpi)以下の原稿および解像度で画像を読み込んでください。
	画像が小さいか、極端に細長いため分割できません。	画像が小さいか、極端に細長いため分割できません。	大きな画像か、縦横均等な画像を使用してください。
	画像が入力されていません。	入力済みの画像ファイルがありません。	画像ファイルを読み込むか、画像の入力方法を変更してください。
	画像ファイルが選択されていません。	入門ウィザードの画像入力で画像ファイルが選択されていません。	画像ファイルを選択するか、画像の入力方法を変更してください。
	画像ファイルが見つかりません。	選択された画像ファイルが存在しません。	画像ファイル名、フォルダー名を確認してください。
	画面の色の設定を High Color(16ビット)以上に設定してください。	画面の色の設定が High Color(16ビット)未満に設定されています。	コントロールパネルの画面のプロパティから、画面の色の設定を High Color(16ビット)以上の色に変更してください。
	関連づけられたアプリケーションがありません。	指定されたアプリケーションが見つかりません。または、メモリー不足の可能性があります。	指定されたアプリケーションが正しくインストールされているか確認してください。メモリー不足の場合は、不要なアプリケーションを終了し、再度実行してください。
	罫線が密集しているため認識できません。	表の罫線間隔が狭いため文字認識できません。1cm中に20本以上の罫線が存在するとみなした場合に表示されます。	表領域を複数の表領域に分割して認識してください。表領域を分割してもメッセージが表示される場合は、その表領域の文字認識はできません。
	罫線を追加できません。 セルの行数または列数の上限を超えました。	表の行数、または列数が上限98を超えました。	表の行数、または列数を98以内にしてください。
	現在の起動モードでは実行できません。	Windows XPの「別のユーザーとして実行」ダイアログボックスにある[許可されていないプログラムの動作からコンピュータとデータを保護する]チェックボックスをオンにした状態で、本ソフトウェアを起動しようとした。	Windows XPの「別のユーザーとして実行」ダイアログボックスにある[許可されていないプログラムの動作からコンピュータとデータを保護する]チェックボックスをオフにして、本ソフトウェアを起動してください。
	さ 行	この画像は傾きが補正できません。 手動で傾き補正をしてください。	領域が複雑なため、画像の傾きを補正できません。
この形式の画像は読めません。		スキャナーの色設定が48bitに設定されています。	スキャナーの色設定を48bit以外に設定してください。
この形式の画像ファイルは読めません。		画像ファイルが壊れているか、本ソフトウェアで対応していない形式の画像ファイルを読み込もうとしています。	対応している画像ファイルを読み込んでください。
この形式のテンプレートは読めません。		本ソフトウェアで対応していない形式のテンプレートを読み込もうとしています。	本ソフトウェアで作成したテンプレートを読み込んでください。
この文字は登録できません。		ユーザー辞書に登録しようとした文字列に、非JISコードの文字や記号、または空白が含まれています。	非JISコードの文字や記号、空白は入力しないでください。
作業用ファイルの保存に失敗しました。 不要なファイルを削除してください。		本ソフトウェアをインストールしたハードディスクドライブの空き容量が不足しています。	本ソフトウェアをインストールしたハードディスクドライブから不要なファイルを削除してください。
作業用ファイルの読み込みに失敗しました。		作業用ファイルに異常があります。	本ソフトウェアを再起動してください。
辞書が見つかりません。	インストールされた専門用語辞書が、破棄されてしまいました。	本ソフトウェアを再度インストールしてください。	

	メッセージ	原因	対策
さ 行	辞書選択に失敗しました。	選択したファイルが辞書ファイルでないか、辞書ファイルに異常があります。	異なるファイルを選択するか、選択したファイルを削除してください。
	辞書の読み込みに失敗しました。	辞書ファイルに異常があります。	本ソフトウェアを再度インストールしてください。
	システム単語辞書またはユーザー単語辞書に登録済みです。	登録済みの単語を再び登録しようとしています。	同じ単語は、登録できません。
	指定された名称は既に存在します。別の名称を指定してください。	指定された名称は既存の認識方法の名称として使用されています。	別の名称を入力してください。
	指定されたファイルは既に存在します。	「ファイル管理革命」に同じ名前のファイルが既に登録されています。	別の名前を指定して、保存してください。
	指定したアプリケーションへの転送に失敗しました。	指定したアプリケーションへの転送中にエラーが発生しました。または、認識結果がないか、メモリー不足の可能性ががあります。	指定されたアプリケーションが、正しくインストールされているか確認してください。また、認識結果があるページを転送してください。メモリー不足の場合は、不要なアプリケーションを終了し、再度実行してください。
	指定のアプリケーションは既に登録されています。	指定したアプリケーションは転送先アプリケーションとして既に登録されています。	アプリケーションの保存先パスを確認してください。
	自動アップデートは管理者権限で行ってください。	制限ユーザーで自動アップデートを実行しようとしています。	管理者権限をもつユーザーで実行してください。
	自動表罫線追加に失敗しました。	表が複雑すぎます。	選択範囲を小さくして、再度実行してください。
	修正後の文字が入力されていません。	「一括修正」ダイアログボックスの[修正後の文字]テキストボックスに文字を入力していません。	[修正後の文字]テキストボックスに修正後の文字を入力して[OK]をクリックしてください。
	常駐タスクの設定保存に失敗しました。	[読取革命デジタルカメラ監視]の登録に失敗しました。	本ソフトウェアを再度インストールしてください。
	初期化に失敗しました。	実行環境の初期化に失敗しました。	本ソフトウェアを再度インストールしてください。
	処理に必要なディスクの空き容量が不足しています。不要なファイルを削除して再実行してください。	本ソフトウェアをインストールしたハードディスクドライブの空き容量が不足しています。	本ソフトウェアをインストールしたハードディスクドライブから不要なファイルを削除してください。
	た 行	スキャナーが正しく接続されているか、確認してください。	スキャナーでエラーが発生しました。
既にアプリケーションが起動されています。		本ソフトウェアを多重起動しようとしています。	本ソフトウェアは多重起動できません。
正しい値を入力してください。入力値の範囲は、2～400%です。		表示倍率の範囲が正しくありません。	表示倍率の範囲を正しく設定してください。
単語辞書の保存に失敗しました。		本ソフトウェアをインストールしたハードディスクドライブの空き容量が不足しています。	本ソフトウェアをインストールしたハードディスクドライブから不要なファイルを削除してください。
通信中にエラーが発生しました。しばらくして再度実行してください。お急ぎの場合は、ホームページより手動でアップデートファイルをダウンロードしてください。		アップデートの確認中にタイムアウトが発生したか、インターネット接続が切断された可能性があります。	インターネットに接続されているか確認し、しばらくたってから再度自動アップデートを実行してください。解決しない場合は、ホームページからアップデートファイルをダウンロードし、アップデートしてください。
ディスクの空き容量が不足しています。不要なファイルを削除してください。		本ソフトウェアをインストールしたハードディスクドライブの空き容量が不足しています。	本ソフトウェアをインストールしたハードディスクドライブから不要なファイルを削除してください。
データを転送できませんでした。		ほかのアプリケーションがクリップボードを使用中のため、認識結果の転送ができませんでした。	実行中のほかのアプリケーションを閉じ、再度実行してください。
転送先アプリケーションを指定してください。		かんたん認識の結果保存で転送先アプリケーションが指定されていません。	転送先アプリケーションを指定するか、結果保存の方法を変更してください。
転送範囲が正しくありません。		転送範囲が正しく設定されていません。	転送範囲を正しく設定してください。

	メッセージ	原因	対策
た 行	テンプレートが見つかりません。	指定したテンプレートが見つかりません。	テンプレートの名前、フォルダー名を確認してください。
	テンプレートを指定してください。	かんたん認識のレイアウト認識でテンプレートファイルが指定されていません。	テンプレートファイルを指定するか、レイアウト認識の方法を変更してください。
な 行	認識結果がないため、印刷できません。	認識結果の印刷指定ページに認識結果がないため、印刷できません。	認識を行ったあと、認識結果の印刷を行ってください。
	認識結果の保存に失敗しました。	指定した形式の保存中にエラーが発生しました。または、メモリー不足の可能性があります。	指定されたアプリケーションが、正しくインストールされているか確認してください。メモリー不足の場合は、不要なアプリケーションを終了し、再度実行してください。
	認識した領域がないので文字入力できません。	認識した領域がない場合、文字入力できません。	認識を行ったあと、文字入力を行ってください。
	認識できません。	認識対象領域内に文字以外の画像が含まれています。または、手書き文字認識に指定した領域枠が大きすぎます。	正しく文字領域を設定し、認識を行ってください。または、手書き文字認識に指定した領域枠を小さくし、再度認識してください。
	認識方法登録数の上限を超えました。	認識方法を 100 件以上登録しようとしています。	登録可能な認識方法は 100 件までです。
	認識方法ファイルが壊れているか不正です。	指定された認識方法ファイルが壊れているか、正しい認識方法ファイルではありません。	正しい認識方法ファイルを指定し、再度実行してください。
	ノートを追加できませんでした。	アップロードをしようとしたファイルがノートの上限サイズを超えています。	Evernote 会員のアカウントを取得するか、アップロードするファイルサイズを減らしてから、再度実行してください。
は 行	パスワードが一致しません。	[文書を開くパスワード]と[パスワード確認]に入力したパスワードが一致していません。	[文書を開くパスワード]と[パスワード確認]は同じパスワードを入力してください。
	パスワードは半角英数字 1～32 文字以内で入力してください。	文字数が 33 文字以上入力されているか、半角英数字以外が入力されています。	半角英数字 32 文字以内で入力してください。
	パターン辞書の保存に失敗しました。	本ソフトウェアをインストールしたハードディスクドライブの空き容量が不足しています。	本ソフトウェアをインストールしたハードディスクドライブから不要なファイルを削除してください。
	表が複雑なため認識できません。	表の構造が複雑すぎるため認識できません。	表領域を複数の表領域に分割して認識してください。表領域を分割しても、メッセージが表示される場合は、文字認識できません。
	ファイル管理革命がインストールされていません。	ファイル管理革命連携には「ファイル管理革命」が必要です。	「ファイル管理革命」をインストール後、再度実行してください。
	ファイルの保存に失敗しました。	保存先のハードディスクドライブの空き容量が不足しています。	保存先のハードディスクドライブから不要なファイルを削除してください。
	ファイルの読み込みに失敗しました。	ファイルに異常があります。	正常なファイルを読み込んでください。
	ファイル名が不正です。 ファイル名先頭のスペースを削除して再実行してください。	先頭にスペースがあるファイル名はノートに登録できません。	ファイル名先頭のスペースを削除してから、再度実行してください。
	ファイル名には次の文字は使えません。 ¥/:*?"<>	「¥/:*?"<> 」は使用できません。	「¥/:*?"<> 」は使用しないでください。
	ブラウザの起動に失敗しました。	WWW ブラウザーが正常にインストールされていません。	WWW ブラウザーをインストールしてください。
	分離線の上限を超えました。 100 個以内にしてください。	文字の分離線の上限 100 個を超えました。	文字の分離線を 100 個以内にしてください。
	ページ数が 1000 ページ以上になるため、実行できません。	実行後のページ数が 1000 ページ以上になります。	実行後のページ数が 999 ページ以内になるようにしてください。
	ヘルプの起動に失敗しました。	表示するヘルプのページが見つかりませんでした。または、ヘルプファイルが見つかりませんでした。	[ヘルプ]メニューからヘルプを表示してください。または、本ソフトウェアを再度インストールしてください。
	保存するファイル名を指定してください。	かんたん認識の認識結果で保存するファイル名が指定されていません。	保存するファイル名を指定するか、結果保存の方法を変更してください。

	メッセージ	原因	対策
は 行	保存範囲が正しくありません。	画像ファイル、または認識結果保存で、保存範囲に存在しないページ番号を設定しています。	保存範囲を正しく設定してください。
ま 行	メモリーが足りません。 他のアプリケーションを閉じてください。	処理を実行するための十分なメモリーがありません。	不要なアプリケーションを終了し、再度実行してください。 解決しない場合は、仮想メモリーを増やすか、メモリーを増設してください。 (Windows やご使用のパソコンの説明書を参照してください)
	文字が多すぎます。	文字が多すぎるため認識できません。	文字領域を複数の文字領域に分割して認識してください。
	文字サイズが大きすぎます。	パターン辞書に登録できる文字画像サイズの上限を超えています。 または、文字の分離・結合をしようとしている文字画像サイズが大きすぎます。	60 ポイント(縦・横が 21mm、400dpi の場合)以下の文字パターンを登録してください。 または、選択している範囲の文字数を少なくし、再度実行してください。
や 行	ユーザー辞書登録数の上限を超えました。	1つのユーザー辞書に登録できるパターン数、または単語数の上限を超えました。	ユーザー辞書登録数の上限は、単語辞書が 10,000、パターン辞書が 10,000 です。
	ユーザー定義文字中に認識できない文字があります。	認識できない文字を指定しているため、登録できません。	認識できる文字を指定してください。
	予期しないエラーが発生しました。	認識処理中に問題が発生し、処理を中止しました。	本ソフトウェアを一度終了し、再度実行してください。
ら 行	領域が複雑なためレイアウトが認識できません。	領域が複雑なためレイアウトが自動認識できません。	手動で領域枠を設定してください。
	領域中に文字データがありません。	かんたん認識、または入門ウィザードで読み込んだ画像に領域がない画像が含まれています。	領域のない画像を削除し、かんたん認識、または入門ウィザードを実行してください。
	レイアウト編集の起動に失敗しました。	本ソフトウェアの動作に必要な環境が整っていません。	本ソフトウェアを再度インストールしてください。

■ レイアウト編集 エラー・メッセージ

	メッセージ	原因	対策
か 行	起動に失敗しました。	直接「レイアウト編集」が起動されました。または、「かんたん認識」からのファイルの読み込みに失敗しているか、認識エンジンの初期化に失敗しています。	「レイアウト編集」を自動的に起動するには、「かんたん認識」から実行する必要があります。または、「読取革命」を再度インストールしてください。
	現在の起動モードでは実行できません。	Windows XP の「別のユーザーとして実行」ダイアログボックスにある [許可されていないプログラムの動作からコンピュータとデータを保護する] チェックボックスをオンにした状態で、「レイアウト編集」を起動しようとした。	Windows XP の「別のユーザーとして実行」ダイアログボックスにある [許可されていないプログラムの動作からコンピュータとデータを保護する] チェックボックスをオフにして、「レイアウト編集」を起動してください。
	これ以上領域を作成することはできません。	作成できる領域枠は、1500 個までです。	領域枠の数が 1500 個以内になるようにレイアウトを編集してください。
さ 行	処理に必要なディスクの空き容量が不足しています。 不要なファイルを削除して再実行してください。	「読取革命」をインストールしたハードディスクドライブの空き容量が不足しています。	「読取革命」をインストールしたハードディスクドライブから不要なファイルを削除してください。
は 行	表が複雑なため認識できません。	表の構造が複雑すぎるため認識できません。	表領域を複数の表領域に分割して認識してください。 表領域を分割しても、メッセージが表示される場合は、文字認識できません。
	ヘルプの起動に失敗しました。	表示するヘルプのページが見つかりませんでした。または、ヘルプファイルが見つかりませんでした。	[ヘルプ]メニューからヘルプを表示してください。または、「読取革命」を再度インストールしてください。
	編集中はレイアウト編集を終了できません。	編集中に「レイアウト編集」を終了しようとした。編集中は、「レイアウト編集」を終了できません。	編集を終了、またはキャンセルし、メイン画面から「レイアウト編集」を終了してください。

	メッセージ	原因	対策
ま 行	メモリーが足りません。 他のアプリケーションを閉じてく ださい。	処理を実行するための十分なメモリーがあ りません。	不要なアプリケーションを終了し、再度実行 してください。 解決しない場合は、仮想メモリーを増やすか、 メモリーを増設してください。 (Windows やご使用のパソコンの説明書を参 照してください)
や 行	予期しないエラーが発生しました。	認識処理中に問題が発生し、処理を中止し ました。	「レイアウト編集」を一度終了し、再度実 行してください。
ら 行	領域が複雑なためレイアウトが認 識できません。	領域が複雑なためレイアウトが自動認識で きません。	手動で領域枠を設定してください。

■アドインの設定と解除 エラー・メッセージ

	メッセージ	原因	対策
英 数	Acrobat アドインを設定または解 除できません。 管理者ユーザー (Administrator) で行ってください。	Acrobat のアドイン設定と解除は、制限 ユーザーでは行えません。	コンピューターの管理者権限をもつユー ザーで再度実行してください。
	Microsoft Excel の起動に失敗しま した。	お使いの環境が不安定な状態になっている 可能性があります。	コンピューターを再起動してください。
	Microsoft PowerPoint の起動に失 敗しました。	お使いの環境が不安定な状態になっている 可能性があります。	コンピューターを再起動してください。
	Microsoft Word の起動に失敗し ました。	お使いの環境が不安定な状態になっている 可能性があります。	コンピューターを再起動してください。
	OLE の初期化に失敗しました。 OLE ライブラリーのバージョンが 正しいことを確認してください。	「アドインの設定と解除」の動作に必要な 環境が整っていません。	「読取革命」を再度インストールしてくだ さい。
さ 行	既にアプリケーションが起動され ています。	「アドインの設定と解除」を多重起動しよ うとしています。	「アドインの設定と解除」は多重起動でき ません。
や 行	読取革命が見つかりません。	「読取革命」が起動できませんでした。	「読取革命」を再度インストールしてくだ さい。
	読取革命の起動に失敗しました。	「読取革命」が起動できませんでした。	「読取革命」を再度インストールしてくだ さい。
	読取革命の情報が見つかりませ ん。	「読取革命」が起動できませんでした。	「読取革命」を再度インストールしてくだ さい。

■クリップボード OCR エラー・メッセージ

	メッセージ	原因	対策
さ 行	既にアプリケーションが起動され ています。	「クリップボード OCR」を多重起動しよ うとしています。	「クリップボード OCR」は多重起動できま せん。
は 行	ブラウザの起動に失敗しまし た。 ヘルプの起動に失敗しました。	WWW ブラウザーが正常にインストールさ れていません。 表示するヘルプのページが見つかりませ んでした。または、ヘルプファイルが見つ かりませんでした。	WWW ブラウザーをインストールしてくだ さい。 [ヘルプ]メニューからヘルプを表示して ください。または、「読取革命」を再度イ ンストールしてください。
や 行	予期しないエラーが発生しました。	認識処理中に問題が発生し、処理を中止し ました。	「クリップボード OCR」を一度終了し、再 度実行してください。

■フォルダーウォッチャー エラー・メッセージ

	メッセージ	原因	対策	
あ 行	アクセス権限がないため、アプリケーションを起動できません。	作業フォルダーへのアクセス権限がないユーザーで起動しようとしています。	アクセス権限を追加するか、コンピューターの管理者権限をもつユーザーで実行してください。	
か 行	監視フォルダーに指定されたパスが見つかりません。	監視フォルダーに指定されたフォルダーが見つかりません。	「環境設定」で存在するフォルダーを指定してください。	
	監視フォルダーに指定されたフォルダーへの書き込み権限がありません。 アクセス権の取得については管理者に相談してください。	制限ユーザーで、監視フォルダーに書き込み不可のフォルダーを指定しました。	書き込み可能なフォルダーを指定してください。	
	監視フォルダーのパスが長すぎます。 監視フォルダーを指定してください。	指定可能なパスの長さを超えています。 監視フォルダーが指定されていません。	指定可能な長さの範囲で指定してください。 「環境設定」で監視フォルダーを指定してください。	
	実行中にエラーが発生しています。 確認してください。	認識処理中に問題が発生し、処理を中止しました。	状態ウィンドウに表示されるログを確認し、問題を解決してください。	
さ 行	出力フォルダーに指定されたパスが見つかりません。	出力フォルダーに指定されたフォルダーが存在しません。	「環境設定」で、存在するフォルダーを指定してください。	
	出力フォルダーに指定されたフォルダーへの書き込み権限がありません。 アクセス権の取得については管理者に相談してください。	制限ユーザーで、出力フォルダーに書き込み不可のフォルダーを指定しました。	書き込み可能なフォルダーを指定してください。	
	出力フォルダーのパスが長すぎます。 出力フォルダーを指定してください。	指定可能なパスの長さを超えています。 出力フォルダーが指定されていません。	指定可能な長さの範囲で指定してください。 「環境設定」で出力フォルダーを指定してください。	
	既にアプリケーションが起動されています。	「フォルダーウォッチャー」を多重起動しようとしています。	「フォルダーウォッチャー」は多重起動できません。	
	既に出力するファイルが存在しています。	「環境設定」-[ファイル名設定]タブで、[ファイル名に数値をつけて別名にする]を選択し、重複するファイルが999を超えたため数値が付けられませんでした。	重複するファイルを削除、または移動して再度実行してください。	
	前回実行中にエラーが発生しています。 確認してください。	前回の実行時に問題が発生し、変換処理中に「フォルダーウォッチャー」が終了している可能性があります。	状態ウィンドウに表示されるログを確認し、問題を解決してください。	
	た 行	ディスクの空き容量が不足しています。 不要なファイルを削除してください。	「読取革命」をインストールしたハードディスクドライブ、または出力フォルダーに指定されているハードディスクドライブの空き容量が不足しています。	「読取革命」をインストールしたハードディスクドライブ、または出力フォルダーに指定されているハードディスクドライブから不要なファイルを削除してください。
		ディスクの空き容量が不足しています。 不要なファイルを削除してください。 監視を中断しました。	空き容量が不足したため、監視処理を中止しました。	出力フォルダーに指定されているハードディスクドライブから不要なファイルを削除してください。
ネットワーク上のフォルダーは指定できません。		ネットワーク上のフォルダーが指定されませんでした。	ネットワーク上のフォルダーは指定できません。パソコン内のフォルダーを指定してください。	
は 行	フォルダー監視間隔には1～60までの数字を指定してください。	フォルダー監視間隔に1～60以外の数値、または文字列が指定されています。	1～60までの半角数字を入力してください。	
	フォルダー監視間隔を指定してください。	フォルダー監視間隔が指定されていません。	「環境設定」で、フォルダー監視間隔を指定してください。	
	ヘルプの起動に失敗しました。	表示するヘルプのページが見つかりませんでした。または、ヘルプファイルが見つかりませんでした。	[ヘルプ]メニューからヘルプを表示してください。または、「読取革命」を再度インストールしてください。	

	メッセージ	原因	対策
ま 行	メモリーが足りません。 他のアプリケーションを閉じてく ださい。	処理を実行するための十分なメモリーがあ りません。	不要なアプリケーションを終了し、再度実 行してください。 解決しない場合は、仮想メモリーを増やす か、メモリーを増設してください。 (Windows やご使用のパソコンの説明書を 参照してください。)
	メモリーが足りません。 他のアプリケーションを閉じてく ださい。 監視を中断しました。	メモリー不足のため監視処理を中止しまし た。	不要なアプリケーションを終了し、再度実 行してください。
や 行	予期しないエラーが発生しました。	認識処理中に問題が発生し、処理を中止し ました。	「フォルダーウォッチャー」を一度終了し、 再度実行してください。

■簡単！ PDF 変換 エラー・メッセージ

	メッセージ	原因	対策
英 数	1000 ページ以上の PDF ファイル は作成できません。	1000 ページ以上の画像ファイルを PDF ファイルに変換しようとしています。	999 ページ以内で画像ファイルを変換して ください。
	PDF ファイルへの変換に失敗しま した。	「読取革命」をインストールしたハード ディスクドライブの空き容量が不足してい ます。または、メモリー不足の可能性があ ります。	「読取革命」をインストールしたハード ディスクドライブから不要なファイルを削 除してください。メモリー不足の場合は、 不要なアプリケーションを終了し、再度実 行してください。
か 行	現在の起動モードでは実行できま せん。	Windows XP の「別のユーザーとして実行」 ダイアログボックスにある [許可されてい ないプログラムの動作からコンピュータと データを保護する] チェックボックスをオン にした状態で、「簡単！ PDF 変換設定」ダイ アログボックスを起動しようとしてしまし た。	Windows XP の「別のユーザーとして実行」 ダイアログボックスにある [許可されてい ないプログラムの動作からコンピュータと データを保護する] チェックボックスをオ フにして、「簡単！ PDF 変換設定」ダイア ログボックスを起動してください。
	この形式の画像ファイルは読めま せん。	画像ファイルが壊れているか、「簡単！ PDF 変換」で対応していない形式の画像 ファイルを読み込もうとしています。	対応している画像ファイルを読み込んでく ださい。
さ 行	処理中です。 処理が終了後、再度実行してくださ い。	前回の交換処理中に、再度変換が実行され ました。	前回の交換処理が終了してから、再度変換 を実行してください。
	既にアプリケーションが起動され ています。	「簡単！ PDF 変換設定」ダイアログボック スを多重起動しようとしています。	「簡単！ PDF 変換設定」ダイアログボック スは多重起動できません。
た 行	ディスクの空き容量が不足してい ます。 不要なファイルを削除してください。	「読取革命」をインストールしたハード ディスクドライブの空き容量が不足してい ます。	「読取革命」をインストールしたハード ディスクドライブから不要なファイルを削 除してください。
は 行	ファイルの保存ができませんでした。 画像ファイルをデスクトップなど の書き込み可能な場所にコピーし てから変換を行ってください。	保存先のフォルダーが書き込み不可になっ ているか、保存先のハードディスクドライ ブの空き容量が不足している可能性があ ります。	保存先のフォルダーを書き込み可能な状態 に設定してください。または、保存先のハ ードディスクドライブから不要なファイル を削除してください。
	ヘルプの起動に失敗しました。	表示するヘルプのページが見つかりませ んでした。または、ヘルプファイルが見つ かりませんでした。	[ヘルプ]メニューからヘルプを表示して ください。または、「読取革命」を再度イ ンストールしてください。
ま 行	メモリーが足りません。 他のアプリケーションを閉じてく ださい。	処理を実行するための十分なメモリーがあ りません。	不要なアプリケーションを終了し、再度実 行してください。 解決しない場合は、仮想メモリーを増やす か、メモリーを増設してください。 (Windows やご使用のパソコンの説明書を 参照してください。)
や 行	予期しないエラーが発生しました。	認識処理中に問題が発生し、処理を中止し ました。	再度変換を実行してください。

このページは空白ページです。

仕様

入力画像	解像度	50～2,400dpi (400dpi を推奨)			
	原稿サイズ	・最大 A4 版 (600dpi の場合) ・最大 A3 版 (400dpi の場合)			
画像編集	ファイル書式	<ul style="list-style-type: none"> ・ TIFF 形式 (非圧縮 /G3 圧縮 /G4 圧縮 /JPEG 圧縮 /Exif/PackBits)(* .tif/* .tiff) ・ ペイントブラシファイル (* .dcm/* .pcx) ・ Kodak 形式 (* .fpx/* .pcd) ・ Icon および Cursor ファイル (* .ico/* .cur/* .ani) ・ Windows メタファイル (* .wmf/* .emf) ・ XpicMap(* .xpm) ・ Windows AVI(* .avi) ・ Dr. Halo(* .cut) ・ Portable Network Graphics(* .png) ・ Encapsulated PostScript(* .eps) ・ WordPerfect(* .wpg) ・ XBit Map(* .xbm) ・ Silicon Graphics Image(* .sgi) ・ Adobe PDF ファイル(* .pdf) ・ Graphic Interchange Format(* .gif) ・ DocuWorks バインダー文書(* .xbd)※ ※ * .xdw/* .xbd ファイルを入力する場合は、別途、富士ゼロックス社の DocuWorks 6 をインストールする必要があります。 			
	画質調整	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消去 ・ 傾き補正 ・ シャープネス ・ 長方形化 ・ 消しゴム 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 色の反転 ・ 回転 ・ エッジ強調 ・ カラーフィルター ・ 貼り付け 	<ul style="list-style-type: none"> ・ トリミング ・ 上下反転 ・ 減色 ・ カラードロップアウト ・ ノイズ除去 ・ 左右反転 ・ 明るさ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コピー ・ 傾斜 ・ コントラスト ・ 一括画像編集 ・ 切り取り ・ リサイズ ・ ガンマ補正 ・ 作図
日本語 文字認識	対象書体	マルチフォント (明朝体, ゴシック体, 教科書体, ワープロ体, 新聞文字 など斜体も可)			
	対象文字種	約 6,800 字 英字, 数字, ひらがな, カタカナ, JIS 記号 (一部) 168 字, ギリシャ文字 (一部) 32 字, JIS 第 1 水準漢字, JIS 第 2 水準漢字			
	対象文字 サイズ	6～60 ポイント (400dpi の場合)			
	単語辞書	約 180,000 語 (ユーザー登録も可能)			
	専門用語辞書	ジャンル	単語数	ジャンル	単語数
英語 文字認識	対象書体	マルチフォント (Century, Helvetica, Courier など斜体も可)			
レイアウト認識	対象文字種	101 字 英字, 数字, 記号			
	対象文字 サイズ	6～60 ポイント (400dpi の場合)			
表認識	対象文書	印刷文書			
	抽出する領域	文字領域 (縦書き / 横書きを自動判定)、表領域 (縦書き / 横書き)、図形、画像、手書き (規定値に設定した場合)			
表認識	対象とする表	縦罫線と横罫線からなる表			
	対象線種	実線類, 点線類, 破線類, 鎖線類			
	行列の最大値	98 行 × 98 列 (セル数 = 9,604 個)			

図形認識	対象とする画像	連続した面、および線が濃い単色で描画された線画		
	対象線種	直線、ベジェ曲線、円弧		
	出力色	輪郭線の内部、および中心線ごとに1色		
	線幅	線幅の出力は1種類(線幅の再現は行わない)		
QRコード	対象とするモデル	モデル2		
	対象とするバージョン	2～6		
	エラー訂正レベル	L/M/Q/H		
	モード	数字/英数字/8ビットバイト/漢字/混在		
	漢字	シフト JIS 0x8140～0x9ffc, 0xe040～0xebbf		
	モジュールサイズ	7ピクセル以上		
	解像度	400dpiを推奨		
認識結果出力形式	転送	Microsoft® Word 2010 / 2007 / 2003 Microsoft® Excel® 2010 / 2007 / 2003 Microsoft® PowerPoint® 2010 / 2007 / 2003 一太郎®2012 / 2011 / 2010 Adobe® Reader® 10 / 9 / 8, Adobe® Acrobat® 10 / 9 / 8 XPS Viewer Essentials Pack 1.0 Internet Explorer® 7 / 8 / 9(XML は非対応) Firefox 3.0 以上(XML は非対応) メモ帳などのテキストエディター その他(クリップボードに出力)		
	クリップボード経由	Windows® に対応したアプリケーション		
	ファイル書式	TXT, CSV, RTF, JTD (一太郎®2012 / 2011 / 2010), DOC (Word 2007 / 2003), DOCX (Word 2010 / 2007), XLS (Excel® 2007 / 2003), XLSX (Excel® 2010 / 2007), PPT (PowerPoint® 2007 / 2003), PPTX (PowerPoint® 2010 / 2007), HTML, XML, PDF, XPS		
	ファイル書式「フォルダーウォッチャー」	TXT, CSV, RTF, HTML, XML, JTD (一太郎®2012 / 2011 / 2010), DOC (Word 2007 / 2003), XLS (Excel® 2007 / 2003), PPT (PowerPoint® 2007 / 2003), PDF		
	ファイル書式「簡単! PDF for Office」	TXT, DOC (Word 2007 / 2003), XLS (Excel® 2007 / 2003), BMP, JPEG		
画像出力形式	ファイル書式	• BMP 形式 • PCX 形式	• TIFF 形式 (非圧縮 / G4 圧縮 / JPEG 圧縮) • DCX 形式	• JPEG 形式
アドイン対象アプリケーション	Microsoft® Word 2010 ※ / 2007 / 2003 Microsoft® Excel® 2010※ / 2007 / 2003 Microsoft® PowerPoint® 2010※ / 2007 / 2003 Adobe® Acrobat® 10 / 9 / 8 ※ 32ビット版に限り対応しています。			
翻訳対応アプリケーション	ATLAS V14 / V13 / V12 ATLAS 翻訳/パーソナル 2007 / 2006 コリャ英和!® 一発翻訳 2013 / 2011 / 2012			
その他	機能	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 33%;">• 文字列の検索 <li style="width: 33%;">• 文字列の置換 <li style="width: 33%;">• 文字列の全角→半角変換 <li style="width: 33%;">• 文字列の半角→全角変換 <li style="width: 33%;">• 自動罫線追加 		

Microsoft Word 文書

- .doc : レイアウト枠付きで認識結果を出力します。原稿のレイアウトを再現します。
- .doc(本文) : レイアウト枠なしで認識結果を出力します。表はレイアウト枠付きで出力します。
- .docx : レイアウト枠付きで認識結果を出力します。原稿のレイアウトを再現します。
- .docx(本文) : レイアウト枠なしで認識結果を出力します。表はレイアウト枠付きで出力します。原稿のレイアウトを再現します。

Microsoft Excel 文書

- .xls : レイアウト枠付きで認識結果を出力します。表はセル内に出力します。原稿のレイアウトを再現します。
- .xlsx : セル内に認識結果を出力します。原稿のレイアウトを再現します。
- .csv : 文字だけをセル内に出力します。
 - ・ページ区切り: ページの切れ目には、空白行を挿入します。

Microsoft PowerPoint 文書

- .ppt : レイアウト枠付きで認識結果を出力します。原稿のレイアウトを再現します。
- .pptx : レイアウト枠付きで認識結果を出力します。原稿のレイアウトを再現します。

※ Office 2007 形式 (*.docx/*.xlsx/*.pptx) で出力したファイルを、旧バージョンの Office で表示するには、「Word/Excel/PowerPoint 2007 ファイル形式用 Microsoft Office 互換機能パック」のインストールが必要です。互換機能パックをインストールする場合は、必ずサービスパックを最新にしてください。

一太郎ファイル

- .jtd : レイアウト枠付きで認識結果を出力します。原稿のレイアウトを再現します。
- .jtd(本文) : レイアウト枠なしで認識結果を出力します。表はレイアウト枠付きで出力します。

Acrobat ※ PDF ファイルの文字 (認識結果) は、テキストのコピーおよび検索が可能です。

- .pdf : 文字認識した領域を背景色で塗り潰した元画像に、認識結果を重ねて出力します。
- .pdf(透明文字) : 元画像の上に透明の認識結果を重ねて出力します。
- .pdf(高圧縮) : 元画像の上に透明の認識結果を重ねて出力します。元画像がカラーやグレースケールの場合は、ファイルサイズを小さく抑えて出力します。文字画像と背景画像を分離し、それぞれ適した圧縮率でファイルが作成されるため、文字をはっきりと表示します。

HTML

- .htm : 文字認識した領域を背景色で塗り潰した元画像に、認識結果を重ねて出力します。原稿のレイアウトを再現します。
- .xml : 文字認識した領域を背景色で塗り潰した元画像に、認識結果を重ねて出力します。原稿のレイアウトを再現します。
 - ※ Firefox は対応していません。

その他

- .txt : 文字だけを出力します。
 - ・ページ区切り: ページの切れ目には、改行を挿入します。
- .rtf : レイアウト枠付きで認識結果を出力します。原稿のレイアウトを再現します。
 - ・ページ区切り: ページの切れ目には、ページ区切り記号を挿入します。
- .xps : 元画像の上に透明の認識結果を重ねて出力します。

動作環境

基本ソフトウェア	Windows® 8 日本語版 Windows® 7 SP1 以上 日本語版 Windows Vista® SP2 以上 日本語版 Windows® XP Home Edition SP3 以上 日本語版 Windows® XP Professional SP3 以上 日本語版 ※ Windows® 8 / 7 の 64 ビット版では、WOW64 サブシステム上で、32 ビットアプリケーションとして動作します。 ※ Windows Vista® の各エディションは 32 ビット版に限り対応しています。
CPU / メモリー	お使いの OS が推奨する環境以上
ハードディスク	370MB 以上の空き容量
ディスプレイ	1024 × 768 ピクセル以上 (High Color 以上)
対応スキャナー	TWAIN 規格対応のスキャナー キヤノン CanoScan シリーズ / PIXUS MP シリーズ エプソン GT シリーズ / PM シリーズ メーカー専用インターフェースのスキャナー PFU ScanSnap シリーズ ※その他の動作確認済み対応機器につきましては、下記「動作確認済み機器」をご覧ください。
対応デジタルカメラ	DCF 規格対応のデジタルカメラ パナソニック LUMIX シリーズ キヤノン IXY シリーズ 富士フイルム FinePix シリーズ カシオ EXILIM シリーズ

動作確認済み機器

スキャナー	パナソニック KV-S2026C / S2046C / S7065CN / S3065C / S1025CN キヤノン CanoScan LiDE200 / 9950F / 9950FV / 8400F / 8400FV / 5200F / 9900F / 8200F / 8600F / 8800F / 4400F / 3000F / LiDE80 / LiDE40 / LiDE60 / LiDE70 / LiDE90 / LiDE500F / LiDE500FV / LiDE600F / 8000F / 5000F / 5000 / 5400F / LiDE50 / LiDE30 / LiDE20 / D2400UF / LiDE700F, PIXUS MP630 / MP620 / MP950 / MP900 / MP830 / MP800 / MP790 / MP770 / MP730 / MP610 / MP600 / MP500 / MP370 / MP170 / MP640 / MX860 / MG6230, imageFORMULA DR-2510C / P215 エプソン CC-600PX, ES-10000G, GT-7300U / 7400U / 8300UF / 8400UF / 9300UF / 9400UF / 9800F / F500* / F520* / F550* / F570* / F600 / F650 / F700 / S600 / S620 / X700 / X750 / X770 / X800 / X900 / X820, PM-A750 / A820 / A850 / A890 / A950, PX-A650 / 402A / 804A, EP-901A / 902A * メーカーダイアログから、マルチフォトフィーダを利用しての連続読み込みは行えません。 日本 HP HP PSC 1315 / 2355 / 2450, HP Photosmart 2575 / 2710 / C4175 / C5380 / 5510, HP Officejet 7210 / 7410 / L7580 / J6480 Lexmark X2250 / X2350 / X2560 / X4650 / X5270 / X6170 / X9350 ブラザー MFC-410CN / 5840CN / 630CD* ¹ / 5860CN* ¹ / 670CD, DCP-1000J / 165C * ¹ WIA に限り読み込み可能です。 PFU ScanSnap S500/S510/S300/S1500/S1300 コクヨ NS-CA1
-------	---

※各機種の対応 OS は製造元へお問い合わせください。

※上記以外の機種についても、順次確認予定です。

なお、最新の動作確認機種につきましては、「読取革命」のホームページをご覧ください。

(<http://panasonic.co.jp/snc/pstc/products/yomikaku/index.html>)

ADF

Auto Document Feeder の略。原稿を自動的に連続して読み込む装置。

ANI

アニメーションのカーソルファイルに与えられる拡張子。

AVI

Audio Video Interleaved Format の略。RIFF 仕様を採用したサウンドや動画のための Windows マルチメディアファイル形式。

BMP

画像ファイルの書式の 1 つ (ビットマップ)。画像ファイルを扱うアプリケーションの多くが対応している。

CLP

Windows のクリップボードの内容を保存したファイル形式。

CSV

表計算ソフトで使用するファイル書式。Microsoft Excel や Lotus1-2-3 などで使用できる。

CUR

カーソルファイルに与えられる拡張子。

CUT

Dr.Halo ファイル形式の 1 つで、デバイス非依存型の画像ファイル。

DCF

Design rule for Camera File system の略。日本電子工業振興協会の規格。デジタルカメラ、および関連機器における画像ファイル、画像に関連するファイルの記録、再生など取り扱いに関する仕様。

DCX

米 Zsoft 社が開発した複数ページ対応のビットマップファイルフォーマット。パソコン用のビットマップアプリケーションの多くが対応している。

DOC

ワープロソフトで使用するファイル書式。Microsoft Word で使用できる。

DOCX

ワープロソフトで使用する Microsoft Office Open XML (OpenXML) に対応したファイル書式。Microsoft Word 2007 で使用できる。

EMF

Enhanced Meta File の略。図や絵などクリップアートを保存する画像ファイル形式。

EPS

Encapsulated PostScript File の略。解像度の低いディスプレイでの表示用データを内部にもった PostScript ファイル形式。

FLC

Autodesk 社のソフトウェアで使用される動画ファイル形式。

FPX

Hewlett-Packard 社、Eastman Kodak 社、Live Picture 社、Microsoft 社が共同で開発した Flash Pix という画像ファイル形式の 1 つ。複数の解像度のデータを 1 つのファイルにもち、出力に応じて適切な解像度で表示できる。

FXS

画像ファイル形式の 1 つ。Delrina 社によって開発された FAX 形式の画像フォーマット。

GIF

Graphics Interchange Format の略。CompuServe 社で開発された画像形式。256 色までの画像を保存できる。

HTML

Hyper Text Markup Language の略。文章の中に画像や音声、動画にリンクをもたせ、クリックすることで関連項目を表示できる。インターネットのブラウザで閲覧できる。

ICA

IBM によって開発されたファイル形式。「読取革命」では、MO:DCA 形式 CCITT Group3、または Group4 画像の IOCA ファイルと MO:DCA なしの形式に対応している。

ICO

アイコンファイルに与えられる拡張子。

IFF

コモドール社製のアミガシステムとファイルのやりとりをする場合に使用される形式。グラフィックス以外に音声の保存も可能。

ITG

Intergraph 社の ITG で単色のビットマップ形式で保存される。

JPEG

Joint Photographic Coding Experts Group の略。カラー静止画像の圧縮方式の国際規格。フルカラー画像のファイルサイズを小さく抑えたい場合によく用いられる。「読取革命」では、JTIF/JFIF/プログレッシブ JPEG/Exif 形式の読み込みが可能。

JTD

ワープロソフトで使用するファイル書式。一太郎で使用できる。

PBM

Portable Bitmap Utilities で定義されているファイル形式の 1 つ。pbm はモノクロファイル形式となる。

PCD

Eastman Kodak 社と Philips 社が共同で開発した PhotoCD という CD-ROM の規格。写真画像をデジタルデータとして収録できる。

PCT

Macintosh で一般的な画像ファイル形式。QuickDraw で使用される。

- PCX**
米 Zsoft 社が開発したビットマップファイルフォーマット。海外で幅広く使用されている画像ファイル形式の 1 つ。PC 用のビットマップアプリケーションの多くが対応している。
- PDF**
Portable Document Format の略。Adobe Systems 社が開発し、特定のプラットフォームに依存せずに表示できる。
- PNG**
Portable Network Graphics の略。GIF 形式よりも多くの色数が扱え、圧縮してもデータの損失がない。現在 Web 上で使われる GIF や JPEG に代わるものといわれている。
- PPT**
プレゼンテーションソフトで使用するファイル書式。Microsoft PowerPoint で使用できる。
- PPTX**
プレゼンテーションソフトで使用する Microsoft Office Open XML(OpenXML) に対応したファイル書式。Microsoft PowerPoint 2007 で使用できる。
- PSD**
Adobe Systems 社の Adobe Photoshop で作成されたファイル形式。
- QR コード**
2 次元コードの一種で、株式会社デンソーウェブが開発。縦、横に情報をもつことで、記録できる情報量を増加させたコード。
- RAS**
Sun Raster 形式で、UNIX では、ごく一般的に使用されるファイル形式。
- RGB**
光の 3 原色をコンピューターで表現する表記法の 1 つ。R(赤)、G(緑)、B(青)の組み合わせですべての色が表現できる。
- RTF**
Rich Text Format の略。文字サイズなどの文字属性を含む文書情報を記述したファイル書式。Microsoft Word、ワープロソフトなどで使用できる。
- SGI**
Silicon Graphics 社のワークステーションで作成された RGB 形式のファイル。
- TGA**
Truevision 社のグラフィックボードで使用されていた画像形式。TGA は Targa のビットマップ形式ファイル。
- TIFF**
Tag Image File Format の略。ファイルを圧縮して保存できる。複数の圧縮形式に対応しているが、「読取革命」では、G3、G4 圧縮、非圧縮、JPEG、Exif、PackBits の形式の読み込み、非圧縮、JPEG 圧縮および G4 圧縮の保存に対応している。
- TXT**
文字データを扱うための基本的なファイル書式(テキスト)。ワープロソフトなど、文字を扱うアプリケーションで使用される。
- WIA**
Windows Imaging Acquisition の略。画像をスキャナー、デジタルカメラなどの周辺機器から取り込む機能。TWAIN が行っていた機能を Windows の機能として提供することで、アプリケーションソフトウェアを使わずに取り込みが行える。
- WMF**
Windows Meta File の略。図や絵などクリップアートを保存する画像ファイル形式。
- WPG**
コーレル社の Draw 系ソフトやワードプロセッサで使用されるファイル形式。
- XBD**
富士ゼロックス社の DocuWorks バインダー文書。「読取革命」では、DocuWorks 6 に対応している。
- XBM**
MIT で開発された X Windows システムで使用されるカーソルとアイコン用のファイル形式。
- XDW**
富士ゼロックス社の DocuWorks 文書。「読取革命」では、DocuWorks 6 に対応している。
- XLS**
表計算ソフトで使用するファイル書式。Microsoft Excel で使用できる。
- XLSX**
表計算ソフトで使用する Microsoft Office Open XML(OpenXML) に対応したファイル書式。Microsoft Excel 2007 で使用できる。
- XML**
eXtensible Markup Language の略。文字、画像、動画、音を統合管理し、統一した操作性で処理するための形式。
- XPM**
X Windows システムで使用される X PixMap 形式。メモ帳などで表示できる。
- XPS**
XML Paper Specification の略。Microsoft 社が開発した、文書を閲覧、印刷するための XML ベースのフォーマット。Windows や Microsoft Office が対応していない場合は、XPS Viewer のインストールが必要。
- XWD**
X Windows システムで画面上のウィンドウの内容を保存するファイル形式。
- グレースケール**
灰色を何階調で表現するかをビット数で表す。8ビット(256階調)、16ビット(65536階調)の階調情報をもった画像データの表現方式。

チェックボックス

オプション項目の選択や非選択を決めるボックス。

ドライバー

パソコンの画面からスキャナーを動作させるためのソフトウェアです。

ラジオボタン

グループの中から1つの項目を選択するボタン。

領域枠

「読取革命」で画像を文字認識するための属性(文字・表・画像・図形)や、範囲を表す枠。領域枠の設定は、自動・手動いずれも可能。

レイアウト認識

「読取革命」で入力された画像の文字(横書き/縦書き)・表・画像・図形の属性を判定し、領域枠を設定すること。

FAQ

お客様からよく寄せられる「読取革命」に関するご質問に対して、回答を掲載しています。本製品をご利用中にちょっとした疑問点やトラブルなどある場合にご覧ください。

<http://panasonic.co.jp/snc/pstc/products/yomikaku/faq.html>

スタートメニューからもご覧いただくことができます。

[スタート]-[すべてのプログラム]-[読取革命 Ver.15]-[困ったときは]

お問い合わせ

本製品に対するご意見、ご質問は、P3 カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。お問い合わせに対するご返答に多少時間を頂戴する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

名称	P3 カスタマーサポートセンター 電話・FAX によるお問い合わせ窓口です。
TEL	0570-550-633
FAX	03-3595-7653
受付時間	月曜日～金曜日（土日・祝日を除きます） 10:00～12:00、12:45～17:00

お願い

お問い合わせの際は、ご質問内容とあわせて、次ページの「サポート依頼書」の項目を弊社窓口までお知らせ願います。

お問い合わせ窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やお問い合わせ内容に対応や確認などのために使用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバーディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、サポート業務を委託する場合やその他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に開示・提供しません。

「P3 カスタマーサポートセンター」の Web サイトにおける個人情報の取り扱いについてはこちらをご参照ください。

<http://panasonic.jp/p3/>

【英数字】

2文字	応用編 11
3文字以上	応用編 12
PDFを解析して入力	基本編 74
QRコード認識	応用編 108
ScanSnapの設定	基本編 40

【あ行】

明るさ	応用編 58
アドインの解除	応用編 101
アドインの設定	応用編 100
アンインストール	基本編 31
一括画像編集	応用編 64
一括修正	基本編 114
印刷	基本編 126, 127
インストール	基本編 28
英語認識モード	応用編 8
エッジ強調	応用編 57

【か行】

解像度の設定	応用編 29
回転	基本編 95
拡大	基本編 81
画像ウィンドウ	基本編 10, 13, 20
画像ファイルを開く	基本編 70
画像ファイルを保存	基本編 120
画像を印刷	基本編 126
傾き補正	基本編 91
画面キャプチャー入力	基本編 73
画面構成	基本編 10, 13
カラードロップアウト	応用編 61
カラーフィルター	応用編 55
カラーリアル表示	基本編 106, 107
環境設定	応用編 84, 115
監視しない	応用編 114
監視する	応用編 114
簡単! PDF for Office	基本編 17
	応用編 122
簡単! PDF 変換	基本編 18
	応用編 128
かんたんナビ	基本編 60
かんたん認識	基本編 130
かんたんモード	
一括修正	基本編 54
回転	基本編 49
拡大	基本編 50
傾き	基本編 50
候補文字修正	基本編 55
縮小	基本編 50
全削除	基本編 53
閉じる	基本編 58
入力	基本編 46
認識	基本編 52
保存	基本編 56
ガンマ補正	応用編 60
起動	基本編 42
	応用編 99, 105, 113, 123
切り取り	基本編 108, 109

クリップボード OCR	基本編 17
	応用編 104
クリップボード画像の入力	基本編 72
傾斜	応用編 49
消しゴムモード	基本編 97, 98
	応用編 46
現在のページ	基本編 101, 103
減色	応用編 54
候補文字修正	基本編 115
コピー	基本編 108, 109
コントラスト	応用編 59

【さ行】

作業状態を開く	応用編 21
作業状態を保存	応用編 20
削除	基本編 86, 110, 111, 112
作図	応用編 67
作図モード	基本編 97, 98
左右反転	応用編 48
自動アップデート	基本編 34
自動傾き補正	基本編 91
自動罫線追加	応用編 14
次ページ	基本編 76
シャープネス	応用編 56
縮小	基本編 81
手動傾き補正	基本編 92
消去	応用編 44
上下反転	応用編 47
スキャナー設定	基本編 37
スキャナー入力	基本編 69
ステータスバー	基本編 22
	応用編 119
設定	基本編 83
セットアップ	基本編 27
全角→半角変換	基本編 113
全削除	基本編 110
選択したページ	基本編 100, 103
選択した領域	基本編 101, 103
前ページ	基本編 76
専門用語辞書	応用編 81
操作モード	基本編 23, 97
属性変更	基本編 87

【た行】

縦に分割して表示	応用編 36
単語辞書	応用編 76
長方形化	応用編 50
ツールバー	基本編 21
	応用編 37, 38, 119
次へ	基本編 79
テキスト表示	基本編 106
デジタルカメラ入力	基本編 67
転送	基本編 124
転送先アプリツールバー	基本編 10, 21
転送先アプリの設定	応用編 32
テンプレートを開く	応用編 23
テンプレートを保存	応用編 22
統合	基本編 86
閉じる	基本編 128

ドライバー	基本編 37
ドラッグモード	基本編 97, 99
トリミング	応用編 45

【な行】

日本語認識モード	応用編 8
入門ウィザード	基本編 63
認識結果ウィンドウ	基本編 10, 13, 20
認識結果を印刷	基本編 127
認識結果を転送	基本編 124
認識結果を保存	基本編 121
ノイズ除去	基本編 90

【は行】

ハイパーチェッカー	基本編 106, 107
パターン辞書	応用編 72
貼り付け	基本編 108, 109
半角→全角変換	基本編 113
表示倍率	基本編 81
表編集モード	基本編 97, 98
	応用編 13
ファイル管理革命へ送る	応用編 40
フォルダーウォッチャー	基本編 17
	応用編 112
フォント設定	応用編 30
ページ一覧ウィンドウ	基本編 10, 13, 20
ページ移動	基本編 79
ページ呼出	基本編 77
ページ結合	応用編 26
ページ分割	応用編 24
保存	基本編 120
翻訳	応用編 17

【ま行】

前へ	基本編 79
見出し認識	応用編 15
見開き補正	基本編 93
メーカーダイアログ	基本編 37
文字認識	基本編 103
文字の結合	応用編 10
文字の分離	応用編 11
文字列の検索	基本編 117
文字列の置換	基本編 118

【や行】

横に分割して表示	応用編 36
読取革命の終了	基本編 43
読取順序変更	応用編 31

【ら行】

リサイズ	応用編 52
領域設定モード	基本編 82, 97, 98
領域表示	基本編 106, 107
領域枠	基本編 83
領域枠の設定	基本編 83
領域枠の統合	基本編 86
レイアウト認識	基本編 100

製品名	日本語・英語活字カラー OCR ソフト 「読取革命 Ver.15」
品番	PTS-RPN0015 PTS-RPV0015 PTS-RDN0015
取扱説明書	「読取革命 Ver.15」 取扱説明書 基本編 2012年9月 第1版

パナソニック株式会社

パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社

〒105-0013

東京都港区浜松町1丁目17番14号 浜松町ビル

O0812-0
PTS01151ZA